

中央大学学員会東京文京区支部20周年記念誌

# 文京白門20年の歩み



創立総会：平成 8 年 4 月 1 2 日（土）

記念総会：平成 2 8 年 7 月 3 0 日（土）

# 文京白門20年の歩み

## 目 次

創立20周年記念誌発刊にあたって	東京文京区支部支部長	野口 昇兵……	3
祝辞 文京区支部創立20周年に寄せて	中央大学学員会会長	久野 修慈……	4
祝辞 文京区支部創立20周年によせて	中央大学理事長	深澤 武久……	5
祝辞 文京区支部創立20周年記念に際して	中央大学総長・学長	酒井正三郎……	6
祝辞 文京区支部創立20周年によせて	中央大学理工学部長	石井 靖……	7
祝辞 創立20周年に向けてお祝いの言葉	文京区長	成澤 廣修……	8
創立20周年に向けてお祝いの言葉	文京区支部三代目支部長	大久保治男……	9
発足前後の資料で見る支部設立の経緯	幹事長・事務局長	松沼 茂……	10
2022年の中央大学—都心キャンパスの充実	中央大学常任理事	松丸 和夫……	14
歴代支部長座談会『20年の歩みと今後の展望』			17
20周年企画 会員寄稿「私の20年」			25
平成27年度特別講演『拉致と決断—祖国日本での12年』		蓮池 薫……	33
文京区支部主催講演会一覧			42
行事写真で綴る活動記録			45
活動記録年表			59
我が町文京の見どころ—歴史・文化・伝統・自然			68
中央大学の施設（キャンパス・駿河台記念館・中学校・高等学校）			73
会員名簿			75
役員名簿			79
支部規約			83
中央大学校歌・応援歌			86
創立20周年記念協賛広告			89
付 会報第1面、第2面で見ると見る20年の歩み（創刊号～第13号）			99

## 祝 中央大学学員会東京文京区支部創立20周年

### 創立20周年記念誌発刊にあたって



東京文京区支部支部長

野口 昇 兵

ここに中央大学学員会東京文京区支部創立20周年を迎えるにあたり、歴代支部長、歴代中央大学理事長、総長、学長、教職員、学員会会長、事務局、各支部の皆様方、我が支部会員各位に心より御礼と感謝を申し上げます。

我が支部は都区内10番目に誕生いたしました。150名余の会員を有し、250名以上の会員を目指して日々奮闘しております。学員会の設置理念は「母校愛」であります。各種規約にその赤い血が脈々と流れております。中央大学設立の理念「実地応用の素を養う」は私たちの日々生活行動に、留め置くべき心得でもあります。時代がどのように変化、変遷しようとも、不動の精神対応「不易流行」と合致するものと言えます。

我が支部は、会員の質的向上の為に「悲しみや喜びを互いに感じられるべき支部運営」に心掛けております。ただ楽しいから、為になるから等の表面的なものではなく「心に胸にジーンと熱いもの」を感じる、「骨太い感動」を具現する支部作りを全員で進めております。その一例として「親睦としての旅行、野球観戦、お花見、屋形船、事例研究講演、他支部との交流」等々を会員のご家族の方々も参加して頂き行っております。学員支部は母校中央大学の発展に大いに寄与する責務を負っております。

今回発表された大学の「中長期計画」は中央大学の意気込みを感じ、多摩校舎と都区内校舎（特に文京区後樂園校舎）との両輪となる学部構成を始めとする各種事案に協力を惜しむべきものではありません。「知と行動」「謙虚なる誇りと勇氣」「時代に即応したパフォーマンス」の具現には学員会会員全員が「大学の使命」について思考、考察する責任が有るのではないのでしょうか。

中央大学校歌一番「草のみどりに風薫る」にふさわしい「さわやかにして、凜とした」「知あふれる行動」の大学と学生育成は学員会支部運営にも大いに繋がって参ります。伝統を後輩達へ継承するために「我々の背中を見せる行動」を始めてみましょう。

## 祝 中央大学学員会東京文京区支部創立20周年

### 文京区支部創立20周年に寄せて



中央大学学員会会長

久野修慈

学員会東京文京区支部の創立20周年をお祝い申し上げます。

母校中央大学は日本有数の私大として、創立以来130年にわたって着実に実績を重ねてまいりました。これは教学、学員一体となつての努力のたまものにはほかなりません。同窓の絆を大切に、母校発展に寄与されてきた学員の皆様のご協力に深く感謝する次第です。

とりわけ地域支部の果たしてきた役割には、非常に大きいものがあります。文京区支部は、東京都区内支部としては10番目の創立で、いわば中堅としての位置づけになるうかと思いますが、地域に深く根差したその活動実績には目をみはるものがあります。東都大学野球応援を端緒にして中大野球部出身のプロ野球選手への熱い応援や、箱根駅伝の応援など、非常に心強い絆を感じています。また、歴代役員をはじめ現執行部の皆様方の卓越した企画力と実行力は高く評価されているところです。単に支部内行事にとどまらず、他支部にも声をかけての数々の合同企画の実施など、その積極性には定評があります。

私は立場上、全国の学員の皆様の声を直接聞く機会が非常に多いのですが、一時低迷しかけていた中央大学の名声復活をめざして、数々の叱咤激励をいただいています。そのための有効な方策を実行していくことが、教学および学員会に課せられた使命だと実感しています。

文京区内には充実した設備の理工学部があります。幸い校地にも余裕があるところから、将来的にはこの後楽園キャンパスが、新たな中央大学を発信していくための重要な拠点となっていくものと思われれます。文京区支部の皆様におかれては、これまで培ってきた絆をより一層深め、後輩たちのよき相談相手、よき指針となって母校発展の大きな礎となって戴くことを願ってやみません。

20周年の節目にあたり、文京区支部のさらなるご活躍と発展を心よりお祈りして、ご挨拶といたします。

## 祝 中央大学学員会東京文京区支部創立20周年

### 文京区支部創立20周年によせて



学校法人中央大学理事長

深澤 武久

中央大学学員会東京文京区支部がこの度創立20周年を迎えられ、誠におめでとうございます。

白門文京区支部は、平成8年に学員会支部として創立されて以来、20年に亘り定例総会をはじめ季節行事やスポーツ観戦会、旅行会や異業種交流会など、趣向を凝らしたイベントや様々な同好会を通じて、年齢や職業の垣根を越えた会員相互の親睦を深めてこられました。大学に対しましても、各種募金活動、ホームカミングデー協賛、他の学員支部との協力連携など、多大なご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年本学は創立130年という節目を迎えるにあたり、中長期事業計画「Chuo Vision 2025」を策定しました。これは、今後10年間で本学が進むべき方向を明確にするもので、世界に存在感のある大学を目指し、本学の将来を見据えた計画となっています。建学の精神である「實地應用ノ素ヲ養フ」をベースに、学部増設による総合大学としての魅力向上、多摩キャンパスの充実と一部文系学部の都心回帰、グローバル化の推進、スポーツ振興事業、の4つを柱としています。現在「総合戦略推進会議」を中心に、計画の具現化に向けて準備を進めております。スポーツ振興につきましても、理事会傘下の機関として「中央大学スポーツ振興・強化推進室」を年度早々に新設し、現在活発な活動を進めています。

130年の歴史に新たな1ページを築く第一歩を踏み出したものであります。創立140年を迎える2025年に「新生」中央大学として社会から高い評価を得るためには、今後さまざまな壁を乗り越えなくてはなりません。文京区支部をはじめとする学員の皆さんと、教学・法人とが一致団結して乗り越えていこうではありませんか。会員の皆さまにおかれましては、母校の更なる発展のため、今後とも格別のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、東京文京区支部の更なるご発展、並びに会員の皆さまの益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶といたします。

## 祝 中央大学学員会東京文京区支部創立20周年

### 文京区支部創立20周年記念に際して



中央大学総長・学長

酒井 正三郎

中央大学学員会東京文京区支部の創立20周年並びに記念誌の発行にあたりまして、  
本学教職員関係者を代表いたしまして心からお祝いを申し上げます。

また日頃より貴支部から中央大学に対しまして、暖かいご支援を賜っておりますこと  
に、厚く御礼申し上げます。

東京文京区支部が創立されてから20年という時が流れ、その間、中央大学におきま  
してもいろいろな節目を経験してまいりました。2000年には長年持たれていたモノ  
レールが多摩に開通しました。専門職大学院に関しては、2002年に国際会計研究科（ア  
カウティングスクール）、2004年に法務研究科（ロースクール）、2008年に戦略経営研  
究科（ビジネススクール）がそれぞれ開校いたしました。そして2010年には、ご存知  
のとおり125周年記念式典が盛大に挙行されました。

2015年に本学は創立130周年を迎え、これからの10年、20年を見据えた将来構  
想を策定し、「中長期事業計画 Chuo Vision 2025」として取り纏めたところでありま  
す。日本全国、全世界から集う若者たちのニーズや社会から寄せられる期待に的確かつ  
迅速に対応し、中長期的な大学の姿を見据えた改革のシナリオを描き、それに基づく全  
学的な改革の実行、機能の強化を、法人・教学が一体となり図って参ります。学部新設、  
キャンパス整備、グローバル化の推進、スポーツ振興が大きな柱です。今後は本「計画」  
に則り、次の140周年に向かって力強く改革を推進してまいり所存です。

今後とも、中央大学との強く熱い連携、そしてご支援を賜りますようお願いをも  
y  
仕上げ、中央大学学員会東京文京区支部の益々のご発展と皆さまのご健勝を祈念申しあ  
げましてご挨拶といたします。

## 祝 中央大学学員会東京文京区支部創立20周年

### 文京区支部創立20周年によせて



中央大学理工学部長

石 井 靖

このたびは学員会文京区支部の創立20周年、誠におめでとうございます。皆様の活動に心より敬意を表しますとともに、中央大学、とりわけ後樂園キャンパスにある理工学部に賜りました日頃のご指導、ご鞭撻に対しまして厚く御礼を申し上げます。

理工学部には現在、約4000名の学部学生と650名の大学院生が在籍し、勉学に励んでおります。また理工学部は、中央大学の知の拠点、地の利を活かした産学官連携の研究拠点として、この後樂園キャンパスで中央大学のプレゼンスを高めるべく、教職員一同奮闘しているところでございます。理工学部創立50周年記念誌によりますと、工学部から理工学部へ改組した1962年に水道橋校舎を全面的に引き上げてこの後樂園キャンパスに移り住んだとのこと。現在の1号館はその時に建設されたもので2022年には築60年を迎えるため、これの建て替えが理工学部にとりましては最重要課題の一つとなっております。この建て替えが実現致しますときには、合わせて中央大学の知の拠点を象徴する国際会議場などの施設がこの地に整備されますことも、私達の夢であります。加えて、この後樂園キャンパスが地域の皆さまに開かれたキャンパスとして、春日通り沿いの塀も取っ払って街と一体となった緑の公園キャンパスを実現できないか？そのような夢を2年程前に会報に書かせて頂いたこともございました。

昨秋発表されました中央大学の「中長期事業計画」には、「文系学部の一部を後樂園キャンパスに移転し、文理双方の教育研究を展開する」ことが謳われております。これについては、新聞等が「中大法学部が後樂園移転」と取り上げて、学内外からは「法学部移転に伴って、理工学部はどこかに移されるのではないか」という懸念が寄せられておりました。こうした「風評被害」を防ぐため、理工学部は今後も後樂園キャンパスにて、文理双方の教育研究の一翼を担って参りますことを、理工学部のホームページにてアピールさせて頂いているところです。

理工学部は今後も中央大学の理工系の研究・教育の拠点として、この後樂園の地で努力して参る所存でございます。学員会文京区支部の皆様方のご理解とご声援をお願い申し上げますとともに、貴支部の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

## 祝 中央大学学員会東京文京区支部創立20周年

### 創立20周年に向けてお祝いの言葉



文京区長

成澤 廣 修

中央大学学員会東京文京区支部が創立20周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。これもひとえに、野口昇兵会長様をはじめ、関係各位の並々ならぬご精励のたまものと心から敬意を表する次第です。

中央大学と文京区とは、長きにわたり良好な関係であると実感しています。中央大学をご卒業されました遠藤正則元文京区長をはじめとして、有為な人材を数多く輩出されています。

また、区内企業におきましても多数の方々のご活躍され、今日の文京区の発展に大きく寄与されてまいりました。

昨年、発表されました中央大学の中長期事業計画では、後樂園キャンパスに現在ある理工学部に加えて、2022年までに法学部をはじめとする文系学部の一部を多摩キャンパスから移転し、文理一体のキャンパスとなるということですが、都市計画上の課題を解決され、さらなる地域との結びつきが強まることを期待しています。

ご存知のとおり、本区には、数多くの大学をはじめとして教育機関が集まっています。このことから「文教の府」といわれ、区では、「文化の香り高いまち」をめざしてきました。

さらに、区では、将来都市像である「歴史と文化と緑に育まれた」みんなが主役のまち『文の京（ふみのみやこ）』実現に向けて、区民との協働で様々な活動に取り組んでいるところであり、大学連携についても一層進めてまいりたいと考えています。

終わりに、中央大学学員会東京文京区支部の一層のご発展と皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。



## 祝 中央大学学員会東京文京区支部創立20周年

### 文京白門会創立20周年を祝う



三代目支部長（名誉会長）

大久保 治 男

平成8年4月創立の中央大学学員会東京文京区支部（文京白門会）は本年でめでたく20周年を迎えました。御同慶の至りであります。

初代・飯塚佳治氏、二代・田中祺益氏のあとを継いで、不肖わたくしが平成18年より23年までの6年間を松沼幹事長はじめ会員各位の御協力が無事に支部長の職責を果させていただいた事を改めて感謝し、御礼申し上げる次第です。四代・中川浩治弁護士は残念乍ら途中で他界せられましたが、五代・野口昇兵氏並びに会員各位の益々の御活躍を祈念致しております。

文京区は東京の山の手、正に、文教地区にあり、東大、東京医歯大、お茶の水女大等国立有名大学もあり、我が中大も現在は理工学部だけですが近々法学部始め文系学部も後樂園の高台に勢揃いして、正に「私学の雄」として「中央を超える中央」となって文京の地でも八王子キャンパスと共に発展して行くことを心より期待しています。

文京白門会は会員相互の団結力や親睦も強く、正に楽しい同窓の地区であります。年間の行事も多く春の観桜会、夏の隅田川の舟遊び、秋の旅行会、わたくしの本宅・彦根城跡内、井伊直弼学問所「埋木舎」始め、彦根城、長浜等の見物を第1回目として、その後、毎年、仙台、長野、金沢、伊勢神宮など一泊二日の旅で会員諸氏の親密さ友情も深くなっていきます。この他、久代社長のお力添えにて東京ドームでの野球観戦（中大出身の巨人選手を応援）、浮田理事長のお力添えにて大井競馬場での観戦はいつもロイヤルルームでのデラックスの体験をさせていただきました。年末の忘年会は盛んな打ち上げで一年はあっという間に過ぎます。（年5、6回ある自弁の役員会も楽しく、残った会費は会の方へ寄付）またこの間、わたくしの講演も3回ほどさせていただきました。「母校は母港」が半世紀以上わたくしの大学教授でのゼミ生へのモットーでした。

文京白門の会員各位も母校・中大こそ母港です。時折り皆で母校に鎖を降ろし青春の息吹を吸い元気になりましょう。

# 発足前後の資料で見る支部設立の経緯

幹事長・事務局長 松 沼 茂

## 文京区支部をとりまく環境

江戸の昔、江戸城を守る東の要として御三家の水戸徳川家、加賀百万石の前田家、肥後・細川家始め多くの大名屋敷があった文京区は今も昔も江戸・東京の中心である。かつてある雑誌で教育・治安・病院・交通の便等で住みよい町として日本一に選ばれたこともあり、都心回帰の流れの中で年々若者人口が増えている。

区内にはプロ野球のメッカ東京ドームがあり、連日他球団と熱い戦いをくりひろげている。一方ドームの近くには、母校中央大学の白門後楽園キャンパスに対峙する赤門の東京大学がある。母校が昭和53年多摩キャンパスへ移転するまでは、区内には本校文学部や邦楽研究室もあり、後楽園キャンパスにはボクシング、レスリング、相撲、弓道、重量挙げ部等の運動部があり、活気ある大勢の中大生で溢れていた。勿論文京区に残った本学の高校・理工学部の後楽園キャンパスへは多くの学生が通っていたが、区内に本部を置く東洋・拓殖・順天堂はじめ、多くの私立・国立の他大学に押された存在になりつつあったが、中央大学100周年記念行事等が文京区はじめ故郷を失った都心の学员（OB）の窮地を救った。そのシンボルが昭和63年神田駿河台の旧校舍跡地の一部に誕生した中央大学駿河台記念館である。

多摩キャンパス育ちにはなじみが薄いと思われるが、その昔我が母校が駿河台にあった頃、「ここはお江戸か神田の町か、神田の町なら大学は中央…」、中大健児は昼夜を問わず神田の街を闊歩したのである。そしてその勢いは早慶・東大何するものぞと、当に私学の雄にふさわしい実績に裏打ちされた青春の「行動・記憶・自信」をこの記念館が呼び戻したとも言える。

## 支部誕生は自然な流れ

文京区の学员にとって、神田川の対岸が駿河台、記念館へは聖橋を渡れば徒歩数分の歩みで、言わば勝手知ったる故郷が帰ってきたのである。区内在住の学员が中央大学100周年を記念して建てられた駿河台記念館に出入りするうち、支部誕生の流れができたのは自然の成り行きとも言えよう。

バブル景気の名残りがまだまだ残る平成7年6月、支部発足への準備会がスタートした。遠藤正則文京区長（本学昭和16年法卒）を顧問に南甲倶楽部重鎮の飯塚佳治氏、天野ゼミの田中祺益氏、文京区民センター理事長の富田誠一氏等が中心となり、活気ある発起人会を立ち上げた。

発起人会連絡先及び打ち合わせ会場は富田氏の計らいで区民センターを中心に、また支部設立のための規約・会員募集・本部への連絡等はメンバーとして参加していた松沼が年次支部立ち上げ時の経験をもとに進行させていった。

たまたま手元に残ったメモ、書類等をひもとくと、支部発足に向けて区民センター会議室で綿密・活発な打ち合わせ、準備をしたことが思い起こされる。

20周年を機に支部発足に至る手順の概略と関連資料の文書類を記録にとどめておきたい。

## 創立までの準備の経過

平成7年6月、7月	発起人会発足準備
8月25日	発起人依頼先お願い文・規約案の検討
9月13日	発起人決定、依頼担当の決定、お願い文の配布
10月27日	発起人承認状況の確認、趣意書案、会員募集の法法案
11月21日	第1回発起人会 総会の日時・会場・規約、会員募集へ
12月13日	総会実行委員会 現在までの再検討
平成8年1月19日	総会実行委員会
2月8日	総会実行委員会
3月6日	発起人会

### 発起人会名簿（順不同）

秋葉 文恵	飯塚 佳治	生田 時秀	石 正之
石原 八束	一文字敏雄	植田 正次	遠藤 正則
奥野 光績	加藤 能久	加藤 幸男	亀崎 正幸
亀谷 卓夫	木下 一彌	久野 悟郎	倉田 雅充
小林 秀雄	近藤 鈺	坂本 幸男	下村 康正
神保 博行	田中 祺益	土屋 一男	土屋 頼子
寺田 正	富田 誠一	永井 一夫	中川 浩治
浪江 順一	西村 輝雄	西村 友男	原 秀男
原田 邦穂	平井 信男	藤原 勇	本多 弘之
前川 和義	松井 宣	松沼 茂	水原 敏博
宮崎 治子	村岡 隆夫	村上 和雄	本橋 元一
桃川 龍一	森田 重夫	柳沢甲子雄	山口 勇
山根 彬夫	吉村 博夫	米村 邦輔	渡辺 静代

会員数の確認・今後の進め方検討

総会の式次第・役割分担の協議

役員候補案、式次第、役割分担の協議

(以上会議会場は文京区民センター会議室)

## 約1年の準備期間を経て創立総会

平成8年4月12日（金）の夜、文京区民センター2階において「東京文京区支部」の設立総会を迎え、此処において、支部規約の制定・役員選任等の案件は満場一致で承認され、わが

文京区支部は、北区・大田・台東・練馬・板橋・江戸川・中野・目黒・杉並に次いで都区内10番目の支部としてスタートを切った。

設立総会の会場には100余名の会員が参加して、発起人会の苦労を吹き飛ばすような熱気であふれた。来賓として母校より高木友之助総長、学员会本部より大西保会長、栗原三郎事務局長がご臨席され祝辞を頂戴した。懇親会ではそこかしこで久々の再会を喜んだり、町会の顔見知りがお互い白門でびっくり、など和気あいの交流が随所に見られた。そして以後恒例となる中央大学校歌の斉唱をして、名残り惜しみつつお開き、散会した。

以来、東京文京区支部は初代支部長に故・飯塚佳治氏、そのあとを田中祺益氏、大久保治男氏、故・中川浩治氏が務め、現在の野口昇支部長は五代目になる。

### 中央大学学员会東京文京区支部設立趣意書

かねてから、文京区在住・在勤の中央大学卒業生の方々から、学员の親睦と大学の発展に寄与していけるよう、是非、文京区にも学员会の文京区支部を結成したいとの声があがっていました。

中央大学学员時報をみてみますと、23区の中でも、多くの区に支部が結成され、その活躍ぶりが紹介されております。

私どもは、本年6月に、支部結成のため、有志による準備会をもち、会合を重ね、発起人会を発足し、いろいろ協議をしてまいりました。

現在、中央大学学员会文京支部設立にむけて、会員を募っております。何とぞ加入されますようご案内申し上げます。

整理の関係上、別添はがきにて12月20日までに返事をいただければ幸いです。よろしく願いたします。

平成7年11月

中央大学学员会東京文京区支部発起人会

(問い合わせ先)

文京区地域振興サービス公社 常務理事 富田 誠一  
文京区本郷4-15-14 ☎ (3814)6731

## 数々の支部行事で懇親・連帯の輪をひろげる

今日にいたるまで、母校中央大学へは白門奨学会・125周年事業へ金品寄贈等を行いつつ、学校法人、学会へは評議員・商議員等の就任、またホームカミングデーへの金品寄贈などで貢献している。

また、都区内支部への行事に参加しつつ、支部行事では定時総会・講演会の開催のほか、忘年会・花見会・史跡散歩・ドーム野球白門応援団・納涼屋形船・釣り会・ゴルフ界・観劇会・俳句会・旅行会・異業種交流会・大井競馬ビールナイター・箱根駅伝・神宮野球応援会・会報発行等々を通じて、会員相互の親睦をはかりつつ活動20年の現在に至った。老骨のわが身にとってもあつという間の歴史でした。

## 関 連 資 料

設立前の入会勧誘返信はがき

設立総会の案内書

中央大学学会東京文京支部入会書 (どちらかに○を付け、返送下さい)
1、入会します。
2、入会しません。
平成7年 月 日 (氏名)
(住所)
(電話)

平成8年3月18日

各 位

中央大学学会東京文京区支部発起人会  
世話人 富田 誠一

中央大学学会東京文京区支部設立総会のお知らせ

春暖の候、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

中央大学学会の東京文京区支部の設立について、昨年来より準備を進めて参りましたが、皆様方の賛同を得、ようやく設立総会を開催するまでになりました。については、下記のとおり開催しますので、出席方よろしく願いいたします。

記

- 1、日 時 平成8年4月12日(金) 午後6時00分～(開場5時30分)  
(総会を6時に始められるよう、少し早めにお集まり下さい。)
- 2、会 場 文京区民センター 3A会議室  
(文京区本郷4-15-14 ☎(3814)6731)
- 3、会 費 年会費(8年度分) 3,000円(当日、徴収します。)  
懇親会費 5,000円(当日、徴収します。)

※ 準備の都合上、4月2日(火)までに、同封のはがきにて出欠の返事を下さい。  
※ 欠席される方は、4月中に、年会費3,000円を、定額小為替で送付されるか、下記の口座に振り込んで下さい。

① 三菱銀行 春日町支店 普通 062-0790907

② 郵便局 10040-31457721

はくもんかいふぎょうしよ せいぎょうしよ よしむら ひろゆ  
いづれも、口座名義人 白門会文京支部 代表者 吉村 博夫

定額小為替の送付先

①113 文京区湯島2-1-11 白門会東京文京区支部幹事 吉村 博夫 あて

初年度・次年度行事参加案内文書

中央大学学員会文部支部

平成8年7月20日

第1回

支部長 飯塚佳治

納涼屋形船の案内!



会員の皆様暑中お見舞い申し上げます。  
 蒸し暑い夏の夜には「良く冷えたビールと花火」が一番!  
 という事で「納涼屋形船の集い」を企画致しました。  
 会場は昔の自然が戻りつつある葛西臨海公園沖……  
 涼やかな海風とディズニーランドの光と花火が無料接待。  
 さあ皆んなでドカーンと一発大ジョッキを干そう!!  
 江ノ川の夜、おまけの  
 江戸川一の投網師、あみ忠の磯乾投網のサービスがあります。

記

期日…… 9月6日(金) 午後6:30集合 磯乾 出航 7:00 ~ 9:30/帰岸

会費…… お一人様 9,500円 (但し女性は8,000円 差額1,500円は  
 会で負担します)

内容…… 船中の好意でサービス価格となっております。家族でおいで下さい。  
 船は大型80人乗、ビール・ワイン・お酒等飲み放題、食べ放題  
 の中でカラオケ、会員紹介、親睦の集いで下-

船宿…… 江戸川区「あみ忠」携帯電話 030-226-3606

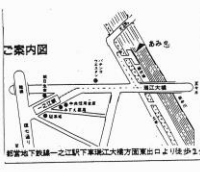
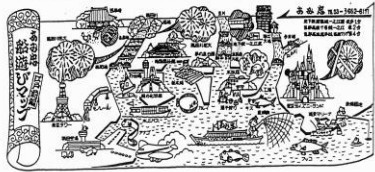
交通…… 都営新橋線 三ツ江駅下車、歩 2分、新中川 瑞江  
 大橋下、あみ忠磯乾橋へ

申し込みは8月20日までに

加藤 康人…… 文部サービス公社 電 3814-6731 Fax 3814-3626

本橋 元一…… モトハシ 電 3941-5214 Fax 3943-2491

松沼 茂…… 松しん 電 3814-7059 Fax 3814-0583



事業のお知らせ

ぶんきょう史跡さんぽと食べ歩き

- 1、日時 平成9年11月22日(土) 10時00分~13時30分
- 2、場所 湯島~本郷コース
- 3、集合 集合場所: 中央線「御茶の水駅・聖橋改札口前」  
 集合時間: 10時00分
- 4、案内人 文京区文化財調査員(柄沢勝敏、関谷雅臣)
- 5、昼食 湯島天神・参集殿
- 6、会費 4,000円(昼食代)
- 7、担当 富田 誠一
- 8、申込み 11月17日までに下記へ  
 加藤 康人(文京区民センター)  
 文京区本郷4-15-14  
 ☎ (3814)6731・FAX (3814)3626  
 ☆ 家族、友人も参加できます。

きりと

史跡さんぽと食べ歩き申込書

氏名	人
連絡先	

第2回総会議事進行予定表

- 総会進行表(9.4)
- ◎(司会) 皆さん、こんばんわ、本日は平成9年度総会にご出席頂きまして、ありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます。本日はよろしくお願いします。よろしくお願いたします。では始めに、支部長よりごあいさついたします。
  - ◎(支部長あいさつ)
  - ◎(司会) まず、本日の議事に入ります前に、議長を選出する必要がありますが、支部規約第十一条第二項の規定により、議長は、支部長が行うこととされており、支部長は議長席へお着き下さい。(支部長着席)
  - ◎(議長) では、一括して幹事長説明願います。
  - ◎(幹事長) 議案の説明については、富田幹事より申し上げます。
  - ◎(富田幹事説明)
  - ◎(議長) ご質疑をお願いいたします。
  - ◎(質疑) それでは、お諮りいたします。原案のとおり可決することにご異議ございませんか。(異議なしの声)
  - ◎(議長) それでは、原案のとおり決定させていただきます。
  - ◎(司会) それでは、本日の議事に入ります。まず、支部規約第十一条第五項の規定により、本日の議事録署名人名を、「一文字俊雄さん」、「亀谷卓夫さん」の2名の方を指名したいと存じます。これにご異議ございませんか。(異議なしの声)
  - ◎(議長) それではよろしくお願いたします。では、議案の審議に入ります。議案のうち、まず、第一号議案「平成8年度事業報告」、第二号議案「平成8年度収支決算」であります。この件につきましては、監事の方より監査報告が出ておりますので、まず、ご報告をお願いします。(桃川監事より報告)
  - ◎(議長) 次に、第三号議案「平成9年度事業計画」、第四号議案「平成9年度収支予算」に入ります。ご説明願います。
  - ◎(富田幹事説明)
  - ◎(議長) ご質疑をお願いいたします。
  - ◎(質疑) それでは、お諮りいたします。原案のとおり可決することにご異議ございませんか。(異議なしの声)
  - ◎(議長) それでは、原案のとおり決定させていただきます。以上をもちまして、本日の議事は、全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

---

---

## 2022年の中央大学——

### 都心キャンパスの充実は？

経済学部教授・常任理事

松丸 和夫



---

今後10年の中央大学の将来を決める「中長期事業計画 Chuo Vision2025」が決定されてから8ヶ月が経過しました。すでにご承知の通り、新学部創設、多摩・都心キャンパス整備、スポーツ振興、グローバル化推進、総合学園づくり等の重点事業計画を含む内容です。

とりわけ文京区支部の会員兄弟にとって、理工学部・大学院、ビジネススクール、中央大学高等学校の拠点である後楽園キャンパスが、計画年度2022年に多摩の文系学部の移転計画を受けて、どのように変貌するのか、興味津々のことと拝察します。

小文では、私が現在常任理事であり、総合戦略推進会議の副議長であることから離れて、文京区支部創立20周年のお祝いの夢を少し語らせていただきます。以下のおはなしは、大学の公式見解ではないことをくれぐれもご理解いただきたくお願いいたします。

※

※

都心立地の大手私学の郊外移転の第一号として注目された本学の多摩移転は、1978年のことでした。あれからもうすぐ40年、130年の歴史を誇る本学の三分の一近くの時間が多摩と後楽園の二大拠点で経過しました。移転当時は、学员、他大学関係者、高校生と父母、近隣からの見学者が殺到しておりました。図書館も校舎も学生食堂も日本一、との評判が広がりました。それとは対照的に、後楽園キャンパスは、古い建物が目立ち、学生の憩いの場も少なく、教室や設備も老朽化し、改善が強く求められていました。

文系学部の多摩移転から20年以上を経て、21世紀に入ってようやく後楽園キャンパスに新3号館、新2号館が建設され、理工学部・研究科には新しい学科や専攻が設置され、外に向かってアピールする改革が連続しました。並行して、ロースクールの市ヶ谷キャンパスが相次いで取得され、中央大学の都心キャンパスへの大規模投資が続きました。他方で、2010年秋には、横浜市の旧横浜山手女子中学校・高等学校の本学への合併がおこなわれ、2013年には同市都筑区への全面移転が行われました。

こうした経過からみなさまお気づきの通り、中央大学は多摩移転という大事業以降、1993年の総合政策学部の創設以外には、新学部とその施設への投資が全く成されずに参りました。その間、他大学は続々と時代の変化に対応した新学部を創設しました。現状、本学は同規模他大学と比較してもっとも学部数の少ない大学となりました。総合大学としての使命、魅力向上のために新学部構想を検討するという計画は、自然の理といえるでしょう。

さて、前置きが長くなりました。多摩キャンパスの文系学部の一部は、本当に2022年に後楽園キャンパスに移転するのでしょうか？ とりわけ、日本最大級の収容人員を誇る法学部は、

都心に移転するのでしょうか。

現在多くの方が知ることとなった現状の後楽園キャンパスは、都市計画の定める建ぺい率、容積率からみて、これ以上の校舎建築物の増・新築は認められません。建築物の容量は建築面積と容積率の積で決まりますから、建ぺい率と容積率が不変であれば、これ以上の校舎を増設することは不可能です。にもかかわらず「中長期事業計画」において法学部を最優先候補とする多摩文系学部の後楽園キャンパスへの移転計画が策定されたのはなぜでしょうか？

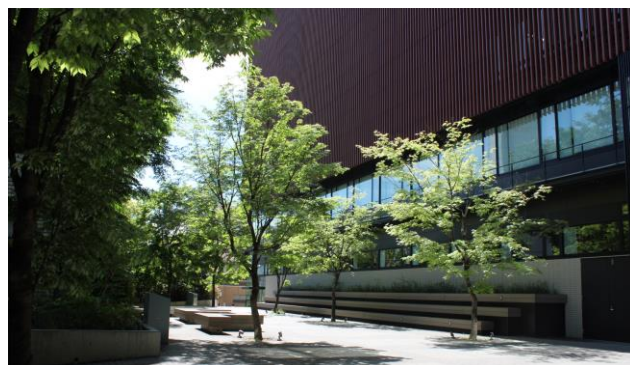
その答えは、次のいくつかの要素の組み合わせにあります。春日通りを挟んだ反対街区の容積率がいずれも後楽園キャンパスのそれを上回っていること。容積率が引き上げられれば、高層化による校舎増設の可能性が生じるということです。あるいは、水平方向に校地を拡張する可能性はどうでしょうか？ 隣接地、飛び地の取得の可能性も、近隣社会との良好な関係構築をしっかりと進めながら、全くないわけではありません。あるいは、現キャンパス周辺の再開発・まちづくりとの連携＝地域貢献を通じて、キャンパス拡充の可能性を追求することもあり得ると考えます。

都心キャンパスの拡充整備は、こうした様々な制約条件を一つ一つクリアしながら進められるべき課題です。1978年の多摩移転に要したエネルギー以上の支出が求められる大事業です。2022年の完成にとどまらず、今後20年～30年の本学の未来を決する大事業です。

これまで本学は、時代の要請に応え、大学の使命発揮のためにその都度比較的大規模の投資をおこなってきました。よく言えば、フレキシブル（柔軟）であり、タイムリーな対応でした。しかし、中長期計画がないもとのこうした意思決定とその実行は、「この後どうなるの？」といった将来への不安を伴うものでした。しかし、今は違います。当面10年間の「中長期事業計画」を私たちはもっています。

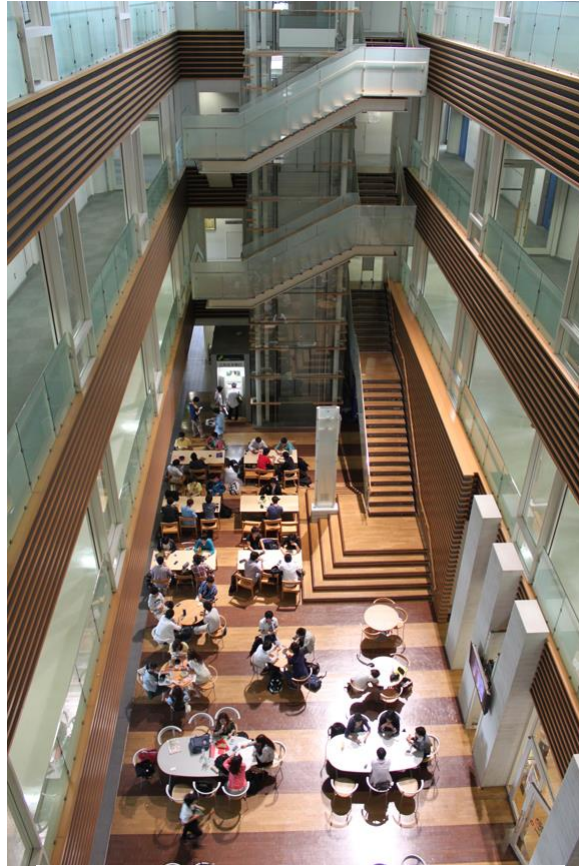
「都心でのキャンパス展開を考える場合には、後楽園キャンパスを中心に考えるべきである。」（「中長期事業計画、3頁」）この判断を前提に、私たちは力強く前進することにしました。今後、後楽園キャンパスを取り巻く地域社会、行政、企業等々多方面に対して、本学の建学の精神「実地応用の素を養う」とその具体化についてご理解ご協力を賜れるように渾身の努力が求められます。

学員会文京区支部創立20周年のこのめでたい時に、2022年を画期とする後楽園キャンパスのさらに発展飛躍した姿を、支部会員の皆様とともにこの目で確かめたいと強く願っています。「オール中央」から「チーム中央」として国内外から注目され、学生の勉学・文化・スポーツ活動が交響曲のように輝き、響きあうことを夢見ているお祝いのご挨拶に代えさせていただきます。



2号館横のウッドデッキ

# 後樂園キャンパス



3号館コミュニケーションスペース



キャンパス入口のけやき並木



# 座 談 会

## 「20年の歩みと今後の展望」



### =出席者=

田中 祺益 (二代目支部長)

大久保治男 (三代目支部長)

野口 昇兵 (五代目支部長)

久代 信次 (副支部長)

司会/松沼 茂 (幹事長)

## 文京を愛する学员たちが結集して支部を創立

**司会（松沼）** 本日はお忙しい中、創立20周年記念誌の企画でお集まりいただきありがとうございます。

文京区支部は都区内では10番目の支部として発足しましたが、当初の熱い想いが衰えることなく無事20周年を迎えました。残念ながら初代の飯塚支部長と四代目中川支部長は故人となりましたが、本日は歴代の支部長と現支部長の皆さん方に支部設立の経緯と活動の歴史を振り返るとともに、今後さらに発展していくためのビジョンなどを語って頂きたいと思います。

はじめに二代目支部長の田中先輩から創立準備にまつわることを簡単にお話してください。

**田中** 支部立ち上げのときは、設立準備にあたった人たちは私も含めみんな一生懸命やりましたね。当時の文京区長は中央大学出身の遠藤正則さんで、地域支部設立ということでは当然協力をお願いしなければならない人でした。ところが立役者のひとりだった飯塚さんは遠藤区長とは面識がなかったので、私が仲立ちを頼まれました。遠藤区長に話をもっていくと非常に理解を示されました。当時、文京区役所の職員には今よりずっと多くの中央大学出身者がいましたが、文京区教育長の富田誠一さんが実務面で非常に骨を折ってくれました。このようなことは私も経験がありましたが、当時、年次の支部を立ち上げたばかりで、それを軌道に乗せるのに大変な時期だった松沼さんが当初から協力してくれたのは、本当に助かりましたね。当時設立のために力を合わせていた人たちは、皆母校愛にあふれていました。私も是が非でも支部を発足させねばならないと、できうる限りの努力をしました。町内会長を訪問したり、学员が80人いるという湯島地区めぐりや企業回りをして協力を訴え、コネで人集めをしました。何回か発起人会を重ね、支部の設立に向けての準備をしました。そして平成8年の4月12日に文京区民センターで熱気にあふれた創立総会を開くに至りました。しかし私自身は役員はできないですよと就任を辞退していました。



**田中 祺益**

昭和33年商卒。天野ゼミ所属。家業の畳店を経営。湯島天神祭礼委員長・町会長歴任。



**松沼 茂**

昭和42年経卒。ワングル部OB。本郷で45年榊松しん経営。元西武ライオンズ初代応援団長

それがいつのまにか二代目の支部長になっていたという次第です。

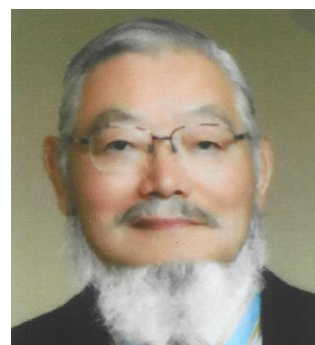
**松沼** 私が参加できたのは発起人会の二回目の会合あたりからだったと記憶していますが、みんな真剣に取り組んでいましたね。田中先輩が二代目の支部長になられたのは当然の成り行きと受け止められていました。飯塚初代支部長のあとを受けて田中支部長が6年間尽力されたあと、三代目支部長に就任されたのが大久保先生でした。苦小牧市と駒大との公私協力大を創立、その苦小牧の駒澤大学初代学長に就任されるなどの活躍されていた大久保先生でしたが、積極的な会運営をされて、文京の白門会は楽しい会だという定評が確立されました。

**大久保** 私は文京区支部が出来てすぐの頃に入会しました。しかし平成10年から13年までの4年間は北海道に行っていたので、この4年間だけ抜けました。苫小牧時代、付属高には甲子園で大活躍した田中マー君がいました。駒澤大の駅伝も中大出身の体育教授や監督が強くなりました。私は田中支部長の時に文京区に戻ってきましたが、中央大学と文京区を非常に愛しています。

**松沼** 文京区には5代前から住んでおられるとか。

**大久保** そうです。家族で3代以上区内に住んでいると「文京老人」と呼ばれます。相続税の問題などもあって、なかなか大変なのです。私は学習院大学や教育大学など他の学校にも入りましたが、我が家の家系と同じ彦根藩士の増島六一郎先生が初代学長の中央大学で学びたくて中大に入学しました。卒業後も学员として中央大学を愛していますが、平成18年に文京区支部の支部長を引き継ぎました。6年間の任期を終えましたが、皆さんの力は素晴らしいと実感しました。

それまでも区内の名所旧跡などの探訪はありましたが、平成22年に旅行会を始めました。これは私の任期中の特筆すべきことだと思っていますが、松沼幹事長や鈴木雅幸さんのお骨折りにより毎年行われている旅行会にはすべて参加しています。第1回目の旅行会は、NHK大河ドラマ第1号となった「花の生涯」の舞台である彦根の私の本宅、井伊直弼の15年居宅の「埋木舎」に来ていただき、私が案内しました。二日目は学员の中村英一さんが経営する京都の旅館料亭・吉田山荘を訪ねました。ここは旧東伏見宮家の別邸だった由緒ある所です。私は中大、彦根、文京の三者で素晴らしい人生を送っています。



**大久保 治男**

昭和35年院法卒。苫小牧駒澤大学学長、武蔵野学院大学学長を歴任。彦根「埋木舎」庵主。

**松沼** 旅行先では体験や時間を共有することによって、いろいろな話題が生まれますね。

**田中** 亡くなった遠藤元区長は水戸出身なので、井伊直弼の家老の大久保先生の家とは本当は敵同士なんだよ、などと冗談を言っていました。一泊旅行はスケジュールの都合などで参加できる人は少ないようですが、参加した人はみんな楽しかったと言っていますね。ぜひ続けてほしい企画の一つです。そのほかにも創立以来、会員同士の親睦を深める多くの行事を実施してきました。これらの幹事役を積極的に引き受けてくれる人がたくさん出てきてくれば、文京の白門会はより楽しい会になります。

**大久保** 2回目の旅行は大震災の翌年、松島に行ったのが良い経験でした。3回目の小諸城址を訪れたときは地元の草笛会の人々が惜別の歌を奏でていたのを聞いてとても懐かしい気がしました。4回目は伊勢志摩に、5回目の北陸金沢の旅では開通間もない北陸新幹線にも乗りましたが、どれも思い出深いものでした。

**野口** 旅行会は心に残るところが多かったですね。参加者がもっと増えればいいですね。

**松沼** 旅行に限らずいろいろな行事を通して、学员同士の絆が深まっていったと思います。大久保先生が6年おやりになった後、四代目として弁護士の中川浩治さんが就任されましたが、任期2年中に体調を崩されて、野口さんが五代目支部長として引き継がれました。

## 会員同士の信頼と連携は今後も大切に

**野口** 私は大久保先生の紹介で入会しましたが、最初感じたのは、信じられる人たちの集まりだな、ということでした。行事で最初に行ったのは鳩山会館でした。他のいろいろな会にも入っていますが、非常に楽しい会だと思いました。それは人望のある人たちが作ったという信頼があるからだと思います。若い人もどんどん入ってもらいたい、どの年代の人も十分活躍することができるいい環境の会です。会合のときに皆が笑える、の特質はぜひ受け継いで行きたいと思います。



**野口 昇兵**  
昭和 47 年法卒。  
東京育英学園理事長・学園長。

私は第五代目の支部長として、先輩諸兄にならい、第一に会員同士の親睦と和の結集をめざしてきましたが、より楽しい会にするため、会員のご家族にも参加していただけるように行事の充実を心がけています。

**松沼** 大久保先生も野口会長も支部長になられる前から非常に楽しい会だったとおっしゃっていただき、裏方としてうれしく思っています。

**田中** 創立したその年には、もう第 1 回目の納涼屋形船の夕べを催しています。他の支部で屋形船を貸し切りにするのはなかなか大変なことだと思いますが、松沼さんの実行力には感心します。そのほかにも異業種交流会、俳句会、ゴルフコンペなど、親睦団体として積極的な事業展開をしていきました。翌年からは釣りの会や史跡散歩と食べ歩きの会、観劇会、バレエ鑑賞などいくつもの企画を加えて、さまざまな趣味を通して会員同士の親睦を深めていきました。

**大久保** 私自身もすべての催しに参加できればいいなとは思いますが、彦根にある「埋木」舎」の管理のために東京を離れることも多いので、残念ながらいつも皆さんと顔を合わせるといわけにもいきません。私が支部長就任以前から企画された行事、そして新しい行事、どれも魅力ある催しとして特筆すべきことと思っています。

**久代** その中の一つとして、私が関係している東京ドームでの野球観戦というのがあると思いますが、中大学員の応援パワーには誇りを感じています。

**野口** たしかに、学員が一体となって大声援を送るのはストレス解消にもなるし、連帯感も深まります。中大出身選手の活躍でジャイアンツが勝った時にスタンドで飲むビールの味は、また格別です。東京ドーム社長の久代さんのお骨折りで、30人の大応援団を組んでの納涼観戦会ですが、都区内の他の支部会員からも参加したいとの声もあるので、合同で楽しんでいます。これまでの会の伝統を守りながら、楽しい行事の企画には積極的に取り組んでいくことを心がけています。これらの行事は、実施すると会報『白門文京』でレポートしていますので、会員の皆さんには好みの催しを見つけていただいて、一緒に楽しむのがこのような会の存在意義にもなっていると思います。文京は魅力あふれる町で、たいていの名所旧跡は1時間ほどで着けるとおもいますので、年齢に関係なく共に楽しむことで元気を蓄えていきましょう。

**松沼** 今お話にあったように、東京ドームでのジャイアンツ戦の観戦会は、久代さんの肝入りがあって実現しました。毎年夏の夜みんなで熱い声援を送り、美酒になったりヤケ酒になったり、ふたを開けてみないとわからないというスリルもありますが、目当てはもちろん中大出身選手の活躍です。こんな楽しみが恒例となっているのは、文京ならばこそと誇らしい気分になりますね。ところで、久代さんは中川さんが四代目支部長になられたとき、副支部長に就任されました。そして現在も引き続き会のために尽力していただいています。本日は亡くなられた中川支部長の代理的な立場で出席をお願いしました。

**久代** 松沼幹事長からご紹介いただいたとおり、中川支部長を補佐する立場に選任していただきました。残念ながら、人望厚かった中川支部長はお亡くなりになりましたが、本日も先輩方がお話されているように、良き伝統は切れることなく継承されています。私は、副支部長ではありますが、二度も総会の議長をつとめるという非常に稀有な経験をしています。この経験を含め、先ほどから話題となっている楽しい支部、実行力あふれる素晴らしい支部、を実感しています。20周年記念誌にはさまざまな企画が盛り込まれているようですが、その中に、文京区の名所旧跡を網羅してあるそうです。私はずっと後楽園を職場としている地元人間ですが、まだまだ知らない場所がいっぱいあることを再認識したところです。



久代 信次

昭和40年法卒。後楽園スタジアム入社。㈱東京ドーム常務を経て2009年社長就任。現在会長。

**松沼** 久代さんは文京区の代表的な企業である東京ドームの社長として多忙な中、支部の会議や行事にも参加していただき感謝しています。この4月に社長を退き会長に就任されたそうなので、激務も若干緩和されるのではと推測しています。引き続き会のためにご尽力をお願いしたいと思います。

**久代** はい。私も文京区と学会会のこの支部が大好きなので、できるだけ協力をさせていただきます。

**松沼** ご出席の皆さんから一巡でお話をうかがってきましたが、全く無の状態から文京区支部を立ち上げるために手弁当で集まった準備委員が会議を重ね、膨大な区内在住の學員に案内状を発送した際の苦労話や、大久保先生の叙勲のお祝いのお話などにも触れる時間がありませんでした。

## 後楽園キャンパスが中央大学のシンボルに

**松沼** ここまで設立の経緯や現状について話し合ってくださいましたが、学会会東京文京区支部の未来への展望を伺いたいと思います。中央大学の中長期計画の中心となるのが後楽園キャンパスです。OBとしては待望の中央大学復権構想ともいえるこの計画は、まさに文京区支部のテリトリーと密接な関係があります。それは他の地域支部とはまったく異なる特質ともな

っています。

**田中** 中央大学はまぎれもなく有名大学で、私学の雄の一角を担っていたという事実もありました。しかしOBの目から見て近年の低迷ぶりは非常に残念でした。その原因の一端は、都落ちと揶揄される八王子への本部移転にあるというのが、多くの学員の見方だといっても過言ではありません。地方出身の在学生やOBたちの父兄が上京して多摩キャンパスを訪れても、皆その雄姿に感動するどころか在所よりも辺鄙な立地に驚くと言われています。



中央大学といえば神田駿河台というのが昔からの定着した認識でした。都内を代表する文教地区のお茶の水にあってこそ天下の中央大学だという声の絶えたことはありません。しかし今さら元の場所に戻ることは不可能です。それに次ぐ最適の立地である春日町に文系学部、すなわち中央大学の中核学部を集約する構想は大いに歓迎するところです。この計画実現に寄与するために文京区支部がこぞって協力する態勢はすぐにでも整えられる力を備えてきました。

**野口** 多摩キャンパスの立地は都内から通学するには非常に不便です。田中さんの言われたように、地方居住者が自分の町よりももっと田舎だと認識する限り、進学意欲もそがれてしまうのは自明の理です。もちろん都内や近県の有力進学校からも敬遠されがちとなります。それはとりもなおさず優秀な学生が集まりにくいということで、駅伝や野球の有望選手を勧誘しようとしても、監督や家族を含めて二の足を踏ませている、という現実には早く向き合うべきだったと思います。

**松沼** 何十年も箱根駅伝を応援していますが、選手諸君が頑張っているのに成果が出ないのは、いい選手が集まらないからです。志のある選手は活躍して結果を残せる大学にしか興味がありません。箱根のシード落ちの連続という悪夢を誰が想像していたのでしょうか。成績が悪いから有望選手が集まらない、有望選手がいないから成績が悪いといういたちごっこが続いてきました。その原因の一つが大学の立地にあると思う人が多数存在するのは間違いありません

**大久保** 中央大学の中長期計画が発表される2か月前に、私は『学員時報』に提言を発表しましたが、そのとおりになったのでうれしい。八王子では都内から通学するのも大変だが、就職活動のために都心に出てくるのも大変です。しかしそれらのバックアップは十分考えられていなかったと思う。野口先生はハーバード大学で研究されたのでグローバルな考えをされる。中央大学の本拠が後樂園に帰ってくるのは大賛成ですが、八王子も十分活用していくべきです。立命館大学はアジア太平洋大学（APU）を大分の山の上に関西財界の応援で創立、世界各国から留学生を集めています。

**野口** 大学の教員はオリジナリティーを出すべきで、世界の教育を見てきた中で教育すべきです。大学はもっと学部を増やし、教職員の意識革命と奨学金制度の充実、銀行等と連携し親子二代で奨学金の返済、またレベルの高い学生を育成のため、在学中は勉学に専念さすべきで

あり、就職活動で売り込みに行くのではなく、企業のほうからオファーがくるような学生を育てるような大学にすべきです。

**大久保** 私も学長のとき見聞してきましたが中国の清華大学も大きく、オーストラリアのクイーンズランド大学も非常に広大で学内にIT工場まで持っています。このようなことを八王子でもやるべきです。そうすれば東大を凌ぐことも可能になります。とにかく世界に匹敵するようなグローバルなものにすることです。これからは文京区が中央大学を育てるという気概で取り組むべき時代がきたのかもしれない。いよいよ東大の赤門と中大の白門の地元決戦ということで、勝利を得るために文京区支部が先兵の役割を担うことが現実になるような気がします。

**野口** J大がなぜここまでになったか。就職部の部長が女子を外資系に入れようという方針にしたらレベルの高い学生が来るようになった。大学名を良い意味で世間に知らしめることが重要です。どこの大学でも持っている良い所をジョイントさせることが肝要です。O大学は教授会は教務に専念するという体制になっていると聞いています。

**大久保** それと女子が強い。まず優秀な学生は就職にも強い女子学生だったのです。

**田中** 八王子は通学に1時間以上かかる。だからいい高校からは来ないというジレンマがあります。このままでは、文京区支部も後輩を集める面では先細りの感があります。法学部が来るのはいいことです。ただ中央大学だけ社会人向けの講座がないので、ぜひこれにも取り組んでほしいと思います。

**松沼** 大久保先生も野口会長も教育の場で培われたグローバルな視点をお持ちです。大学の在り方についてはそれぞれ有為な見解があるでしょうが、座談会に残された時間もなくなりましたので、まとめとして文京区支部の今後の展望についてお話しください。



**大久保** 最近個人情報とかで若い卒業生の基礎的データを出してもらえない。各職場、とくに文京区役所には中大の卒業生が多数いるのになかなか入会してくれません。各支部の「平成会」のように幹事長のもとでお祭り行事をやるのも若い新規会員を募集して体力をつけるのにはいい方法です。後樂園キャンパスでも社会教育をやるべきです。それは文京区支部にとっても非常に有意義なことです。いずれにしても経営の姿勢の問題ですが、東洋大学はそれで非常に大きくなった。たとえば区内の中大生コンテストを実施したり、ケーブルテレビの利用や広報紙に載せてもらうように働きかけをしていく。校内レストランがおいしいなどの情報発信も意義のあることです。また学生に良いアルバイト先を紹介するなど先陣を切ってやっていけば、支部の将来への投資になります。組織を強化するためには、野口会長の言われるように準会員のような形で家族ぐるみで入ってもらうことも考えられます。そして文京区には名所の多さなど他地区ではマネのできな長所があるので、これの活用も大いに考えられます。文京区こそ文教の都なのです。

**松沼** 確かに、支部を活気あるものにし、いつまでも存続させていくためには、若い人たちの力が必要です。20周年を迎えたのを機に、文京の白門会を知らなかった多くの人たちに存在を知ってもらうように働きかけていきたいと思います。ところで、田中さんは亡くなられた初代飯塚支部長とは隣の町会ということで、前から顔見知りだったそうですね。私は設立準備会で初めて会い、名刺交換しました。当時飯塚さんは、中央大学OB企業家で組織する南甲倶楽部の重鎮でした。

**田中** ええ、飯塚さんとは支部ができる前から顔見知りでしたけれど、お互い中央とは知りませんでした。南甲倶楽部の事務所は駿河台記念館の7階にあり、同じく7階にある学会本部を通じて地域支部設立の流れを耳にしたようです。それで支部設立準備に取り組むことになり、私が一緒に協力することになりました。

**松沼** 久代さんは、やはり亡くなられた四代目中川支部長のときから副支部長として会を代表していただいています。

**久代** 中川支部長の弁護士事務所は市ヶ谷で、月に何度か文京区役所の会合に出ていたそうです。私がいる東京ドームは中川さんの仕事や帰宅時の帰り道になるようで、正副支部長として会議をするにもぴったりだっただけに、ご逝去は本当に残念でした。支部としては地域の特性を生かした活動を続けていきたいものです。

**司会（松沼）** まだまだお話を伺いたいところですが、時間がきました。本日はどうもありがとうございました。

(平成28年6月8日 駿河台記念館にて)



白門文京幹事会風景



# 会員寄稿『私の20年』

(50音順)

## カナダへ移住した喜び

石川善次郎 (昭42年経)



私はカナダ・カルガリー市に住み日本出張の際、運よくスケジュールが合えば、文京白門の行事に参加している準会員の立場です。

カナダに移住したのは昭和42年の春に中大を卒業して、その9月であった。卒業して直ぐに移住ができるかと思って移住の準備を進めていたが、移住の許可が中々下りずに、結局はその9月に念願の移住許可を入手できた。中大を卒業して直ぐ、5月に結婚して、9月に妻、徳子と共にカナダ、カルガリー市に移住した。周りからは‘アメリカなら話はわかるがカナダなどと、人っ子一人住まないツンドラ地帯に移住するなどとはバカでは済まない、大バカだ’、とあざ笑う者が大勢いた。つまりカナダへの知識はその程度しかなかった時代でした。ところがその当時カルガリーは40万都市のカナダでも指折りの大都会だった。ちょうどその頃仙台が40万都市で、私はよく仙台と比較して皆に説明していた。

今になって見れば、若さだけが取り柄だったのかもしれない。怖さ知らずの二人だったが、将来の目的と夢をしっかりと胸に抱いて見ず知らずの、そして言葉の違う大地に出発した。移住するために航空券を買うお金はもちろん無く、と言うより一文なしの身だったが、今は亡き兄貴から借金して二人分の航空券を購入してカナダへ渡った。その後、兄貴には少ない給料からちびりちびりと返済して行った苦闘の時代があった。

当時は大空を飛ぶ一番大きい飛行機はDC8で羽田からカナダ、カルガリーまではひと飛びでは飛べずに、アラスカのアンカレッジで一旦着陸して給油をする必要があった。当時の為替が1ドル360円の時代で、航空券は一人30万円という膨大な価格だった。

移住後の生活は艱難苦闘の連続だったが、それは覚悟で選んだ道、と歯を食いしばっての生活が続いた。しかし、夫婦二人で抱いた夢は一時も我々の心から離れなかった。当時は2×4工法の住宅建築に携わっていたが、その後、1979年に転機が訪れた。それはアルバータ州政府からの呼びで、日本に2×4工法の建築市場開発の仕事の請け負いという願ってもない仕事が入った。

その後カルガリーと日本を往復するようになって、特に1982年以降は年に5、6回も往復するようになり、ある年は毎月日本に出張して、その頃から文京区内のホテルが定宿で文京区の住民のようになった。今現在も、日本に出張の際は長年行きつけの定宿に定着して日本で仕事ができる事が人生の最大の楽しみである。

## 20周年に寄せて

浮田 秀則 (昭45年経)

### ○流人の島

私の故郷は、東京から南に270km、太平洋に浮かぶ八丈島である。

江戸幕府になり、江戸からの流刑地として伊豆七島が選ばれた。三宅島、御蔵島、そして最も遠隔な流刑地が八丈島である。八丈島流刑者は、政治犯、思想犯が多い。



### ○八丈流人の第一号

今、NHK大河ドラマで、堺雅人さん主演の『真田丸』が放映されている。前半の山場は関ヶ原の戦い（1600年）である。関ヶ原の戦いで敗れた西軍の宇喜多秀家は、島津忠常、前田利長の助命嘆願により死罪を免れ、二人の子供（長男：孫九郎秀高、次男：小平治秀継）とともに慶長11年、八丈島に遠島になった。八丈島流人第一号、一行は13人である。

また、6月18日のフジテレビ「ぶらぶらサタデー・離島へ行こう！」流人第一号は豪姫の夫・秀家、二人の悲しい恋ーという90分番組が放映された。

### ○宇喜多と浮田

八丈島に流された秀家は、名を浮田久福と変え、妻の豪姫の実家である前田家などの合力もあり、島にあること50年、1655年、84歳で没した。関が原で戦った、徳川家康、福島正則、小早川秀秋などの武将よりも長く生きた。

八丈の流人が全部赦免されたのは、明治14年のことである。浮田一族もはじめて、この恩赦に浴した。一族7家に移り住んだのが、加賀前田藩の下屋敷跡、現在の板橋区である。板橋の東光寺には、宇喜多、浮田の同族の墓所がある。そして、八丈島に残った浮田（半七）が、流された13人の墓を平成の今も守っている。

### ○白門文京との出会い

職場の上司でもあった富田誠一さん（当時：文京区教育長）から『白門文京へ入会を』との声を頂いた。20年前のことである。そこから、また新たな出会いが始まった。大久保先生、会長の野口さん、副会長の倉田さん、久代さん、幹事長の松沼さん……。

そして、白門文京も創立20年、成人式を迎えることができた。ご尽力、お力添えを頂いた方々に感謝、感謝である。

## 入会して5年、先輩に感謝

大和田 實（昭42年法）

白門文京に入会させていただいて5年が過ぎました。丁度東日本大震災の直後の4月、椿山荘での総会での入会です。私の生れは東京荒川区三河島ですが、疎開により小学生まで福島県原町市（現・南相馬市原町区）で過ごし、父の実家であるこの地が故郷です。妻の実家も南相馬市鹿島区で、海岸から3kmも離れていたのに大地震の津波により1階部分が流失、田んぼには大きな船が何艘も流されてきました。私の実家は津波被害こそなかったものの、福島第一原発の事故による放射能から逃れるため、会津から新潟へと避難を余儀なくされ、今では実家に戻っているものの、稲作は未だに出来ない状況です。



平成11年の総会には、妻ともども出席させて頂き、自己紹介で実家が罹災したことを話した時、出席されていた先輩方々の心からのお見舞いの言葉に胸が熱くなる思いでした。このような先輩方とともに活動できることを誇りに思ったことを鮮明に記憶しております。幹事の末席に加えていただき、幹事会や旅行会、そして花見や屋形船での納涼会等々出来る限り参加させていただき、学生時代のワンダーフォーゲル活動とは一味違う仲間意識、母校愛が醸成され、入会していなければお話など出来ない第一線で活躍され、人生豊かな立派な先輩諸兄姉と親し

くお話しさせて頂き、ご指導いただけたことは、この上ない喜びです。感謝しております。

これからも若い方々が多く入会され、白門文京のますますの発展、活動を通して、母校の発展に寄与し続けられるよう祈念しております。

## 鎌倉中級武士の江戸通い

はじめ  
小川 祝 (昭33年経)



箱根塔ノ沢で生まれ、子供の頃から正月だ、駅伝だという風に育ち、成長した。だから駅伝好きが高じ現在に至っている。中大に進んだ昭和29年まで駅伝は土・日に行われ、各大学とも学生服姿の応援団があふれんばかりにトラックに乗り込み、選手の後を連ねる光景は正月の風物詩だった。今でも心の隅に残っているが、トラックに乗った応援が叶わなかったことだ。

歳月は流れ、卒業から40年ぶりにクラス会が開かれた3年後の平成13年2月、級友が持ってきた中大スポーツ新聞が縁で「箱根駅伝を強くする会」に即入会。4月の選手激励会では同期で4年間箱根駅伝で大活躍した現陸上競技部OB会名誉会長佐藤光信氏に、1年後には6連覇達成の立役者で、日テレの駅伝解説で馴染みの碓井哲雄氏に巡り会えた。以来、両名のお陰で各大会の応援にも出かけ、黄金時代を築いた陸上競技部OBの方々と知り合った。

また出会いを重ねているうちに硬式野球の応援に誘われ、神宮球場にも行き平成16年秋、25年ぶりの優勝の喜びに浸った。更に碓井哲雄氏箱根駅伝講演の席で理事長に就任早々の久野修慈先生とお目にかかり、秘書を務めていた準硬式野球部監督の池田浩二さんと知りあって人間性に惚れ「準硬式野球部を応援する会」の会員にも。そうこうするうちに箱根駅伝応援仲間の松沼氏に認められ？気が付くと文京区支部の幹事に名を連ねていた。

かねがね地域外の会員と恐縮していますが、会の行事には「いざ鎌倉」（鎌倉幕府に一大事が起きた意とのこと）の気持ちで逆に鎌倉腰越よりお江戸まで参上いたします。何とか箱根駅伝・神宮の王者復活を期し、これからも老体に鞭打ち、否、若さと元気を維持するためにも頑張る所存です。

## 白門文京に支えられて

三代目 桂やまと (平12年文)

中大を卒業して落語家になった者は、現時点でたったの5人しかいません。まそれだけで十分だとは思いますが……。

そのお一人柳家小団治師匠には前座時分から大変お世話になり、在籍されている42年白門会主催の『柳家小団治寄席』にも毎度出演させていただきました。そこでお会いしたのが当支部幹事長の松沼茂茂先輩。

どうなるかなんてまるでわからない若造を、「後輩だから」という理由だけでずっと可愛がってくださいました。これが私は何より嬉しかった。世間でえのはどうしても人のことを値踏みします。この人は価値があるのかどうか。「前座か。じゃあ虫ケラだな」と相手にもしない人もいますから。ところがそうじゃなかった。いつも叱咤激励してくださいました。

卒業してから感じたのは、白門はタテの繋がりが本当に強いということ。私は商売柄、全国



各地に伺って多くの方々とお会いします。そのなかで「中大を卒業しました」というだけで「おっ、白門か！」と先輩方が笑顔で寄ってきてくださる。これは非常に有り難いことです。そして私は必ずこう付け加えます。

「私、白門文京に所属しています！」

荒川区に代々暮していますが、「ぜひうちにおいでよ」と誘っていただき、真打昇進披露の際もご尽力くださった白門文京。ご恩返しは私が落語家として大成することと心得て、日々精進しています。白門20周年誠にありがとうございます。

## 私と中大文京区支部

倉田金三郎（昭30年商）



私の高校 京華学院の恩師森田政彦先生の再三のご勧誘があつて入会致しました。森田政彦先生は高校時代のバスケットボール部の顧問であり、優れたコーチとして一緒に烈しい練習で汗を流し、コート狭しとプレー、指導し、チームの中心メンバー二人が有名大学に推薦入学を果たすという結果を残された。その恩師で中大先輩からの指示は絶対でした。しかし私も中大30年会役員でまだ在職中だったので、退職したら必ず入会致し

すとお約束した次第です。

私が文京区支部に入会して10年近くになりますが、残念なことに森田先輩とご一緒したのは2年位かと思えます。多彩な才能をお持ちの方で、晩年は写真に熱心で最後まで白黒写真でそれを自分で引き伸ばし展覧会に出展されていました。残念なことに1枚写真を預かった事は本当に心残りであり、口惜しいことです。

お陰様で83歳になりましたが、高校時代のバスケットのお陰で足腰が確りしており、週1～2回のゴルフを楽しんでおります。しかし残念な事に年齢には勝てません。足腰の筋力が年々衰えていきます。そこで一念発起して週に2～3回ジム通いを始めました。最初は少しずつ、今では2時間位体力維持ができる様になりました。年齢標準より筋力が上回る結果となり、ゴルフもハンデキャップ20となってエージーシュートも目前に迫りつつあります。当会でも1回だけ有志の方々とゴルフプレーをしましたが、現在は立ち消えの状況で大変残念です。一方ゴルフは集中力が大切です。私は集中力アップのために毎朝6時に起床しNHKのテレビ体操を行います。その後、墨を摺り先祖に感謝して般若心経262文字を半紙3枚に書き上げております。

今後も元気で、文京区支部を愛して益々発展する様に努力したいと考えております。何卒よろしくご指導のほどお願い致します。

## 20周年おめでとうございます 杉原 尚（昭42年法）

私は文京区に在る柔道の総本山講道館へ茨城から週に2～3日程度通っております。

中大卒業生で文京区に通っているということで支部事業のご案内をいただき参加させていただいております。そして支部会員の皆さんは、非常になごやかで何の抵抗もなく受け入れて下さっています。

いろいろな職業の方がたが文京支部で触れ合った仲間を大切にされ、真の母校愛のもとに結

集されているからだと思います。

春には小石川後樂園のお花見に参加させていただきました。講道館には何十年も通っているのに初めてのことでした。お花見ののちの懇親会は、涵徳亭で行われ、お部屋に案内されると床の間には、平沼騏一郎先生の七言二句のすばらしい書がかざられていました。

先天下之而憂 後天下之樂而樂

と楷書で強く書かれていました。後樂園の名称が後段の後樂の文言から引用されていることが何となく理解できました。私は60年以上柔道と書道の稽古を続けていますが、宮本武蔵のように道を悟ることもできずに楽しんでいきます。

末尾に白門文京支部の益々のご発展をご祈念申し上げお祝いの言葉といたします。



講道館七段

## 白門文京旅行記

鈴木 雅幸 (昭47年法)



ひとり旅、家族旅が好きであったことが、白門文京支部の団体旅行を企画し、引率することになるとは考えも及ばなかったことです。平成22年から始まった白門文京の旅は、毎年趣向をこらした企画をたて催行してきました。

**平成22年度** 大久保名誉会長のご自宅である彦根市「埋木舎」、彦根城、玄宮園と京都寺社巡り、京懐石料理「吉田山荘」での一時を味わう旅でした。(宿泊は彦根キャッスルホテル)

**平成23年度** ガンバレ東北！と銘打って仙台市青葉城講演、秋保大滝、松島、東松島市内バス車中から見学の被災地応援の旅でした。(宿泊は秋保温泉佐勘)

**平成24年度** リゾート八丈島の旅を企画し、ホテル側と打合せが不調に終わり、中止しました。

**平成25年度** 小諸城址懐古園、藤村記念館、松本城と信州そばを食する旅でした。(宿泊は浅間温泉高峰高原ホテル)

**平成26年度** 「お伊勢お陰参り」を催行、豊受大神宮、せんぐう館、皇大神宮、おはらい町散策、鳥羽市ミキモト真珠島を見学する旅でした。(宿泊はホテルルートイン松阪東)

**平成27年度** 開業した北陸新幹線に乗車して、金沢兼六園、武家屋敷を巡る旅でした。(宿泊はアパホテル金沢中央)

**平成28年度** 長野善光寺、大河ドラマ「真田丸」ゆかりの地を訪ねる旅を企画していません。(宿泊は休暇村妙高を予定)

中央大学学会東京文京区支部は20周年を迎え、より一層の会員相互の親睦を図るうえで白門文京の旅行会がその一助となれば幸いです。

## ボストンマラソンの応援に行って 高松常太郎 (昭42年経)

文京区支部の設立20周年を心からお祝い申し上げます。私は中央大学源氏会という卒業してから50年継続している会に所属していますが、その会に松沼茂幹事長(事務局長)が入会

して下さいました。源氏会のメンバーにはマラソンの君原健二さんがいます。



君原さんが参加する第120回ボストンマラソンの応援に、30人で行ってきましたが、たまたま今年の文京区支部の講演会の講師は君原さんだと伺ったので、その応援の模様を紹介させていただきます。

君原さんは、中大在学時の東京オリンピックで銅メダルの円谷幸吉さんと大の仲良しで、第70回ボストンマラソンに優勝。50年後の今年招待を受け、120回大会に完走して来ました。優勝した時は25才、新婚間もない頃元気溘刺でしたが現在は75才、フルマラソンは大変きつい。

しかし、ボストンマラソンの120回大会に完走することを目標に生きてきた彼、50年間この日の為に努力を重ね見事に完走を果たしました。50年後に完走したのは、今年の君原さんと過去の山田敬三さんの二人だけです。4時間53分14秒、見事で感動的で美しいゴールでした。沿道で懸命にゴールを目指す夫、父、祖父の姿を目撃した奥様、次男、孫3人。奥様は号泣、奥様ばかりか孫達、応援団30人も涙、涙の顔、顔でぐしゃぐしゃでした。この日はアメリカは国民の祝日でスタートからゴールまで沿道は人で埋めつくされ、天気も良く20度の高温でランナーは苦しそうでしたが、賑やかで歓声が一日中続きました。

ボストンマラソンはホプキントンという田舎町をスタートし、ゴールのボストン市を目指す折り返しのない42.195kmのコースです。120年も続いていて、オリンピックの次に古いイベントです。改めてアメリカの凄さを感じました。

この日は障害を持った方々も大勢参加。スポーツ用の義足で走る若い綺麗な娘さん、懸命に車椅子を漕ぐ若者達、重度の障害をもった息子と三輪ベッドに乗せて押すお父さん。その一団が来ると割れんばかりの拍手と歓声、アメリカの人情、先進国の一端を垣間見ました。

ボストン市は人口63万人、地下鉄、空港、ホテル、鉄道、教育、文化、芸術、スポーツ、それらが完備された町です。また、マサチューセッツ工科大学を見学しましたが、この大学からノーベル賞を82人輩出。ハーバード大学も見学、校内の広さ、売店の大きさなどに驚いたアメリカでした。

マラソン当日の4月18日、ホテルで君原さんの完走祝賀会が夕7時から開かれ、和子君原夫人、次男嘉朗さん、孫3人も出席。30人の和気あいあいのスピーチ連発で賑やかで、特に和子夫人の50年間の苦勞と現在、今の幸せの話に皆様感動し、大きな拍手が鳴り響きました。応援に参加して下さいました皆様、私は東京オリンピック(2020年)では、パラリンピックを中心に観に行こうと思っています。ありがとう君原健二さん、ありがとうボストン、ありがとう応援団の皆様。



地元空港に勢ぞろいした君原応援団



写真中央が快走する君原健二さん

## 卒業以来趣味と仕事を楽しむ

竹本 方英 (昭 63 年文)

20周年おめでとうございます。当会においてはかなりの若輩者の自分ですが、昭和63年卒業ですからもう28年も経つんですね。自分は高校も中央大学附属高校でしたので、中央大学には7年間お世話になりました。高校時代は山岳部、大学時代はサイクリング同好会とアウトドアな学生生活を送っておりました。社会に出てからはどちらかというとダイビングなど海のアウトドアを少しかじっておりましたが、高校山岳部の同期が勤務先の北海道から東京へ戻って来たのを機に、ここ5～6年ほど前からは山歩きに回帰しております。



毎年春と秋に大きめの山に入っておりまして、つい先日は新潟の越後駒ヶ岳を攻めて参りました。去年は春に聖岳、秋に飯豊連峰、一昨年春に光岳、秋に荒沢岳、といった具合です。また、その他にも年間十数回山に入っておりまして、毎年黒菱平の中大小屋で高校山岳部のOB会をやっておりました。残念ながら今年で小屋を処分してしまうとのことで、最後の夏と秋に二度使わせていただく予定です。

仕事の方はといえば、卒業直後は印刷物の制作プロダクションに就職し、その後ダイレクトメールの会社、大手企業のハウスエージェンシーを経て独立したのが平成16年、飯田橋でトライアシック株式会社という会社を始めて12年になります。やっていることは卒業当初から変わりなく、印刷物やWEBサイトの企画制作、ダイレクトメールの企画制作・発送代行、イベントの企画・施工・運営など、事業者様の企業PRや販売促進活動のお手伝いをしております。

## 日華友好の桜の植樹祭に参加

土屋 頼子 (昭 31 年法)



白門文京区支部創立20周年、誠におめでとうございます。支部の草創期から活動を共にしてきた多くの仲間の方々が去って逝かれ、哀惜の念ひとしお、年月の流れの早さを実感します。

会活動は文京区の史跡めぐり、ゴルフの会、観劇会、旅行会、野球観戦、落語など盛り沢山でいつも楽しく和気あいあいと時間を過ごし互いに同窓の絆を深めてきました。

そのなかで日華友好会は亡き土屋一男の台湾への熱い想いから創設された会であり、私は折々文京区支部の皆さんにご支援、ご協力をいただきたく具体的に活動のお話しをさせていただきました。

友好の絆として日本から桜の苗木を台湾に空輸し一年間仮植え、管理された後に中正記念堂、国父纪念馆、指南館、国立中央大学、国立金門大学、東呉大学、世新大学、宜蘭大学など台湾の各地に植樹をしてきました。

これまでに1,300本になりました。

今年2月には金門島や国立中央大学を訪ね、桜の開花を観たり同学会(台湾の同窓生)の人

たちとの温かい交流をしました。

文京区支部の松沼幹事長夫妻以下数名の人が参加され、海外での活動の一端をご理解いただけたものと思います。

世界で一番の親日国台湾との深い友情の輪が子々孫々まで続きますように願って、これからもよろしく願いいたします。



植樹地訪問旅行 平成 28 年 2 月 22 日～22 日



平成 1 5 年 文京区支部主催「東京都区内支部連絡会総会」  
(文京シビックセンター 2 6 階)



## 蓮池薫氏特別講演

### 『拉致と決断——祖国日本での12年』

講師／蓮池 薫氏（新潟産業大学准教授）

平成27年7月25日

会場／後楽園飯店



皆さんこんにちは。このように先輩方の前でお話しさせていただくことを大変光栄に思っております。中央の先輩には大変お世話になっております。今回、私がいろいろなところで講演している話をお聞きになって、早速このようにお呼びいただきました。

私が帰ってきたときに中大の「中大生を救う会」という後輩たちが、私を救うためにいろいろな活動をしておりました。私が東京に帰ってきたその日に挨拶に赤坂プリンスホテルに来てくれました。彼らは仕事をやりつつも、拉致の問題にいろいろと非常に頑張ってくれました。私も我々が帰ってきたからいいということだけでなく、子供が帰ってきて良かったのではなく、それで終わりではないのだという、そういう意識も常々ありました。が、果たして帰ってきた人間が先頭に立って何かやったら北がどう思うのか。逆に帰し辛くなるのではないかという憂慮もありまして、慎重になってきました。けれど、全然進展もないし、そういう中でこれは何かやらなきゃダメだろうということが、今から数年前に感じ始めました。それで、講演を始めたわけであります。私の体験談が中心になりますが、それを通して拉致問題がどういうものか、身近に感じてもらえればという思いでやっております。

今日は先ず、いま山谷えり子大臣のお話もありましたけれども、日朝交渉について私の思っていることを少しお話したあと、おそらく皆さんもちょっと疑問に思っているというか、スッキリしないと思っていることをお話しさせていただきます。例えば、北朝鮮は何で拉致したのか、いろいろ言われておりますが、最近私がひとつ資料を掴んだというか、調べた結果こうだろうなという明確にお話しできるようなものがありますので、それをお話したいと思っております。それと、北朝鮮に拉致されて行っているいろいろありましたが、なぜ北朝鮮が拉致を認めて返すようになったのか。その辺もやはりスッキリしない部分もあるかと思っておりますので、私が見たところをお話ししたいと思っております。時間的にどのくらいになるかわかりませんが、最後は何でも率直にご質問をいただければ精一杯お答えいたします。

先ずは日朝交渉なのですが、北朝鮮がなんで先延ばしにするのか、拉致問題について報告しないのはなぜなのか。正直言って、調査がまだ途中だというのは全くのウソです。拉致被害者というのは当局が管理下に置いておりますので、どうなっているのかというのは調べるまでもないわけです。つまり2002年に我々が帰ってきた段階で、すべて調べ上げているわけですから、今さら調査というもおかしな話ではありますが、ただ、北朝鮮は一旦8人死亡と言った。今認定された拉致被害者は17人ですが、帰ってきた我々5人を除くと12人。そのうち8人死亡、4人は未入国だと言っている。これはトップが発言した内容ですので、今日明日、

## 蓮池薫氏特別講演

突然手のひらを返すように、あつ実は生きていたと言うわけにはいかない。いろいろ調べた結果、亡くなったと言ったけれど生きていたと言うキッカケを与えるための再調査、日本側としての、そういうものだと考えていただけたらいいかなと思います。ただ、北朝鮮は拉致被害者に対する問題は日本との交渉の最後のカードにしている。

つまり、最終カードを出すときは日本からの大きな見返りが確実に手に入るという段階でないとなかなか出してこない。で、北朝鮮の見返りとは何かと言うと、2002年の合意にあるように日本との国交正常化と1兆円とも言われる日本からの経済援助、これが最終目標であるわけです。しかしこれはそう簡単には出してこない。まして、現在北朝鮮との交渉で日本が出すカードの見返りとしては、人の交流、送金の問題とか船舶の行き来、万景峰号を含めて、あとは交易の再開程度なのですね。これで北朝鮮が動くのは非常に難しいのではないかなと思う。日本としては何としてでも、最低限8人死亡4人未入国という報告を覆して取り戻したいわけですが、今の日本のカードでは北朝鮮はなかなか動きづらい。動いてこない可能性が大きいとみております。私としては被害者の立場、家族の立場からすれば、この問題を北朝鮮がもっと誠実に対応すれば、日本がもっと大きな見返りを出すぞという、そういうカードを見せてもいい、私は是非見せてほしいと思う。

一方、もし北朝鮮が誠実に応じない場合は厳しく対処するぞというメリハリのある、アメとムチという話もありますが、そういうメリハリのある対応を今のこの時期にさせていただければと思います。ただ一つ問題としては、日本は国交正常化します、また大規模な経済援助をすればアメリカが反対するでしょう。例えば、日本の援助が核開発に回されるという不安も非常に強いし、日本も存在、日本の存亡を考えたとき今後の安全を考えたとき、これは慎重な問題ですから、そう簡単には出来ないわけです。ですから核開発に回せないような形での援助、例えば生活インフラの整備、日本の企業が行ってやるとかいろいろな方法があると思うのでその辺の知恵を絞ってもらって、北朝鮮が決断をするような方向に持って行ってほしいというのは、常々私がお願いしているところであります。

次に、拉致についてです。拉致の目的というか我々がなぜ拉致されたのか。金正日総書記は小泉さんに会ったときに「私は知らなかった。下の部下が勝手にやった。連れてきて語学の教育に必要であった」と言っている。しかし実際はこれらの人間たち、私を含めて拉致して行った人たちをじっくり教育したあと、自分たちの工作員に仕立てあげ海外に派遣しようとしていた、これが目的だったと考えています。拉致の手法も海外は別として、日本の場合での拉致はその目的に合わせた方法になりました。つまり、鳴り物入りで人がいなくなったみたいな噂がたったら、その人は工作員として使えないわけですから、日本でもいなくなったかどうか分からないような状況で拉致する。一番いい方法は海辺にいる若い人をつかっさらっていく方法。当時、日本でも、2～3万人の蒸発者が毎年出ている中で、海辺で何人かなくなったというところで、殺人事件でない限り警察は駆け落ちではないのかとか、気に入らないことがあってどっかに行ったのではないかと済ましてしまう。現実には私たちもそうだった。しょうがないところですが、北朝鮮側もそのへんまでを分かっていたら拉致をしたわけです。

## 蓮池薫氏特別講演

### いきなり拉致され、作業員の教育をされる

柏崎で私たちが拉致された状況をもう少し申し上げます。柏崎の場合だと5～6人の拉致作業員グループが海から浸入しました。その船は沖合の公海上でずっと待機して、日本の若い人を捕まえるまで待っていた。この連中は柏崎の民宿に泊まったり、野宿しながら毎日夕方になると中央海岸の海岸線にやってきて若い人間がいないか、拉致しやすい人間がいないか物色していた。数日間それをやっていたところ、そこで我々が引っかかった。私と家内は当時付き合っていてデートで海辺に行っていた。そこに座っていたら、1人の作業員がやってきて、たばこの火を貸してくれと言った。そのとき、もうサポート組の戦闘員が我々の後に接近してきていて突然襲われた。頭越しにボカボカと顔のあたりを殴られました。最終的に海辺で暗くなるまで待っていて、長い袋に袋詰めされた。すっぽり入れられてミイラみたいな感じで、一人の肩に担がれ、家内も担がれた。そして沖合の船は領海を侵犯して入ってきて、途中でゴムボートを降ろしそのゴムボートが海岸線まで来て、我々を船に積んだ後、一路北朝鮮の清津（チョンジン）に連れ去った。目的地まで2日間かかったようです。私たちの拉致はあっという間の出来事でした。むこうに着いたら私しかいない、彼女がいない。そういう中で首都の平壤（ピョンヤン）に連れて行かれて、いわゆる招待所というところに入れられました。招待所というところは何かというところ、特殊機関が作業員を養成する秘密アジトです。完全に外部とは隔離され、警備も付いて鉄条網で囲まれたようなところに私は入れられて、そこで教育が始まった。どんな教育かというところ、最終的には作業員に仕立てようということなのですが、あのような暴力的な方法で連れていったわけですから最初から言うことを聞くわけがない。徐々に徐々に北朝鮮とはこんないい国なのだということ、これを映画で見せたり、話をしたり、日本人の書いた本を読ませたりするようなどころから始まって、だんだんいわゆる社会主義とはなんだとか、日本は昔このような悪いことをしたのだとか、最終的には金日成の理論とか、そのあとは作業員の教育というふうに入っていく予定だったようです。我々はそれに基づいて教育される。なかなか受け入れられなかったのですが、3～4か月するともうしょうがないなという、もう逃げられない、下手をすると殺されるという思いもあって朝鮮語の勉強に身を入れてやった段階です。

そういう状況で作業員の教育を受けて、そのまま行けば作業員をさせられていたかもしれません。ところがある事件がこの特殊機関で起こってしまった。拉致されて1年3か月位したときレバノン女性拉致事件というのが実はございまして、我々とほぼ同じ時期にこの機関の作業員が中近東のレバノンに行って、そして5人の女性を拉致しました。どんなふうで拉致したかというところ、女性秘書を養成する学校に作業員たちが行ったのですが、日本企業の名前を出してつまり日立関係の会社から来たと言って、ここの学校にいる若い女性の中でフランス語がうまくて、きれいな女性、独身の女性を募集したいと、5人を募集して皆で飛行機に乗って、日本へ行くぞと出かけた後、北朝鮮に連れて行った。北朝鮮に着いたら女性たちは約束が違うじゃないかという話ですけど、そんなのは後の祭り、言うことを聞かなければなければ殺されるみたいな状況なわけです。この彼女たちに北朝鮮は作業員の教育を始めました。我々より急ピ

## 蓮池薫氏特別講演

ッチで教育を始めた。彼女たちは一旦朝鮮に囚われたけれども、工作員の教育を受ければ将来工作員として海外に出られる。そうすれば逃げるチャンスが生まれるじゃないかという思いから一生懸命に彼女たちは教育を受けたようです。それに北朝鮮はまんまと騙された。本気だなということで教育をした結果、1年3か月位してレバノン女性のうち2人を海外に出した。最初から任務遂行でなく実習というかたちで工作員の練習のために海外に出した。どこに行ったかというと、ユーゴスラビアに指導員の監視付きで行った。そしてそこで工作員の実習をした。どんな内容かは記事は書いてないのですが、おそらくは無線を聞いたり秘密の手紙を書いたりするような、そのような練習だと思えますが、このときこの2人は指導員を騙しました。明日ちょっとパーマに行ってきます、ああそうか、それも練習の内だ、行って来いと。すると行った足でレバノン大使館に逃げ込んだ。これで北朝鮮はレバノン政府から猛烈な抗議を受けるようになりました。その結果、2人はレバノンに逃げたわけで残りのレバノン女性も全部レバノンに返さざるを得なかった。

こういう事件があったがために、連れてった若い人たちを工作員にしようとした目論見は保留になってしまった。我々の教育も中止です。そして逃げないようにするために監視が強化されました。更に逃げるにはいろいろな心理的なものもあるということで、結婚をさせた。つまり私は拉致されてから1年9か月後に、結婚しないかと言われた。誰とだと言ったら、いや実は居ないと言っていた彼女が居るんだと言う。私は当然、いや居るならしますよと言った。拉致されて1年9か月バラバラにされていたが、そういうわけで私たちは再会してすぐ結婚しました。その後工作員教育はしないかわりに、ただ飯を食わせるわけにはいかないということで、日本語教育をさせられました。先ほど申し上げたように工作員を養成する秘密アジト、そこに若い工作員、北朝鮮のエリートたち優秀な大学で選抜されてきた人たちが、将来工作員になるために私のところに通いながら日本語を学んだ。で、しばらく学ぶといなくなって、また別の人間が来て学ぶ、そういう状況で教育係という言葉が出てきた。ところがそういう教育係は5~6年で中止になりました。それはなぜかということ、あの有名な大韓航空機爆破事件が起きたからです。その犯人が日本人拉致被害者から日本語教育を受けていたことが明らかになったのです。指示が下りて語学教育はなくなりました。そのかわり翻訳などをさせられた。その中で北朝鮮としては、私たちに対してはいかに存在を隠すことが中心の問題になったようです。工作員として利用しようとする可能性がなくなって行くわけです。

## 拉致公表は北朝鮮に都合のよいシナリオで

私はそんな中、結婚して子供が生まれ、子供がこの国で生きていけるようにと、それ一つだけを思いつつ暮らしていたわけですから、日本に帰れるなんてそのころは考えられない夢の夢と思っていた。しかし時代が大きく変わりました、いわゆる北朝鮮が大変化を起すその一番のキッカケは、1989~1990年にかけて東ヨーロッパの社会主義国家がどんどん倒れた。しまいにはソ連までが崩壊してしまいました。それは北朝鮮に非常に大きな打撃を与えまして、つまり一つは外交的なまた政治的なバックがいなくなった。経済的には非常に有利な条件で物資を援

## 蓮池薫氏特別講演

助していたのですが、原油だとか穀物それが数分の一まで一挙に減ってしまった。じゃあ中国はといいますと、鄧小平時代から解放改革の政治に入りその結果、そんな貧しい北朝鮮よりも韓国の方がパートナーとして非常に有利ということで韓国に接近していきまして、北に対して非常に冷たくなってきました。つまり中国もソ連も信じられない、北朝鮮にとっては頼りにならない状況になった。そんな中で北朝鮮の金日成主席は何を考えたかという、アメリカとの関係改善、韓国との関係改善、もう一つは日本との関係改善、これを90年代アタマから進めたわけです。その結果日本に対しても秋波を送ってきまして、それまでの日本社会党との関係を自民党との関係にも進めよとなった。富士山丸事件という船長さんが拿捕された事件を契機に日本から金丸副総裁を中心とする訪朝団、田辺社会党委員長と共に行って金日成主席と話し合いを始めた。北の人もびっくりするような発表があったわけです。何かというと国交正常化すると。北も皆びっくりした。日本と国交正常化して日本から損害賠償を得るという話合いが始まった。日本との関係が一気に近づいたわけです。ところがそれは1~2年して挫折してしまいます。それは日本側が、大韓航空機事件の金賢姫さんに教えた日本人女性を出せと、明らかにしろと北朝鮮に提案したら、北朝鮮はそんなでっち上げ何を言っているのだと反発して話し合いが決裂してしまいました。という経緯が92年にあったそうです。それ以来日本との関係も悪くなり、アメリカとの関係も核問題でよくなったり悪くなったりパツとしない中で94年金日成が死にます。経済が更に悪くなって大飢饉が来ます。北朝鮮はニッチモサッチモいかない状況、90年代後半とは北朝鮮は本当に大変な時期でした。私はひもじい思いはしていませんが、子供らは偉くひもじい思いをしました。その中でじい一つと隠れていた金正日総書記が相当新しい時代を変えなければならぬと決断したのが2002年でした。やっぱり日本とやらなければ、日本とやってこそ1兆円ともなるお金を日本から取れると。基本的にはそこです。そういう決断をした結果、日本との交渉をもう一度やるぞという話になったのです。

2002年3月、我々の招待所に幹部がやって来ました。何か偉い人が君たちをつまみ私と家内を世界に公表、公開しようと思うと言ってきた。日本のマスコミと政府の代表団を呼んで、その前で我々はここで幸せに暮らしていますと、蓮池薫はここにいますと公表する場に出すのだと。ただしそのときに拉致されてきたということは困る、救われてきたことにしようと。つまり、海岸線で我々がモーターボートを1台見つけて、軽い気持ちで私が家内と一緒に乗って沖合に出たところ、エンストを起こした。漂流している中、真夏ですから脱水症状状態になり死にかけてたところ、日本で任務を終えて帰っていく北朝鮮の工作船に我々が発見され救われて北朝鮮に戻ったと。北朝鮮に来て我々は意識を失っていた中で手厚い看護を受けて生き返った。こんな暖かい人たちがいる国でしばらく暮らしてみたい。そういう話になって、その内1~2年で子供もできて平壤に引っ越して生きている、みたいな到底考えられない、日本人に言っても誰も信じてくれないような話になったわけです。これは正直言って日本の人は信じませんよと言ったら、信じなくてもよい、貫き通せばいいのだと、黒いものも白い白いと言えれば最後にはグレーになるというのが向こうの考え方、そういうことを言われてやらなければ、聞かなければ殺されるか何をされるかわからない。家族に会えるのもあってそれでいたわけです。しばらくすると、では次は日本から来て話した後には日本の家族が来るから、招待所にいるわけにはい

## 蓮池薫氏特別講演

かないということで、平壤のど真ん中の普通の人に住んでいるマンションに引っ越してそこで3か月くらい暮らした後に、日本から9月17日に小泉さんが来たわけです。いよいよ時が来たかと思いました。あの大嘘を吐かなければならないのかと思うと気が重かった。次の日、日本の外務省の人とホテルで会って、本人確認ということで私と家内がいろいろ聞かれました。小学校の同級生の名前を書け、実家の絵をかけ、それを言われて書いてそれが家族に伝わって間違いないと。こんど日本から調査団が来る本格的な段階になった。それが9月29日でちょうど私の誕生日でした。ところが、その直前でした。我々は拉致されたのではなく、救われたというシナリオを頭に叩き込んでいたんですが、突然幹部がやってきて救われた話はするな、拉致を認めていいぞということになった。え、何でだろうと思ったら、トップは拉致を認めたわけです。金正日総書記は小泉さんに会ったときに、私が知らないうちに下の人間が拉致をしたようだと言われ、拉致を認めたのだ。上が拉致を認めていて、下の人間が日本の代表団に対して拉致していません、救われてきましたでは辻褄が合わないわけですから、それで急遽やってきて拉致を認めていいという話になった。それで私は代表団にそういう話をした。次に北朝鮮の目論見としては日本から家族を呼んで、幸せそうなところを見せて、何とか納得させて帰らせ終わりにしたかった。ところが日本の家族会は私の兄もいますが、北朝鮮は拉致を認めたのに拉致した国に何で70才にもなる親がわざわざ会いにいかなければならないのか、拉致した人間を一旦返すのが道理だろという意見の方が説得力を持ちました。救われて行ったと言ったらそこまで行けなかったかもしれない。

### 子供たちの帰国をめぐる兄と大喧嘩

北朝鮮が拉致を認めたが故、我々は一旦帰国という形で日本に帰って来られたのだと思います。日本に行けと、ただ子供はダメだぞと言われました。日本に行けと言われて、嬉しさ半分、子供は置いとけと言われて不安半分、もう何とも落ち着かない状況の中で日本に来ました。当然家族は北朝鮮などには帰るなというに決まっています。でも北朝鮮には子供がいる状況で来ました。東京赤坂プリンスホテルで2日目の夜は家族会議になりました。本来、24年ぶりの家族会議ですから和気あいあいの雰囲気になるべきなのですが、最初から喧嘩です。うちの兄は何んだこれ、子供が居るのにどうすんだ、絶対子供を取り戻すから。誰がそれを信じろと言うのか、何を根拠に信じられるのだ、そんなこと、ガーガー言って大喧嘩になったわけです。兄弟げんかです。すると隣で聞いていたお袋がもうぶっ切れて、24年ぶりにお前ら兄弟げんかするのかって言いました。まあそういう中で、殺伐とした雰囲気の中で東京の2日間が過ぎて田舎に帰って、田舎でしばらくすると心が落ち着いてきました。そして周りの人の声が少しずつ耳に入ってくるようになったし、一方で私の心の中で抑え込んでいたいろいろな北朝鮮に対する昔もっていた憤りが蘇ってくる感じの中で、帰りたくないという思いが強くなってきました。そして子供にとっても北朝鮮で拉致被害者の日本人の子供として育っていくことは、あらゆる夢、可能性というものが奪われたようなものなのですね。日本に帰ってくれば自分の夢という

## 蓮池薫氏特別講演

ものを追い求めることが出来るだろうというそういうことが明らかにわかっていたが、ただ日本に居残るといふ決断をすることは本当に北朝鮮が返してくれるだろうか。ここがポイントで、いくら頑張っても子供を返してくれないなら北へ帰るしかないわけですね。だけど、いろいろな話を聞いて私も考えた結果、北は返すだろうと時間がかかっても子供は返してもらえらうと確信がつかしました。

なぜかという、まず北朝鮮が我々を帰すときに拉致被害者として帰したわけですから、この人たちが将来自分の道を自分で決める。本人の意思に掛かっているという発言をしていた。しかし本音は違います。本音は子供を人質に絶対北朝鮮に帰らせようとしていたわけです。建前上はそう言っていたわけですから、これをうまく利用すれば向こうは言うことはない。もう二つ目は何か、北朝鮮は何の目的で今回拉致を認めこんなことをしたのかということと日本との国交正常化で、更には日本からのお金1兆円という賠償金を取りたい。我々の問題というのは、家族が我々を取り戻すというのは二次的な副次的な問題であって、こちらの問題で我々が支障になるようになれば、いつかは返すだろう。時間がかかってもというのは私が向こうにいるときからの雰囲気であって、感じておりました。だけどこれは賭けになります。子供を我々の家族の運命をおいて賭けをすることになって、私はいろいろ考えた末に残ると彼女に言いました。残るぞと言ったら、私の家内は半狂乱になりました。なに言っているのと、うちの家内があんなに怒った姿は初めて見ましたけども、やはり子供を思う思いと日本に残りたい気持ちはうちの家内も同じです。私より強い、もっと強いと思います。彼女の母親は病気で入院していました。そんな中でお母さんを置いて帰るといふのも大変なことなのですが、それでも子供のことを大事に考えて、私の言ったことに対して猛烈に反発をしました。必死で説得しました。本当に全力を挙げて説得した結果、家内は最後にはうんと言ってくれました。それから1年半、彼女も苦しかったと思います。本当に苦しい思いで待ってくれました。私が待てと言ったくせに、私の方が、気が弱くなってしまって1年位したときにうちの母に親父の前で、いや子供が帰ってこなかったらどうしようと弱音を吐いたら、母に1年待っていた位でガタガタ言うんでねえ、私は24年待ったのだぞと言われてから、もう母の前で下手なことは言えないなと思いました。それで1年半してようやく子供が帰ってきました。子供が帰日が私たちの帰国の日といえるでしょう。子供が戻ってきて初めて笑顔が戻り、同時にこれから私は新しい人生、自分の夢を追うぞという気持ちになりました。そして私の父の願いでもあった中大復学ということになり、中大の皆さんの協力のお蔭で順調にその道に進むことが出来ました。

単に日本に帰ってくるだけでなく、帰ってきて自分の夢をもう一度追うことが出来るようにすることが、拉致問題のひとつの本質であると思う。その意味では今残されている人たちが若いうちに、本当に第二の人生を進めることが出来るうちに早く帰ってきてもらいたい。我々と違って今北朝鮮に残されている人たちは、我々が日本に帰ったことを間違いなく知っている。ほぼリアルタイムで知っている。ということは、我々は帰る寸前まで日本には帰れないものと開き直っていたわけだが、彼、彼女らはもう帰った人がいるのだ、そういう思いでは私たちも帰れるという期待と、一方で我々はなぜ帰れないという不安とのものすごいギャップがある中でずーっと待たされています。13年待たされています。

## 蓮池薫氏特別講演

こういうことを考えたときに、さあ今回進んでいる日朝交渉が、今回もダメでした。だめでした。また次に頑張らしましょう。ということではだめなのです。精神的にもたないと思いますし、ましてや日本に残された80才90才のご家族の皆様も精神的に耐えられない状況にあります。この前、横田ご夫妻にお会いしたとき気丈にお話しされていましたが、緊張した気持ちは伝わってきます。ですから、先程の山谷大臣のお話は力強く思いましたが、是非この機会に結果を出していただきたいと思います。

そのために鋭意国民の大きな支援と後押しをお願い申し上げます。短いですが、私のお話はこのくらいにさせていただきます。どうもありがとうございました。 (拍手)



土屋頼子相談役より花束贈呈 2015. 7. 25



---

# 帰国して知った母校の愛、そして芽生えた母校への愛

---

蓮池 薫



私が帰国して14年経過した。まだ拉致問題は全面解決に至っていない。被害者のみなさんには、一日も早く帰ってきてほしい。拉致被害者にとって帰国することの意味は、人生を取り戻すことくらいに大きい。帰国によって得たもの、取り戻したものは限りない。その一つが母校だろう。

北朝鮮で母校を思い出すことはよくあった。中学生のころ水も飲まされず、うさぎ跳びのやりすぎで吐き気を催していながらも練習を積んで、県大会で準優勝をした野球部での輝かしい思い出、自由な校風のなか、少し背伸びをして仲間とやんちゃをしでかした、ちょっぴり気恥ずかしい高校時代の思い出、自分の将来に悩みながらも、少しずつ大人の世界を知っていった、ほろ苦い大学生活の思い出、どれもが懐かしく切ないものであり、かといって妻以外には誰にも話せない思い出だった。

そのせいだろうか、2002年小泉総理の訪朝時に会った外務省の人たちに、本人である証拠として「小学校の頃と同級生の名前を書いてくれ」と言われたときは、多くの名前を列挙して驚かれたものだ。

だが、小中高と大学は、ちょっと違うようだ。規模の大きさからか、東京という地での一人暮らしからか、母校中大での思い出は、大学との直接的なかわりより、個人の生活や付き合いから浮かぶ追憶がほとんどだった。

しかし、帰国して、母校中大がそんな私を忘れていなかったことを知った。生死すらわからない状況にも関わらず、後輩たちは私の救出のために会を作って活動をし、大学側は私の帰国時の復学まで認めてくれていた。帰国後も、子ども持つ苦しい時期に、中大のOB、OGの人たちが、励ましに私を訪ねてきてくれ、そして今は文京白門会をはじめとする各地の白門会が、私に拉致問題解決を訴える場を提供してくれている。

60歳を間近にして、郷土愛とともに母校愛を意識することが多くなった気がする。個人としての人生に少し余裕が生じたからだけではない。おそらく、集団の中で生まれ育ち、集団と離れては暮らせない人間の本能に基づいたものなのだろう。今後この気持ちを大切に生きていきたい。

結成20年を迎える文京白門会の先輩後輩の皆さまに心からのお祝いを述べるとともに、さらなるご活躍、ご発展をお祈りいたします。  
(昭和51年入学)

# 文京区支部主催「講演会」の記録

中央大学学会東京文京区支部主催  
第1回講演会

演題

## 『今年のプロ野球うらおもて』

講師 野崎 靖博氏



昭和39年 中央大学法学部卒  
日刊スポーツ新聞社編集長  
「ニュースステーション」スポーツキャスター

入場無料!!

日時

平成9年10月6日(月)

開場 午後6:00

開演 午後6:30

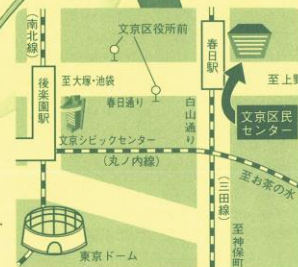
(終了予定 午後8:30)

会場

文京区民センター(3A)

文京区本郷4-15-14 ☎3814-6731

●定員250名(先着順)



※この講演会は一般の方どなたでもお聞きになれます。ご自由にご来場ください。

お問い合わせ

中央大学学会東京文京

☎ 3941-5214 (モトハシの本)

日刊スポーツ 野崎靖博氏

(文京区民センターにて)



## 定時総会における講演・講師一覧

日時 平成 16 年 5 月 19 日 (水)  
会場 文京区民センター  
講師 大久保治男氏 (会員/駒澤大名誉教授)  
講題 『文化人井伊直弼の彦根藩とイギリス  
法律学校 (中央大学) について』



日時 平成 18 年 5 月 24 日 (月)  
会場 文京区民センター  
講師 高橋雄介氏 (中大水泳部監督)  
講題 『中大水泳の強さ』



日時 平成 19 年 6 月 26 日 (火)  
会場 文京シビックセンター/スカイホール  
講師 講談師 田辺一鶴氏  
演題 『101匹の妖怪たち』



日時 平成 20 年 5 月 27 日 (火)  
会場 文京区民センター  
講師 碓井哲雄氏 (箱根駅伝6連覇メンバー)  
講題 『中央大学と箱根駅伝』



日時 平成 21 年 6 月 16 日 (火)  
会場 文京区民センター  
講師 中川浩治弁護士・大野雅樹弁護士  
大久保治男支部長  
講題 『裁判員裁判—現代の裁判について』



日時 平成 22 年 6 月 29 日 (火)  
会場 文京区民センター  
講師 高橋善正氏 (中大硬式野球部監督)  
講題 『中大野球部秋の優勝に向けて』



日時 平成 23 年 6 月 27 日 (月)  
会場 東京ドームホテル「シリウス」  
講師 大久保治男支部長 (駒澤大学名誉教授)  
講題 『彦根藩と中央大学』



日時 平成 24 年 7 月 3 日 (火)  
会場 東京ドームホテル「後樂園飯店」  
講師 松丸和夫氏 (中央大学常任理事)  
講題 『文京区と中央大学』



日時 平成 25 年 7 月 8 日 (月)  
会場 東京ドームホテル「シリウス」  
講師 矢野博丈氏 (株大創産業社長)  
講題 『オヤジギャグと100円人生』



日時 平成 26 年 6 月 30 日 (月)  
会場 東京ドームホテル「後樂園飯店」  
講師① 大久保治男氏 (駒澤大学名誉教授)  
講題 『江戸文化と言葉』  
講師② 桂やまと師匠『落語』



日時 平成 27 年 7 月 25 日 (土)  
会場 東京ドームホテル「後樂園飯店」  
講師 蓮池薫氏 (新潟産業大学准教授)  
講題 『拉致と決断—祖国日本での12年間』



# 写真で見る 20 年の活動

平成 8 年～12 年



中央大学学会東京文京区支部 設立総会 文京区民センター  
8.4.12



第 1 回釣り大会  
新木場沖  
9.10.25

第 1 回新年会  
文京区民センター  
9.2.5



# 写真で見る 20 年の活動

平成 8 年～12 年



東京箱根間往復大学駅伝競走 大手町スタート

1. 2



第三回ゴルフ大会 グレンオックスCC  
10. 11. 11



史跡散歩 東大構内にて  
11. 11. 6



遠藤区長を祝う新年会 機山館  
12. 1. 27

# 写真で見る 20 年の活動

平成 13 年～17 年



平成 13 年度総会 文京区民センター  
13.5.16



幹事会後のごきげんタイム 池之端 三四郎にて  
16.12.16

# 写真で見る 20 年の活動

平成 13 年～17 年



東都大学野球 25 年ぶりの優勝 神宮球場  
16 11 5



文京区史跡散歩  
16 12 4



平成 15 年度総会 文京区民センター  
15. 5. 21



# 写真で見る 20 年の活動

## 平成 18 年



都区内支部主催コンサート  
墨田トリフォルニーホール  
18.11.22



ホームカミングデー 留学生との集い！  
18.10.22



納涼屋形船 浅草橋野田屋  
18.9.5



総会後の談笑！  
18.5.24



平成 18 年度総会 文京区民センター  
18.5.24

# 写真で見る 20 年の活動

## 平成 19 年



定時学員総会 駿河台記念館  
19.5.12



中山学員会会長より永年表彰を受ける田中支部長  
19.5.12



文京区支部設立 10 周年を祝う観桜会 鳩山会館  
19.3.30



平成 19 年度総会 文京シビックセンター26 階  
19.6.26

# 写真で見る 20 年の活動

## 平成 20 年



小石川後樂園 ビルは中央大学後樂園キャンパス



小石川後樂園の花見会と  
柳家小団治師匠の高座  
20. 4. 1



総会後の懇親会



「中央大学と箱根駅伝」講師碓井氏を囲んで



平成 20 年度総会 文京区民センター  
20. 5. 27

# 写真で見る 20 年の活動

平成 21 年



箱根駅伝応援会 大手町  
21.1.3



松しん亭 小団治寄席 鳩山会館  
21.11.20



女流講談師 桃川鶴女師匠の高座



小石川後樂園  
21.4.1



平成 21 年度総会 文京区民センター  
21.6.16

# 写真で見る 20 年の活動

平成 22 年



平成 22 年度総会 文京区民センター  
22. 6. 29



白門文京ブルブル花見会  
22. 3. 29



環三通り 播磨坂の桜  
22. 3. 29



京都吉田山荘  
22. 11. 16



文京白門老子 井伊直弼と対談 彦根埋木舎  
22. 11. 15

# 写真で見る 20 年の活動

## 平成 23 年

東日本大震災からの復興祈願 白門の集い



「すしざんまい」木村清社長差し入れの 5649 万円 大間本マグロで舌つづみ  
24. 1. 14



文京桜めぐり 椿山荘にて  
23. 4. 2



復興応援ツアー 仙台青葉城  
23. 11. 13



平成 23 年度総会 東京ドームホテル  
23. 6. 27

# 写真で見る 20 年の活動

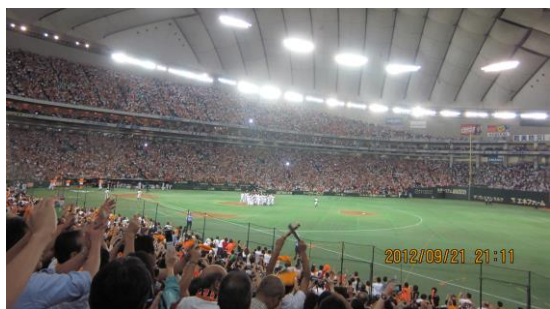
平成 24 年



平成 24 年度総会 中央に松丸常任理事 東京ドームホテル後樂園飯店  
24. 7. 3



中大陸上部  
ロンドン五輪選手壮行会  
飯塚翔太  
舘野哲也  
山本 亮  
渋谷エクセレント東急  
24. 7. 21



都区内支部連合 60 名大応援団 ジャイアンツ優勝に貢献 東京ドーム  
24. 9. 21

# 写真で見る 20 年の活動

平成 25 年



平成 25 年度総会 ダイソー矢野社長を囲んで 東京ドームホテル  
25. 7. 8



白門文京会員  
桂才紫 改め  
桂やまと襲名披露宴  
上野精養軒  
26. 3. 16



小諸城跡 懐古園の草笛教室  
25. 11. 10



信州 信濃そばの旅  
25. 11. 10



池袋折鶴の会 ママは大久保元会長の教え子  
25. 11. 22





# 写真で見る 20 年の活動

平成 26 年



平成 26 年度総会 東京ドームホテル後楽園飯店  
26. 6. 30



納涼屋形船の宴 浅草橋・野田屋  
26. 8. 21



大井競馬場 万馬券の会  
26. 6. 23



駒込 六義園の花見会  
27. 3. 29



白門老人のお伊勢まいり  
26. 11. 17

# 写真で見る 20 年の活動

平成 27 年



平成 27 年度総会 東京ドームホテル後樂園飯店  
27. 7. 25



東京ドーム  
巨人 阿部・亀井・沢村応援会  
27. 8. 18



箱根駅伝 一区の競り合い  
中大 町澤 3年  
28. 1. 2



北陸新幹線の旅 金沢兼六園にて  
27. 11. 8



ホームカミングデー 豪華商品をGET  
27. 10. 25

# 中央大学学員会東京文京区支部 20 年間の活動記録

日 時	行 事	記 録	備 考
平成 7 年 8. 25	支部設立発起人会準備会 発足	約 20 名出席	文京区民センター
11. 21	発起人会 発足 (会員募集準備)	約 40 名出席	文京区民センター
平成 8 年 3. 6	発起人会 (設立総会準備)	約 30 名出席	文京区民センター
4. 12	支部設立総会/総長・学員会長臨席	会員 104 名出席	文京区民センター
5. 8	第 1 回役員会./平成 8 年度の行事について	20 名出席	文京区民センター
6. 3	第 2 回役員会/支部発足記念パーティーについて	25 名出席	文京区民センター
6. 10	第 3 回役員会	20 名出席	文京区民センター
7. 25	支部発足記念パーティー	41 名出席	文京区民センター
8. 6	第 4 回役員会		文京区民センター
8. 20	第 5 回役員会		文京区民センター
8. 31	俳句会(葉月会)発足 月 1 回開催	6 名出席	文京区民センター
9. 6	第 1 回納涼屋形船	53 名参加	瑞江大橋・東京湾
9. 25	ゴルフ会打ち合わせ		文京区民センター
10. 13	中央大学ホームカミングデー	11 名参加	多摩キャンパス
10. 23	第 1 回支部長杯ゴルフコンペ	13 名参加	茨城 GC
11. 13	第 1 回異業種交流会	20 名参加	文京区民センター
12. 19	第 6 回役員会	6 名出席	文京区民センター
平成 9 年 1. 30	第 7 回役員会	7 名出席	文京区民センター
2. 5	支部新年会	40 名参加	文京シビックセンター
4. 18	第 2 回支部総会・懇親会	55 名出席	文京区民センター
4. 23	俳句会(葉月会)	8 名参加	文京区民センター
6. 4	第 1 回役員会		文京区民センター
7. 30	第 2 回役員会		文京区民センター
8. 27	第 3 回役員会		文京区民センター
9. 4	第 2 回納涼屋形船	36 名参加	瑞江大橋・東京湾
9. 10	第 2 回異業種交流会	9 名参加	文京区民センター
9. 29	第 4 回役員会		文京区民センター
10. 6	講演会 (講師/日刊スポーツ・野崎靖博氏)	50 名参加	文京区民センター
10. 19	中央大学ホームカミングデー	6 名参加	多摩キャンパス
10. 25	釣りの会	9 名参加	東京湾
11. 12	第 2 回ゴルフコンペ	8 名参加	高根 CC
11. 22	史跡散歩と食べ歩き	13 名参加	湯島聖堂・他
12. 10	第 5 回役員会		文京区民センター
12. 10	第 3 回異業種交流会	16 名参加	文京区民センター
平成 10 年 2. 5	支部新年会	36 名参加	文京シビックセンター
3. 3	第 6 回役員会	12 名出席	文京区民センター

日 時	行 事 記 録	備 考
平成 10 年 3. 16	第 7 回役員会	12 名出席 文京区民センター
4. 10	第 1 回役員会	文京区民センター
4. 17	第 3 回支部総会・懇親会	44 名出席 文京区民センター
4. 22	俳句会(葉月会)	9 名参加 文京区民センター
4. 28	第 2 回役員会	文京区民センター
5. 27	第 4 回異業種交流会	14 名参加 文京区民センター
7. 4	都区内支部連絡会	5 名出席 蒲田ステーションホール
7. 17	第 3 回役員会	文京区民センター
7. 18	観劇会 「三婆」	5 名参加 芸術座
9. 3	第 3 回納涼屋形船	31 名参加 瑞江大橋・東京湾
10. 4	中央大学ホームカミングデー	7 名参加 多摩キャンパス
11. 11	第 3 回ゴルフコンペ	12 名参加 グレンオックス C C
11. 14	第 2 回史跡散歩と食べ歩き	14 名参加 一葉・啄木旧居他
11. 18	第 4 回役員会	14 名出席 文京区民センター
11. 18	第 5 回異業種交流会・忘年会	18 名参加 文京区民センター
平成 11 年 2. 1	第 5 回役員会	11 名出席 文京区民センター
2. 10	支部新年会	48 名出席 文京シビックセンター
3. 30	第 6 回役員会	16 名出席 文京区民センター
4 月～	毎月 1 回俳句の会	会員 10 数名参加 文京区民センター
5. 12	第 4 回支部総会・懇親会	47 名出席 文京区民センター
6. 2	第 1 回役員会	15 名出席 文京区民センター
7. 24	『ロシアバレエ』鑑賞会	9 名参加 東京文化会館
9. 8	第 4 回納涼屋形船	44 名参加 瑞江大橋・東京湾
9. 11	第 4 回東京都区内支部連絡会	5 名出席 江戸川総合区民センター
9. 21	第 6 回異業種交流会	16 名参加 文京区民センター
10. 14	第 2 回役員会	9 名出席 文京区民センター
10. 24	中央大学ホームカミングデー	9 名参加 多摩キャンパス
11. 1	第 3 回役員会	12 名出席 文京区民センター
11. 6	第 3 回史跡散歩と食べ歩き	11 名参加 東大赤門・徳川家等
11. 11	第 4 回支部長杯ゴルフコンペ	13 名参加 四街道ゴルフ倶楽部
12. 2	第 4 回役員会・忘年会	12 名出席 文京区民センター
平成 12 年 1. 27	支部新年会	44 名参加 水道橋グランドH
3. 6	第 5 回役員会	15 名出席 文京区民センター
4 月～	毎月 1 回俳句の会	会員参加 文京区民センター
5. 10	第 5 回支部総会・懇親会	40 名出席 文京区民センター
6. 14	第 1 回役員会	15 名出席 松しん 2 階
7. 22	『アルゼンチンタンゴ』鑑賞会	10 名参加 東京厚生年金会館
8. 29	第 5 回納涼屋形船	28 名参加 瑞江大橋・東京湾
9. 27	第 2 回役員会	14 名出席 文京区民センター

日 時	行 事 記 録	備 考
平成 12 年 10. 15	留学生との集い 主催年次支部 36 会	6 名参加 京王プラザホテル
10. 26	第 3 回役員会	12 名出席 松しん 2 階
11. 8	第 5 回支部長杯ゴルフコンペ	14 名参加 佐原スプリングス C
11. 20	第 5 回東京都区内支部連絡会	5 名出席 銀座・高松
11. 23	『中央大学管弦楽団第 44 回定期演奏会』鑑賞会	30 名参加 文京シビックホール
11. 23	第 4 回史跡散歩と食べ歩き	17 名参加 根津神社ほか
12. 21	第 4 回役員会・忘年会	15 名出席 文京区民センター
平成 13 年 2. 6	支部新年会	34 名参加 フォーレスト本郷
3. 9	第 5 回役員会	8 名出席 文京区民センター
4. 3	第 1 回役員会	10 名出席 文京区民センター
4. 16	第 2 回役員会	16 名出席 文京区民センター
4. 23	第 3 回役員会	8 名出席 松しん 2 階
4 月～	毎月 1 回俳句会	会員参加 文京区民センター
5. 8	第 4 回役員会	8 名出席 文京区民センター
5. 16	第 6 回支部総会・懇親会	49 名出席 文京区民センター
6. 13	第 5 回役員会	12 名出席 文京区民センター
6. 19	第 6 回役員会	8 名出席 松しん 2 階
6. 25	第 7 回役員会	6 名出席 松しん 2 階
7. 9	第 8 回役員会	8 名出席 文京区民センター
8. 4	ミュージカル『風と共に去りぬ』鑑賞会	10 名参加 帝国劇場
8. 21	第 9 回役員会	9 名参加 文京区民センター
8. 28	第 6 回納涼屋形船	38 名参加 浅草橋・東京湾
10. 3	第 10 回役員会	10 名出席 文京区民センター
10. 27	第 6 回東京都区内支部連絡会	3 名出席 板橋区文化会館
11. 14	第 6 回支部長杯ゴルフコンペ	10 名参加 ザ・プリビレッジ G
11. 17	第 5 回史跡散歩と食べ歩き	13 名参加 駒込大観音ほか
12. 18	第 11 回役員会・忘年会	10 名参加 文京区民センター
平成 14 年 2. 5	支部新年会	43 名参加 ホテル幾山館
3. 14	第 12 回役員会	13 名出席 文京区民センター
4. 20	会報第 4 号発行とともに 1500 名に会員募集案内書を発送	松しん 2 階
5. 15	第 7 回支部総会・懇親会	45 名出席 文京区民センター
5 月～	毎月 1 回俳句の会	会員参加 文京区民センター
6. 23	中央大学に学ぶ留学生との集い	4 名出席 国立劇場
8. 25	母校創立 125 周年記念募金依頼書を会員に発送	250 通 松しん 2 階
9. 5	納涼屋形船でカラオケ&講談 女流講談田辺鶴女師匠	40 名参加 江戸川 あみ忠
10. 20	一泊温泉旅行	15 名参加 箱根ごうら荘
10. 20	ゴルフ会 夜はごうら荘へ合流	18 名参加 //
10. 29	第 13 回中央大学ホームカミングデー	10 名参加 多摩キャンパス
11. 9	史跡めぐりとグルメの会 教育委員会唐沢先生の解説	駒込地区、千石会館

日 時	行 事 記 録	備 考
平成 14 年 11. 16	東京都区内支部連絡会総会	6 名出席 四谷・スクワールH
12. 3	支部幹事会県忘年会	20 名参加 池之端・龍虎殿
平成 15 年 1. 2～3	箱根駅伝 各自応援	会員参加 大手町他
2. 12	支部新年会 ゲストに江戸大神楽家元一座	30 名参加 東京弥生会館
4 月～	毎月 1 回俳句の会	会員参加 文京区民センター
5. 14	第 1 回役員会	16 名出席 文京区民センター
5. 21	第 8 回支部総会・懇親会	28 名出席 文京区民センター
6. 17	第 2 回役員会	9 名出席 松しん 2 階
7. 3	第 3 回役員会	12 名出席 文京区民センター
7. 14	東京都区内支部連絡会当番支部引継ぎ	8 名出席 駿河台記念館
7. 23	東京都区内支部連絡会幹事会	33 名出席 理工学部校舎 14 階
8. 28	第 4 回役員会	8 名出席 文京区民センター
9. 4	第 8 回納涼屋形船	17 名参加 浅草橋・お台場東京
9. 26	中央大学ホームカミングデー	5 名参加 多摩キャンパス
10. 25	東京都区内支部連絡会総会・懇親会	51 名出席 文京シビックセンター
11. 9	観劇会『宮本武蔵』	10 名参加 新橋演舞場
11. 25	第 5 回役員会	6 名出席 文京シビックセンター
11. 29	第 7 回文京史跡散歩と食べ歩き	16 名参加 堂坂遺跡ほか
12. 18	第 6 回役員会・忘年会	12 名出席 龍虎殿
平成 16 年 2. 5	第 7 回役員会	8 名出席 文京区民センター
2. 25	支部新年会	31 名参加 理工学部校舎 14 階
3. 30	第 8 回役員会	10 名出席 文京区民センター
4. 19	第 1 回役員会	10 名出席 文京シビックセンター
5. 8	女性白門会 35 周年記念シンポジウム	4 名参加 理工学部校舎
5. 10	第 2 回役員会 総会の準備	10 名出席 松しん 2 階
5. 19	第 9 回支部総会・懇親会 大久保氏講演	35 名出席 文京区民センター
6. 20	中央大学に学ぶ留学生との集い	1 名参加 京王プラザホテル
6. 29	第 3 回役員会 平成 17 年度行事について	10 名出席 文京区民センター
7. 3	観劇会『請一静かな叫び』	10 名参加 新国立劇場
7. 16	第 8 回松しん亭小団治寄席に参加	5 名参加 松しん 2 階
8. 23	第 4 回役員会	8 名出席 松しん 2 階
8. 30	第 9 回納涼屋形船 台風により中止	(江戸川 あみ忠)
9. 4	年次支部 42 年白門会の納涼屋形船に参加	隅田川・お台場
10. 24	中央大学ホームカミングデー	5 名参加 多摩キャンパス
11. 6	東京都区内支部連絡会・懇親会	5 名参加 渋谷セルリアンタワー
11. 22	第 5 回役員会	6 名出席 文京シビックセンター
12. 4	第 8 回文京区史跡散歩と食べ歩き	12 名参加 伊勢屋・赤心館ほか
12. 16	第 6 回役員会	12 名出席 湯島・三四郎
平成 17 年 2. 8	支部新年会・新春落語会 三遊亭小金馬師匠	28 名参加 ホテル機山館

日 時	行 事 記 録	備 考
平成 17 年 2. 18	第 9 回松しん亭小団治寄席に参加	6 名参加 松しん 2 階
3. 29	第 7 回役員会	10 名出席 レストラン文京
4. 14	第 1 回役員会	10 名出席 レストラン文京
4 月～	毎月 1 回俳句の会	会員参加 文京区民センター等
5. 12	第 2 回役員会	9 名参加 レストラン文京
5. 19	第 10 回支部総会・懇親会	24 名出席 文京区民センター
6. 14	第 3 回役員会	8 名参加 レストラン文京
8. 2	観劇会 ミュージカル『長崎しぐれ版』ほか	14 名参加 東京宝塚劇場
10. 23	中央大学ホームカミングデー・留学生との集い	5 名出席 多摩キャンパス
11. 19	東京都区内支部連絡会総会・懇親会	4 名出席 北トピア
12. 5	第 6 回役員会・忘年会	14 名出席 上野市場
平成 18 年 2. 8	支部新年会	26 名参加 弥生会館
3. 28	第 7 回役員会	12 名出席 レストラン文京
4. 18	役員選考委員会	6 名出席 レストラン文京
4 月～	毎月 1 回俳句の会	会員参加 文京区民センター
5. 24	第 11 回支部総会・懇親会 高橋雄介水泳部監督講演	28 名出席 文京区民センター
8. 8	観劇会『8 月納涼歌舞伎、吉原狐他』	10 名参加 歌舞伎座
9. 5	第 11 回納涼屋形船 42 年白門会と合同開催	28 名参加 浅草橋・お台場
9. 26	第 3 回役員会	15 名出席 レストラン文京
10. 22	中央大学ホームカミングデー・留学生との集い	10 名参加 多摩キャンパス
11. 22	都区内支部連絡会ジャズコンサート	20 名出席 すみだトリフォニー
12. 11	第 4 回役員会・忘年会	10 名出席 そば処・多なか
平成 19 年 2. 6	第 5 回役員会	16 名出席 レストラン文京
2. 27	第 6 回役員会	18 名出席 レストラン文京
3. 15	第 7 回役員会	14 名出席 レストラン文京
3. 30	観桜会 都区内各支部からも多数参加	30 名参加 鳩山会館
5. 15	第 1 回役員会	10 名出席 レストラン文京
6. 14	第 2 回役員会	15 名出席 レストラン文京
6. 26	第 12 回支部総会・懇親会 講談師田辺一鶴師匠講演	40 名出席 文京シビックセンター
7. 17	第 3 回役員会	10 名出席 レストラン文京
8. 1	観劇会『錦緑』鹿賀武史, 余貴美子他	10 名参加 天王洲・銀河劇場
8. 27	第 12 回納涼屋形船	15 名参加 浅草橋・お台場
9. 22	中央大学に学ぶ留学生との集い	4 名参加 上野精養軒
9. 27	第 4 回役員会	8 名出席 レストラン文京
10. 3	第 5 回役員会	6 名出席 レストラン文京
10. 28	中央大学ホームカミングデー 役員パンフ配布	8 名参加 多摩キャンパス
12. 2	第 6 回役員会・忘年会	10 名出 そば処多なか
平成 20 年 1. 2～3	箱根駅伝 各自応援	会員参加 大手町他
2. 19	第 7 回役員会	10 名出席 レストラン文京

日 時	行 事 記 録	備 考
平成 20 年 3. 26	第 8 回役員会 10 名出席	レストラン文京
4. 1	桜を見る会・落語会 ゲスト・柳家小団治師匠 28 名参加	後楽園・涵徳亭
4. 22	第 1 回役員会 7 名出席	文京シビックセンター
5. 20	第 2 回役員会 7 名出席	文京シビックセンター
5. 27	第 13 回支部総会・懇親会 駅伝／碓井哲雄氏講演 45 名出席	文京区民センター
6. 1	中央大学に学ぶ留学生との集い 4 名参加	上野精養軒
7. 1	第 3 回役員会 10 名出席	文京シビックセンター
8. 11	第 4 回役員会 5 名出席	文京シビックセンター
9. 8	高村外務・二階経産・保岡法務 3 大臣を祝う会に有志出席	赤坂プリンスホテル
9. 9	第 5 回役員会 11 名出席	文京シビックセンター
9. 18	大井競馬場空中納涼会 23 名出席	大井・特別貴賓室
10. 26	中央大学ホームカミングデー 支部から景品提供 7 名参加	多摩キャンパス
11. 13	東京都区内支部連絡会総会 4 名参加	駿河台記念館
12. 3	第 6 回役員会・忘年会 12 名出席	文京シビックセンター
平成 21 年 1. 2～3	箱根駅伝 各自応援 会員参加	大手町他
2. 16	第 7 回役員会 8 名出席	文京シビックセンター
3. 17	第 8 回役員会 6 名出席	文京シビックセンター
4. 1	夜桜と女流講談の夕べ 桃川鶴女師匠 30 名参加	小石川後楽園
5. 8	第 1 回役員会 12 名出席	文京シビックセンター
6. 16	第 14 回支部総会・懇親会 中川・大久保・大野三氏講演 30 名出席	文京区民センター
7. 21	第 2 回役員会・暑気払い会 15 名出席	文京シビックセンター
8. 24	大井競馬場空中納涼会 16 名参加	大井・特別貴賓室
8. 29	東京都区内支部連絡会総会 1 名出席	シーサイド江戸川
10. 25	第 20 回中央大学ホームカミングデー 5 名参加	多摩キャンパス
11. 20	松しん亭小団治寄席（最終回） 45 名参加	鳩山会館
12. 14	役員会・忘年会 18 名参加	向ヶ丘 魚邦
平成 22 年 3. 29	播磨坂夜桜の集い ゲスト・三遊亭小金馬師匠 26 名参加	茗荷谷駅
5. 6	第 1 回役員会 10 名出席	文京シビックセンター
6. 14	第 2 回役員会 11 名出席	文京シビックセンター
6. 29	第 15 回支部総会・懇親会 高橋善正野球部監督講演 35 名出席	文京区民センター
7. 26	第 3 回役員会・納涼会 9 名出席	茗溪会館
8. 20	東京ドーム巨人戦ナイター観戦兼納涼会 20 名参加	東京ドーム
9. 4	全東京支部連合会総会 3 名出席	中野サンプラザ
10. 4	第 4 回役員会 8 名出席	文京シビックセンター
11. 13	中央大学 125 周年記念式典 10 名出席	多摩キャンパス
11. 15～16	彦根・京都の旅 8 名参加	京都・吉田山荘宿泊
12. 6	第 5 回役員会・忘年会 17 名出席	後楽園飯店
平成 23 年 1. 2～3	箱 根 駅 伝 各 自 応 援	大手町他
2. 7	第 6 回役員会・新年会 11 名出席	文京シビックセンター



日 時	行 事 記 録	備 考
平成 23 年 4. 2	白門文京桜を見る会 26 名参加	椿山荘庭園
4. 25	東京都区内支部連絡会 2 名出席	駿河台記念館
5. 1	第 1 回役員会 16 名出席	駿河台記念館
6. 27	第 16 回支部総会・懇親会 大久保治男会長講演 40 名出席	東京ドームホテル
8. 3	第 2 回役員会 12 名出席	駿河台記念館
8. 19	東京ドームビールナイター 巨×ヤ戦 30 名参加	東京ドーム
10. 1	東京都区内支部連絡会総会 2 名出席	中野サンプラザ
10. 4	第 3 回役員会 10 名出席	駿河台記念館
11. 13～14	秋の旅行会 仙台・松島方面 11 名参加	秋保温泉「佐勘」
12. 5	支部忘年会 26 名参加	後樂園飯店
12. 23	中大音研混声合唱団 60 周年公演 12 名参加	文京シビックセンター
平成 24 年 1. 2～3	箱根駅伝 各自応援	大手町他
2. 7	第 4 回役員会 12 名出席	文京シビックセンター
4. 2	桜を見る会 22 名参加	小石川・涵徳亭
5. 22	第 1 回役員会 14 名出席	駿河台記念館
6. 21	第 2 回役員会 12 名出席	駿河台記念館
7. 3	第 17 回支部総会・懇親会 松丸中大常任理事講演 35 名出席	東京ドームシティ
7. 25	東京ドームビールナイター 巨×横戦 30 名参加	東京ドーム
8. 28	第 3 回役員会 14 名出席	駿河台記念館
9. 21	都区内支部東京ドーム野球応援 巨×ヤ戦 58 名参加	東京ドーム
10. 13	東京都区内支部連絡会総会 4 名参加	京王プラザホテル
10. 18	第 4 回役員会 12 名出席	駿河台記念館
10. 28	中央大学ホームカミングデー 10 名参加	多摩キャンパス
12. 4	支部忘年会 28 名参加	後樂園飯店
平成 25 年 1. 2～3	箱根駅伝 各自応援	会員参加 大手町他
2. 4	第 5 回役員会・新年会 16 名出席	駿河台記念館
3. 26	第 6 回役員会 11 名出席	〃
4. 7	椿山荘さくら会 30 名参加	椿山荘
5. 8	第 1 回役員会 15 名出席	駿河台記念館
6. 24	第 2 回役員会 13 名出席	〃
7. 8	第 18 回支部総会・懇親会 矢野博丈大創社長講演 45 名出席	東京ドームホテル
7. 25	東京ドームビールナイター 巨×広戦 30 名参加	東京ドーム
8. 26	大井競馬場納涼ナイター 20 名参加	大井競馬場特別貴賓
9. 3	第 3 回役員会 15 名出席	駿河台記念館
10. 6	東京都区内支部連絡会総会 3 名出席	目黒雅叙園
10. 27	中央大学ホームカミングデー予定日（台風のため中止）	
11. 10～11	秋の旅行会 小諸懐古園・高峰高原・松本城他 8 名出席	次回は伊勢神宮
12. 6	支部忘年会 26 名参加	東京ドームホテル
平成 26 年 1. 3	箱根駅伝打ち上げ会 5 名参加	後樂園飯店

日 時	行 事 記 録	備 考
平成 26 年 2. 4	第 4 回役員会 16 名出席	駿河台記念館
3. 16	桂やまと三代目襲名・真打披露宴 10 名参加	上野精養軒
3. 30	上野公園桜会 上野市場宴会後桂やまと師匠の落語鑑賞 24 名参加	鈴木演芸場
4. 21	第 1 回役員会 18 名出席	駿河台記念館
5. 8	役員選考委員会 8 名出席	駿河台記念館
5. 20	第 2 回役員会 12 名出席	駿河台記念館
6. 23	大井競馬場納涼会 28 名参加	大井競馬場特別貴賓
6. 30	第 19 回支部総会・懇親会 大久保氏講演、桂やまと師匠落語 48 名出席	後樂園飯店
7. 14	東京ドーム納涼野球応援会 30 名参加	東京ドーム
7. 23	第 3 回役員会 12 名出席	駿河台記念館
8. 21	納涼屋形船 20 名参加	浅草橋・お台場
9. 12	第 4 回役員会 14 名出席	駿河台記念館
10. 18	東京都区内支部連絡会総会 3 名出席	京王プラザホテル
10. 26	中央大学ホームカミングデー 10 名参加	多摩キャンパス
11. 16～17	秋の旅行会 お伊勢参り・鳥羽の旅 6 名参加	次回は北陸
12. 9	大久保・戸井田会員の叙勲祝いと支部忘年会 30 名参加	東京ドームホテル
平成 27 年 1. 2～3	箱根駅伝応援 各自応援 会員参加	大手町他
3. 29	大名庭園六義園さくら会 28 名参加	六義園
4. 21	第 1 回役員会 年間行事の大筋決定 12 名出席	記念館・プリオール
4. 15	学会会全国支部長会議	駿河台記念館
5. 16	学会会協議員総会 会報コンテスト 3 位入賞 10 名参加	駿河台記念館
5. 23	学校法人中央大学評議員会 野口・松沼出席	駿河台記念館
6. 16	第 2 回役員会 10 名出席	駿河台記念館
6. 16	都区内支部連絡会幹事会（足立区支部担当） 3 名出席	駿河台記念館
7. 25	第 20 回支部総会・懇親会 蓮池薫氏特別講演 70 名参加	後樂園飯店
8. 5	第 3 回役員会 12 名出席	ドーム球場・銀蔵
8. 18	東京ドーム応援野球会 巨人×阪神戦 24 名参加	東京ドーム
9. 1	会報第 13 号発行	
9. 10	納涼屋形船の会（42 年会と合同）台風で中止	（浅草橋・野田屋）
9. 26	学校法人中央大学評議員会	駿河台記念館
10. 10	都区内支部連絡会総会	駿河台記念館
10. 24	学校法人中央大学評議員会	多摩キャンパス
10. 25	第 24 回中央大学ホームカミングデー 10 名参加	多摩キャンパス
10. 27	第 4 回役員会 12 名出席	駿河台記念館
11. 8～9	北陸金沢旅行会 金沢・兼六園他 8 名参加	
12. 9	文京区支部忘年会 33 名参加	ドームホテルリラッサ
12. 20	地域支部に江戸歳時記暦と共に新年挨拶状 150 通を発送	
平成 28 年 1. 2～3	第 92 回箱根駅伝の応援	大手町他
2. 8	第 5 回（新春）役員会 14 名出席	駿河台記念館

日 時	行 事 記 録	備 考
平成 28 年 3. 27	小石川後樂園観桜会 21 名参加	涵徳亭で打上げ会
4. 14	学会会本部幹事会 相場・松沼出席	駿河台記念館
4. 26	20 周年記念誌準備会 野口・松沼他出席	豊島区内
5. 10	平成 28 年度第 1 回幹事会 12 名出席	駿河台・プリオール
5. 20	全国支部長会会議 野口支部長出席	駿河台記念館
5. 21	学会会協議員会総会 会員多数出席	駿河台記念館
5. 26	中央大学評議員会 野口・松沼出席	駿河台記念館
6. 3	緊急幹事会 7 名出席	駿河台・プリオール
6. 20	第 21 回支部総会案内書発送（来賓、会員、都区内支部他）	
7. 11	総会準備幹事会	駿河台・プリオール
7. 30	創立 20 周年記念総会・懇親会 講演・君原健二氏	東京ドームホテル

# 歴史・文化・伝統・自然

## 我が町文京の見どころ

松 沼 茂

その昔「本郷もかねやすまでは江戸の内」と川柳に詠まれた「かねやす」も「本郷」も平成の世に現存する。江戸は火事が多く、延焼を防ぐために幕府は、江戸城に近い町並みは瓦葺家屋と定めた。「かねやす」までがその範囲ということであって、その先は江戸の外という意味ではない。当とかねやすは、「はみがき粉」で評判をとったそうだが、現在も同じ場所に川柳のプレートとともに7階建のビルで現存する。今の文京区でも賑やかな春日通りと本郷通りの交差点、春日通りの2キロメートル先には、江戸時代は御三家である水戸徳川家の上屋敷があった。その敷地の一部が、現在「白門」の中央大学後楽園キャンパスとなっている。

また、本郷通りを少し北へ進むと、かつての加賀前田百万石の広大な上屋敷を「赤門」の東京大学が一人占めしている。白門の母校は中長期計画で、後楽園キャンパスへの法学部移転を目指しており、かつてのように「法科の中央」として赤門超えるのも近いと思われる。

かねやすのある交差点の反対側に、昭和 50 年頃まで髭のお巡りさんで有名な本富士警察署・本郷三丁目交番がある。交番から赤門方面への本郷通りは、なだらかに下ってまた上りとなるが、江戸時代は中山道へ旅立つ人々をここで見送ったことで「見送り坂」、又旅人は坂の上で振り向き「見返り坂」と呼ばれていたそう。坂の最も低い所から1キロメートルほど下っている道が菊坂。江戸の昔は近隣寺院への需要のため、菊の栽培が盛んだったと思われる。ここも明治になると、帝大（東京大学）の創設と共に多くの文人が住むことになった。5千円札に肖像画が描かれている樋口一葉も菊坂の住人としてよく知られており、女史の使用した井戸や質店を訪ねる文学ファンは後を絶たない。

このように全国に名を知られた地名の本郷界限だけでなく、文京区内には知名度抜群の名所旧跡が多い。文京白門の会員には馴染みの場所もあるが、区民でもすべてに足を運ぶのが難しいほどの数なので、それらを順不同ながら、「文の京観光ガイド」や施設発行のパンフレットでできるだけまとめてみたい。

江戸をしのんでひとやすみ  
かねやす

享保年間(1716~1736)に、乳香散という歯磨き粉を売り出し有名になった老舗で、現在も洋品店として営業中。耐火のため、町奉行の大岡越前守が「かねやす」の地を境に南側は土蔵造りの塗屋にすることを命じたため、「本郷もかねやすまでは江戸の内」と謳われました。

■本郷2-40-11 ■TEL03-3811-0407



樋口一葉ゆかりの  
旧伊勢屋質店

樋口一葉(1872~1896)が菊坂下道の家に住んでいた頃から、生活が苦しくなるたびに通った質屋。その後、下谷区竜泉寺町、本郷区丸山福山町に移ってから縁は切れませんでした。伊勢屋は1982年に廃業しましたが、土蔵は一葉存命時のまま遺されています。

■本郷5-9-4



様々な顔を持つエンタテインメントシティ  
東京ドームシティ

読売巨人軍の本拠地「東京ドーム」、お子様から大人まで楽しめる「東京ドームシティ アトラクションズ」、スパ・アトラクション・ショップ&レストランで構成される「ラクーア」、親子で楽しめる「アソボ〜!」等、様々な施設が集結。

■後楽1-3-61 ■TEL03-5800-9999



歴史と自然を堪能する  
東京大学赤門・心字池(三四郎池)

「赤門」は1827年、加賀藩13代藩主・前田斉泰が11代將軍家斉の娘・浴姫を正室を迎える際、当時の慣例にない建てられたもの。「三四郎池」は徳川13代將軍家光の訪問の際に造られた庭園内にある「心字池」のことで、夏目漱石の名作「三四郎」の舞台となりました。

■本郷7-3-1 ■TEL03-3812-2111



■旧藩屋敷跡

- ・小石川後楽園  
水戸徳川家上屋敷内庭園
- ・六義園  
柳沢吉保下屋敷内庭園
- ・松聲閣
- ・新江戸川公園  
熊本細川家下屋敷跡、  
回遊式泉水庭園
- ・永青文庫  
熊本細川家下屋敷跡



■後楽 1-6-6 ■TEL03-3811-3015



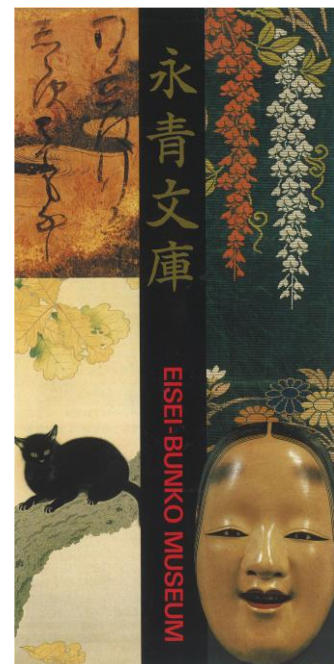
■本駒込 6-16-3 ■TEL03-3941-2222



■目白台 1-1-22 ■TEL03-3941-2010



■目白台 1-1-22 ■TEL03-3941-2010



■目白台 1-1-1 ■TEL03-3941-0805

日本最古の植物園  
小石川植物園

5代将軍綱吉の館林城主時代の別邸(白山御殿)の地。1684年に小石川御薬園となり、1722年園内に小石川養生所を創設。1877年には東京帝国大学の附属となり、植物の実地研究の場となりました。旧東京医学校本館(重要文化財)が移築・保存されています。

■白山3-7-1 ■TEL03-3814-0138



緑に囲まれたくつろぎのひととき  
ホテル椿山荘東京

江戸時代、上総久留里藩主・黒田豊前守の下屋敷で、明治に入り山縣有朋の邸宅となった地。椿が多くあったことから椿山荘と呼ばれ、大正年間には藤田家の所有となりました。庭の築造は19世紀末といわれています。

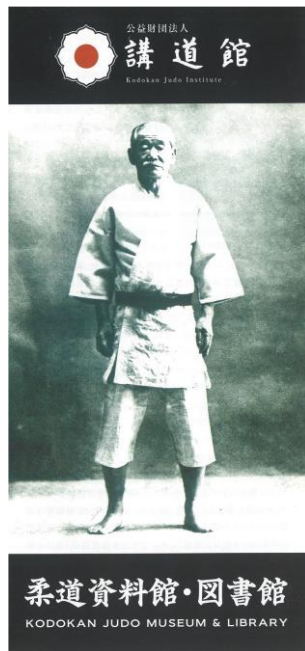
■関口2-10-8 ■TEL03-3943-1111



■ 建物、史跡等



■音羽 1-7-1 ■TEL03-5976-2800



■春日 1-16-30 ■TEL03-3818-4562



■小石川 5-11-8

**芭蕉ゆかりの地  
関口芭蕉庵**

江戸時代を代表する俳人・松尾芭蕉は、1677年からの3年間、神田上水の改修工事に携わり、この地の「水番屋」に住んだといわれています。後に芭蕉を慕う人々により「龍隠庵」という家が建てられました。現在のものは戦後に建築されました。

■関口2-11-3 ■TEL03-3941-1145



**奥深き孔子の教えを学ぶ  
史跡湯島聖堂**

上野忍岡にあった林羅山邸内の孔子廟が5代将軍・綱吉によって湯島へ移され、規模を拡大したものが湯島聖堂。1797年、その西隣に幕府直轄の昌平坂学問所が開設されました。現在の建物は震災後に鉄筋コンクリート造りにより再建したものです。

■湯島1-4-25 ■TEL03-3251-4606



**お七の情熱に手を合わせる  
八百屋お七の墓(円乗寺)**

1682年江戸の大火で家が焼け、その避難中に寺小姓佐兵衛と恋仲になったお七。やがて家が再建されて戻った後、お七は佐兵衛会いたさに放火をし、火あぶりの刑に処せられました。文学・歌舞伎・落語などの題材に取り上げられたことで有名になりました。

■白山1-34-6 ■TEL03-3812-7865



**西洋建築の粋  
日本女子大学成瀬記念講堂**

1906年、日本人の手による本格的な西洋建築として日本女子大学創設者の成瀬仁蔵を記念し建設。関東大震災の翌年、内部の造作を残して再建されました。堂の中央にある「成瀬仁蔵胸像」は高村光太郎作。

■目白台2-8-1 ■TEL03-3943-3131

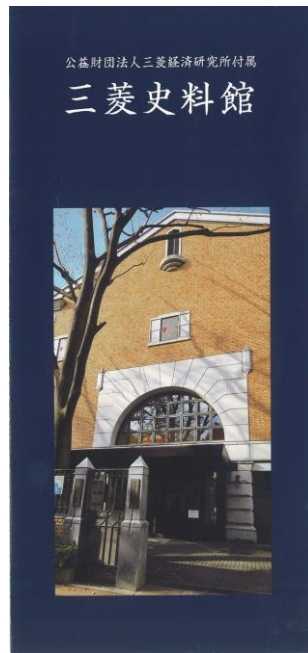


■資料館

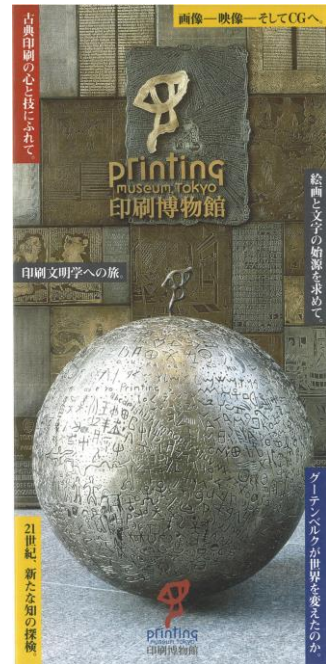


文京区

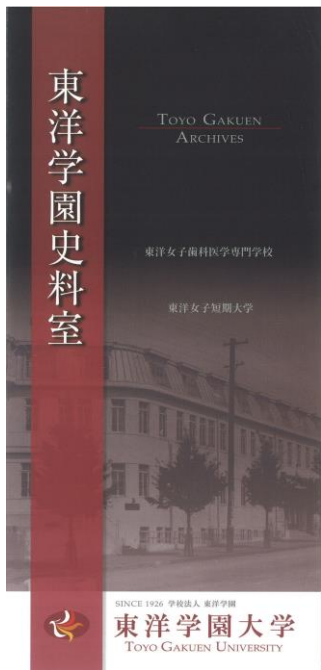
■本郷 4-9-29 ■TEL03-3818-7221



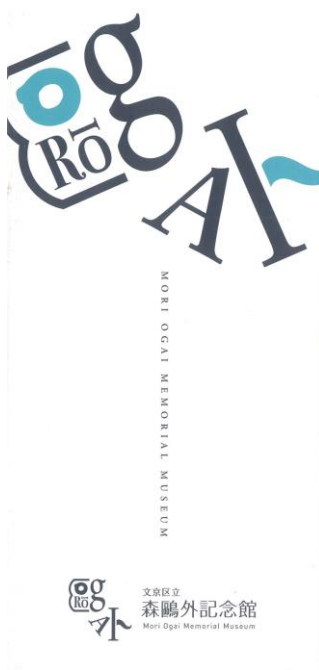
■湯島 4-10-14 ■TEL03-5802-8673



■水道 1-3-3 ■TEL03-5840-2300



■本郷 1-26-3 ■TEL03-3811-1783



■千駄木 1-23-4 ■TEL03-3824-5511



■本郷 2-2-2 ■TEL03-5802-1730

弥生にある美術館で芸術に触れる  
**弥生美術館・竹久夢二美術館**  
 大正～昭和にかけて活躍した挿絵画家・高島華宵などを所蔵する弥生美術館は1984年に設立され、その後、竹久夢二美術館が併設されました。いずれもこの地に住む弁護士鹿野球児氏によって設立されたものです。  
 弥生美術館 ■弥生2-4-3 ■TEL03-3812-0012  
 竹久夢二美術館 ■弥生2-4-2 ■TEL03-5689-0462

野間氏秘蔵の美術品  
**講談社野間記念館**  
 講談社初代社長、野間清治氏が収集した「野間コレクション」と称される美術品を中心に展示しています。また、講談社の出版事業にかかわる貴重な出版文化遺産も数多く展示。建物は旧社長宅を改装したもので、4つの展示室と休憩室があります。  
 ■開口2-11-30 ■TEL03-3945-0947

## ■神社

### 学問の神様に知恵を授かる 湯島天満宮(湯島天神)

学問の神様・菅原道真を祀るこの神社は別名・湯島天神とも呼ばれています。境内には銅製の鳥居(都指定文化財)や迷子探しの奇縁水人石(区指定文化財)があり、また梅の名所としても有名。1995年12月、後世に残る総繪造りで改築されました。

■湯島3-30-1 ■TEL03-3836-0753



## ■仏閣

### 国の重文や史跡を見学する 護国寺

1681年、5代将軍綱吉が、生母桂昌院の願いにより創建した祈願寺でしたが、後に将軍家の祈願寺となりました。元禄時代の建築工芸の粋を結集したといわれる本堂、1928年に近江より移築された桃山時代の書院造りの月光殿は、ともに国の重要文化財に指定されています。

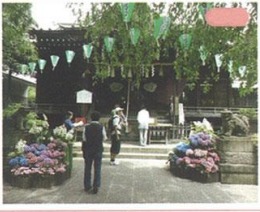
■大塚5-40-1 ■TEL03-3941-0764



### あじさいの名所 白山神社

天曆年間(947~957年)に加賀一宮白山神社から現在の本郷1丁目の地に勧請。後に巢鴨原(現在の小石川植物園内)に移り、その後1655年、綱吉が5代将軍職につく前、屋敷の造営のために現在地に移り、栄えました。梅雨の季節にはあじさいの名所としても有名です。

■白山5-31-26 ■TEL03-3811-6568



### 徳川ゆかりの女性たちを偲ぶ 傳通院(てんつういん)

正式名は、無量山傳通院寿経寺。1602年、徳川家康が生母・於大をこの地に葬り、その法名「傳通院殿」から傳通院とされました。境内には於大、千姫をはじめ、徳川家ゆかりの女性の墓が数多くあります。

■小石川3-14-6 ■TEL03-3814-3701



### お告げ跡の牛石を拝む 北野神社(牛天神)

源頼朝が東征の際、夢に道真が現れ2つの吉事を告げられ、その後お告げのとおり子ができ、平氏討伐を果たしたため、1184年頼朝はこの地に社殿を造営したといわれています。社殿の前には、夢で道真の立った跡にあったという牛の形をした石があります。

■春日1-5-2 ■TEL03-3812-1862



### 将軍家の名刹で祈願する 靈雲寺

1691年、5代将軍綱吉の命により将軍家の祈願寺として創建。伽藍が整い、学寮もあり土壌をめぐらした靈雲寺は、江戸時代の名刹として、その規模を誇っていました。関東大震災と第二次大戦で焼失し、1976年に再建。

■湯島2-21-6 ■TEL03-3811-1816



### 権現造りの華麗な社殿 根津神社

6代将軍綱吉(家宣)が生まれた地。根津神社はその産土神(守り神)となり、1706年に綱吉によって現在地に社殿が造営。権現造りの見事な姿を残す建築で、重要文化財に指定されています。春、境内には3,000株あまりのつつじが咲き誇ります。

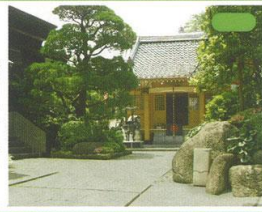
■根津1-28-9 ■TEL03-3822-0753



### えんま様に眼病治癒を祈願する 源覚寺(こんやくえんま)

宝暦(1751~64)の頃、目を患った老婆にえんま様が自分の右目を与えて目を治し、老婆は自分の好物の「こんやく」を断ってお礼に供えたといわれています。以来、眼病治癒祈願に訪れる人が絶えず、別名「こんやくえんま」と呼ばれ、広く信仰を集めています。

■小石川2-23-14 ■TEL03-3811-4482



### 「駒込のお富士さん」で富士塚を見る 富士神社

1573年、本郷村の名主が現在の東京大学の地に駿河の富士浅間社を勧請し、その後1628年、この地に移されました。拝殿は富士山に見立てた山の上にあり、富士信仰の拠点の一つ。6月末から7月初の山開きは露店が出て賑わいます。

■本駒込5-7-20 ■TEL03-3823-7894



### 往時を偲ぶ経蔵を拝む 吉祥寺

元は水道橋の際にあったが、明暦の大火(1657年)で被災し、現在の地に移りました。関東における曹洞宗の宗門随一の施壇林(修行所)がおかれ多くの学僧が学びました。第二次大戦で大半が焼け、山門と経蔵だけが往時をしのばせています。

■本駒込3-19-17 ■TEL03-3823-2010





中央大学の施設（キャンパス・記念館・中学校・高等学校）

# 中央大学

實地應用ノ素ヲ養フ

中央大学は、1885（明治18）年、18人の若き法律家たちによって英吉利法律学校として創設されました。創立者たちは、抽象的体系性よりも具体的実証性を重視し実地応用に優れたイギリス法についての理解と法知識の普及こそが、日本を近代的な法治国家にするために不可欠であると確信し、「實地應用ノ素ヲ養フ（ジッチオウヨウノソヲヤシナウ）」教育によって、イギリス法を身につけ、品性の陶冶された法律家を育成し、わが国の法制度の改良をめざしたのです。

「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神は、総合大学となった現在、多様な学問研究と幅広い実践的な教育を通して「行動する知性」を育むという、本学のユニバーシティ・メッセージに受け継がれています。



多摩キャンパス  
東京都八王子市東中野 742-1



後楽園キャンパス  
東京都文京区春日 1-13-27



駿河台記念館  
東京都千代田区神田駿河台 3-11-5



市ヶ谷キャンパス  
東京都新宿区市谷本村町 42-8



市ヶ谷田町キャンパス (中央大学ミドルブリッジ)  
東京都新宿区市谷田町 1-18



中央大学杉並高等学校  
杉並区今川 2-7-1



中央大学高等学校  
文京区春日 1-13-27



中央大学附属中学校・高等学校  
小金井市貫井北町 3-22-1



中央大学附属横浜中学校・高等学校  
横浜市都筑区牛久保東 1-14-1

会 員 名 簿

役 員 名 簿

支 部 規 約

中央大学校歌・応援歌

# 中央大学学員会東京文京区支部会員名簿

(平成8年4月創立～平成28年7月在籍＝退会者・物故者含む)

(50音順)

相場 有二 (昭45経)	岩崎 茂雄 (昭48法)	垣保 孝 (昭57法)
青池 次男 (昭29法)	岩瀬 正昭 (昭43法)	掛川 友行 (平6理工)
青木 正一 (昭26法)	植田 正次 (昭24法)	河西 紀道 (昭37商)
青木 包輔 (昭28法)	上田 雅芳 (昭41商)	片瀬 智晴 (平9法)
青木 憲之 (昭48法)	浮田 秀則 (昭49経)	桂 文子 (昭36法)
青柳 武 (昭44法)	宇田川濱江 (昭35法)	桂 やまと (平11文)
秋場 文恵 (昭49理工)	内布 諒 (平24文)	加藤 省三 (昭43法)
秋山 清久 (昭36商)	内本 篤彌 (昭28経)	加藤 能久 (昭31法)
秋山 公 (昭40経)	宇津木孝一 (昭27経)	加藤 忠義 (昭52理工)
阿久津藤雄 (昭26法)	梅沢 健祐 (昭64法政)	加藤 彦一 (昭36商)
浅井 誠一 (昭36経)	浦谷 善雄 (昭30法)	加藤 康人 (昭49法)
浅川 宜夫 (昭41文)	遠藤 繁明 (昭59商)	加藤 幸男 (昭26専法)
安孫子律子 (昭56文)	遠藤 弘幸 (昭50理工)	金田 光司 (昭52文)
阿部 正人 (平2文)	遠藤 正則 (昭14商)	金田 光平 (昭26経)
荒木美和子 (昭31法)	遠藤 道雄 (昭55理工)	金田 正美 (昭43経)
安藤 莖子 (昭62商)	大久保治男 (昭35M刑)	金高 晃夫 (昭54商)
安藤 剛史 (平10法)	大嶋 紀彦 (昭39経)	亀崎 正幸 (昭34法政)
天野 清一 (昭46商)	大城 豊 (昭27法)	亀谷 卓夫 (昭48理工)
有馬 琢哉 (平6法)	大根田昌生 (昭33法政)	川崎 孝子 (昭52法)
飯田 康治 (昭43文)	大野 雅樹 (平元法)	川野 邦仁 (昭45法)
飯塚 佳治 (昭16法)	大庭 功 (昭55法)	川元正一郎 (平3仏文)
生田 時秀 (昭31理工)	大橋 雅子 (昭49商)	木内 裕喜 (昭34経)
石 正之 (昭32商)	大和田 實 (昭42法政)	木内 宏子 (昭35経)
石井 康裕 (昭47経国)	岡 優子 (昭38経)	菊池 靖雄 (昭30商)
石川善次郎 (昭42経)	岡本 泰二 (昭54経)	北川 繁 (昭39法政)
石川 正樹 (平2法)	岡安 一雄 (昭27法)	木下 一彌 (昭26経)
石澤 申吉 (昭34法)	小川 悟 (昭34商)	木下 信也 (昭55文)
石田 政史 (昭54経)	小川 祝 (昭33経)	櫛淵 正孝 (昭55法)
石橋 裕 (昭45法)	岡田 茂 (平16法)	久代 信次 (昭40法)
石原由紀子 (平22法)	沖山 明 (昭47理工)	金行 秀則 (昭35経)
伊地 皓二 (昭39法)	小口 隆夫 (昭46法)	楠山 正雄 (昭24法)
一文字俊雄 (昭28経)	奥野 光績 (昭42経)	久野 悟郎 (名誉教授)
伊藤 善男 (昭33商)	奥山 郁男 (昭58商)	窪岡 義則 (昭39経)
稲田 哲博 (昭56法)	奥山勇五郎 (昭50商)	久保田旨一 (昭32経)
稲葉 欣久 (昭40商)	尾崎 修一 (昭32商)	熊谷 正臣 (昭29経)
井上 博文 (昭53法政)	越智 英雄 (昭21法)	久米 悟 (平7商)
今井 岩夫 (昭38法)	小野 孝一 (昭18専商)	倉田金三郎 (昭30商)
今川 捨三 (昭11法)	女部田 亮 (平25法)	倉田 雅充 (昭17法)
岩崎 明 (昭29商)	貝瀬 宏 (昭54理工)	栗下 茂樹 (昭50法政)

栗原 力雄 (昭33経)	神保 博行 (平4推薦))	辻林 望未 (平14商))
黒崎 正 (昭32法)	杉村 英起 (昭52法)	土屋 頼子 (昭31法)
黒須純一郎 (昭50経)	杉山 脩 (昭44商)	角貝 久雄 (昭37法)
桑山 裕 (昭58経)	鈴木あや子 (昭47経)	寺田 正 (昭15法)
玄 運官 (平7理工)	鈴木 市昭 (昭26経)	戸井田ひろし (昭57商)
小泉潤一郎 (昭44商)	鈴木 高治 (昭51商)	戸井田房治 (昭29経)
小泉 嘉幸 (昭61理工)	鈴木 達二 (昭55理工)	樋田 誠 (昭34法)
河野 信夫 (昭35法)	鈴木 英之 (昭57商)	外川 甲二 (昭18専法)
神山 眞一 (昭39法)	鈴木 雅幸 (昭47法)	戸田 總子 (昭48通法)
小杉 聡則 (昭26専商)	鈴木 祐二 (昭56文)	利根川伸行 (昭52理工)
小谷 拓三 (昭36法政)	鈴木 亮三 (平10経)	富田 栄一 (平2理工)
後藤 与一 (昭28専商)	栖関 泰宏 (昭63理工)	富田 誠一 (昭28経)
小林 一久 (昭49経)	須田 泰三 (昭23経)	富塚 嘉一 (昭53商)
小林 重美 (昭35商)	須藤 朋広 (平3商)	中川 浩治 (昭33法)
小林 英雄 (昭42法)	関 正人 (平7経)	中川 毅 (平2経)
小林 正樹 (昭60法)	園田 守 (昭31法)	永井 一夫 (昭29経)
小林由紀子 (昭60法政)	染野 郁郎 (昭44法)	長尾 謙一 (昭28法)
近藤 鏞 (昭33文)	染谷 勤 (昭55理工)	長尾 謙太 (昭56商)
近藤 正 (昭45法政)	大門美代松 (昭35商)	長坂愿一郎 (昭47経)
金野 徳男 (昭28商)	田貝 好夫 (昭18 )	長島 和義 (平9経)
斎藤 円真 (昭41法)	高岡 信一 (昭44商)	長島 高義 (昭41昭)
斎藤 昭次 (昭27経)	高城 亨 (昭24法)	長沼 宏充 (昭39経)
酒井 廣延 (昭32法)	高木 征男 (昭40文)	中村 喜一 (昭39経)
境 秀夫 (昭25商)	高木 良平 (昭61M文)	中村 清 (昭37商)
栄 章博 (昭53法)	高野 一義 (昭48商)	浪江 順一 (昭34経)
坂本 健一 (昭50経)	高野 佳則 (平5M理工)	名村 義人 (昭34法)
坂本 幸男 (昭13法)	高橋 丈雄 (昭39経)	南波 卓 (昭35法)
佐川 宏 (昭44法)	高松 秀幸 (昭30法)	新妻 理男 (昭58法)
桜田 誠 (昭43商)	高松 守信 (昭35法)	仁木 資浩 (昭32経)
佐々木象一 (昭23経)	滝口 康正 (昭40理工)	西田 容子 (昭55文)
佐藤 寅雄 (昭39経)	竹内 康尋 (昭37法)	西村 輝雄 (昭43法)
佐藤 直樹 (昭54法)	竹澤 正美 (昭51法)	西村 友男 (昭28法)
佐藤 寛 (昭26法)	竹本 方英 (昭63文)	根岸 創造 (昭47法)
佐藤 正治 (昭29専経)	田島 京 (昭44商)	野上 和彌 (昭32商)
塩畑 孝夫 (昭45法)	田中 四郎 (昭28経)	野口 昇兵 (昭47法)
紫垣 桂介 (昭28法)	田中 正文 (昭47商)	野澤 隆一 (昭26経)
柴田 靖夫 (昭40法)	田中 祺益 (昭33商)	野尻 治子 (昭28法)
島岡 孝行 (昭60理工)	玉井 三郎 (昭28商)	野田 貴章 (昭42法)
島岡 良衣 (昭40法)	田丸 和宏 (昭46法)	野村 勝一 (昭23専法)
島崎 修 (昭48理工)	田村 悟 (昭48法政)	博田 忠平 (昭42法)
下田 一美 (昭51経)	為則 知之 (昭41理工)	畑 誠 (昭28経)
下村 康正 (昭22法)	津嶋 之男 (昭28法)	服部 孝博 (昭50理工)
新川 大 (昭30商)	辻林 望未 (平14商))	花岡 明 (昭34経)
新谷 昭 (昭45文)	津嶋 之男 (昭28法)	花岡 秀樹 (平5商経)

浜田 暢克 (昭35商)	宮園 重遠 (昭56商)	若木 栄仁 (昭35経)
早川 浩士 (昭55経)	宮本 英司 (昭28経)	脇坂 啓司 (昭36文)
林 總 (昭49商)	向井 英之 (昭63理工)	和田 京子 (平5経)
林 恭子 (平6商)	向山登志康 (昭24理工)	渡邊 和彦 (昭43商)
林 弘正 (昭47法)	村井 巖 (昭18専)	渡辺 静代 (昭32文)
林 靖人 (昭39商)	村岡 隆雄 (昭28法)	渡邊 正一 (昭59商)
林 泰弘 (昭38経)	村上 和雄 (昭31経)	
原 正次 (昭50経)	村瀬 正 (昭34法)	
原 秀男 (昭15法)	村山 綾子 (昭58法)	
原口 洋志 (昭54法)	目崎 康雄 (昭43理工)	
原田 邦穂 (昭54経)	茂木 哲哉 (昭42理工)	
日原 道雄 (昭27法)	本橋 元一 (昭31法)	
平井 信男 (昭26専)	桃川 龍一 (昭29経)	
平川 忠雄 (昭32経)	森 茂代 (昭35法)	
福田 良宏 (昭49法)	森田 重夫 (昭26法)	
藤井 輝明 (昭57経)	森田 英明 (昭42法)	
藤田 恵子 (昭53法)	森田 政彦 (昭25商)	
藤原 勇 (昭28経)	守谷慎一郎 (平3法)	
藤本 一夫 (昭45法政)	矢上 安雄 (昭40法)	
二見 龍男 (昭49経)	矢治 正司 (昭54商)	
堀井 昌儀 (昭38法)	矢島 孝幸 (平5経)	
本多 弘之 (昭27法)	柳沢甲子雄 (昭28商)	
本田富美子 (平19法)	柳沢 潔 (昭54法)	
本間 純子 (昭49文)	矢部 弘子 (昭52文)	
前川 和義 (昭27経)	山縣 祐吉 (昭28法)	
間下 泰成 (平6経)	山川 泰宏 (平2理工)	
榊井 卓 (昭43法)	山際 克俊 (昭55経)	
増田 一昌 (平1経)	山口 勇 (昭17専法)	
松井 宣 (昭11法)	山口 浩一 (昭53経)	
松尾 一輝 (昭50文)	山口 史郎 (昭28法)	
松尾 勉 (昭28法)	山下 晃 (平2経)	
松岡みゆき (昭51文)	山田 伸吾 (平17商)	
松田 恭一 (昭40法)	山根 彬夫 (昭28法)	
松田 茂 (昭46商)	湯村 稔 (昭61経)	
松沼 茂 (昭42経)	横関 芳夫 (昭59理工)	
松丸 和夫 (昭52経)	横山 清和 (昭54法)	
松本 宏 (昭4商)	横山 史郎 (昭30法)	
松山 和義 (昭47商)	吉川 春子 (昭39法)	
丸谷 隆一 (昭27経)	吉田 欣二 (昭28法)	
三浦 陽一 (昭39法)	良田夕里子 (昭27法)	
水野 茂弘 (昭41法政)	吉村 博夫 (昭30経)	
溝渕 照信 (昭18法)	吉本 貢 (昭30法)	
宮内 忍 (昭45商)	依田 弘 (昭51理工)	
宮崎 治子 (昭39法)	米村 邦輔 (昭35商)	

## 中央大学学員会東京文京区支部 役員名簿

### 平成26・27年度役員

名誉会長	大久保治男								
会長(支部長)	野口 昇兵								
副会長(副支部長)	倉田金三郎	浮田 秀則	久代 信次	戸井田ひろし					
相談役	中川 浩治	土屋 頼子	田中 祺益	飯田 庸治					
幹事長(事務局長)	松沼 茂								
副幹事長	加藤 康人	相場 有二	田村 悟	鈴木 雅幸					
監事	大根田昌生	亀谷 卓夫							
幹事	浅井 誠一	大野 雅樹	大和田 實	小川 祝	奥野 光績				
	桂 やまと	菊池 靖雄	島崎 修	染野 郁郎	竹本 方英				
	玉井 三郎	利根川伸行	松田 茂	宮崎 治子	山田 伸吾				
中央大学評議員	野口 昇兵	松沼 茂							
白門奨学会評議員	松沼 茂								
中央大学評議員	大久保治男	田中 祺益							
学員会幹事	相場 有二	松沼 茂							
学員会協議員	大久保治男	久代信次	野口 昇兵	田村 悟					

### 平成24・25年度役員

名誉会長	大久保治男								
会長(支部長)	中川 浩治								
副会長(副支部長)	土屋 頼子	倉田金三郎	久代 信次	野口 昇兵					
相談役	神保 博行	吉村 博夫	田中 祺益	飯田 庸治					
幹事長(事務局長)	松沼 茂								
副幹事長	加藤 康人	戸井田ひろし	田村 悟	鈴木 雅幸					
監事	大根田昌生	亀谷 卓夫							
幹事	相場 有二	浅井 誠一	生田 時英	浮田 秀則	大野 雅樹				
	大橋 雅子	奥野 光績	加藤 能久	菊池 靖雄	島崎 修				
	竹本 方英	玉井 三郎	利根川伸行	松田 茂	宮崎 治子				
	村岡 隆雄	山田 伸吾							

### 平成22・23年度役員

会長(支部長)	大久保治男								
副会長(副支部長)	土屋 頼子	飯田 康治	中川 浩治	吉村 博夫					
監事	大根田昌生	亀谷 卓夫							
顧問	田中 祺益								
相談役	神保 博行	富田 誠一							
幹事長(事務局長)	松沼 茂								
副幹事長	加藤 康人	鈴木 雅幸	田村 悟	戸井田ひろし					
幹事	相場 有二	生田 時秀	大野 雅樹	大橋 雅子	奥野 光績				
	加藤 能久	久代 信次	倉田金三郎	島崎 修	玉井 三郎				

利根川伸行 野口 昇兵 松田 茂 村岡 隆雄 米村 邦輔

## 平成20・21年度役員

支部長	大久保治男								
副支部長	土屋 頼子	吉村 博夫	中川 浩治	飯田 康治					
監 事	大根田昌生	亀谷 卓夫							
顧 問	田中 祺益								
相談役	神保 博行	富田 誠一							
幹事長(事務局長)	松沼 茂								
副幹事長	鈴木 雅幸	戸井田ひろし	田村 悟	加藤 康人					
幹 事	生田 時秀	米村 邦輔	村岡 隆雄	一文字俊雄	加藤 能久				
	松田 茂	奥野 光績	相場 有二	大橋 雅子	大野 雅樹				
	玉井 三郎	利根川伸行	島崎 修	倉田金三郎					

## 平成18・19年度役員

支部長	大久保治男								
副支部長	土屋 頼子	吉村 博夫	中川 浩治	桃川 龍一					
監 事	大根田昌生	亀谷 卓夫	森田 政彦						
顧 問	遠藤 正則	田中 祺益							
相談役	下村 康正	神保 博行	楠山 正雄	富田 誠一	近藤 錡				
幹事長(事務局長)	松沼 茂								
副幹事長	利根川伸行	戸井田ひろし	田村 悟	加藤 康人					
幹 事	飯田 康治	戸井田房治	生田 時秀	窪岡 善則	近藤 正				
	米村 邦輔	村岡 隆雄	一文字俊雄	加藤 能久	松田 茂				
	奥野 光績	相場 有二	大橋 雅子	大野 雅樹	玉井 三郎				
	宇田千賀子								

## 平成16・17年度役員

支部長	田中 祺益								
副支部長	土屋 頼子	吉村 博夫	中川 浩治	桃川 龍一	大久保治男				
監 事	本橋 元一	亀谷 卓夫							
顧 問	遠藤 正則	田中 祺益							
相談役	下村 康正	神保 博行	楠山 正雄	富田 誠一	近藤 錡				
幹事長(事務局長)	松沼 茂								
副幹事長	大根田昌生	利根川伸行	戸井田ひろし	田村 悟					
幹 事	飯田 康治	戸井田房治	高松 秀幸	秋場 文恵	生田 時秀				
	米村 邦輔	平井 信男	柳沢甲子雄	西村 友男	木下 一彌				
	奥野 光績	村岡 隆雄	一文字敏雄	窪岡 善則	近藤 正				
	森田 政彦	加藤 能久	小泉潤一郎	相場 有二	松田 茂				
	奥山勇五郎	大橋 雅子	大野 雅樹	玉井 三郎	藤原 勇				
	加藤 康人								



## 平成14・15年度役員

支部長	田中 祺益							
副支部長	土屋 頼子	近藤 錡	亀谷 卓夫	吉村 博夫	一文字俊雄			
	富田 誠一	西村 友男						
監 事	桃川 龍一	森田 重夫	中川 浩治					
顧 問	遠藤 正則	飯塚 佳治						
相談役	下村 康正	神保 博行						
幹事長	本橋 元一							
事務局長	松沼 茂							
副幹事長	北川 繁	利根川伸行						
幹 事	楠山 正雄	飯田 康治	戸井田房治	高松 秀幸	秋場 文恵			
	生田 時秀	米村 邦輔	平井 信男	西村 輝雄	柳沢甲子雄			
	藤原 勇	木下 一彌	奥野 光績	村岡 隆雄	原田 邦穂			
	窪岡 善則	近藤 正	森田 政彦	伊地 皓二	加藤 能久			
	戸井田ひろし	小泉潤一郎	大根田昌生	村瀬 正	奥山勇五郎			
	角貝 久雄	加藤 康人						

## 平成12・13年度役員

支部長	田中 祺益							
副支部長	土屋 頼子	近藤 錡	亀谷 卓夫	吉村 博夫	一文字俊雄			
	富田 誠一	西村 友男						
監 事	桃川 龍一	森田 重夫	中川 浩治					
顧 問	遠藤 正則	飯塚 佳治						
相談役	下村 康正	神保 博行	坂本 幸男					
幹事長	本橋 元一							
事務局長	松沼 茂							
副幹事長	北川 繁	利根川伸行						
幹 事	楠山 正雄	飯田 康治	戸井田房治	高松 秀幸	秋場 文恵			
	生田 時秀	米村 邦輔	平井 信男	西村 輝雄	柳沢甲子雄			
	藤原 勇	木下 一彌	奥野 光績	村岡 隆雄	原田 邦穂			
	窪岡 善則	近藤 正	森田 政彦	伊地 皓二	加藤 能久			
	戸井田ひろし	小泉潤一郎	大根田昌生	村瀬 正	奥山勇五郎			
	角貝 久雄	加藤 康人						

## 平成10・11年度役員

支部長	飯塚 佳治							
副支部長	土屋 頼子	近藤 錡	亀谷 卓夫					
監 事	田中 祺益	桃川 龍一	森田 重夫					
顧 問	遠藤 正則							
相談役	下村 康正	神保 博行	坂本 幸男					
幹事長	本橋 元一							
副幹事長	一文字俊雄	吉村 博夫	松沼 茂					
幹 事	富田 誠一	藤原 勇	西村 輝雄	西村 友男	角貝 久雄			

木下	一彌	米村	邦輔	柳沢	甲子雄	生田	時秀	伊地	皓二
北川	繁	窪岡	善則	村岡	隆雄	中川	浩治	森田	政彦
加藤	康人	近藤	正	利根	川伸行	平井	信男	奥山	勇五郎
秋場	文恵	奥野	光績	原田	邦穂				

平成8・9年度役員

支部長	飯塚	佳治							
副支部長	土屋	頼子	近藤	錡	亀谷	卓夫			
監事	田中	祺益	桃川	龍一	森田	重夫			
顧問	遠藤	正則							
相談役	下村	康正	神保	博行	坂本	幸男			
幹事長	本橋	元一							
副幹事長	一文字	俊雄	吉村	博夫	松沼	茂			
幹事	富田	誠一	藤原	勇	西村	輝雄	西村	友男	角貝 久雄
	木下	一彌	米村	邦輔	柳沢	甲子雄	生田	時秀	伊地 皓二
	北川	繁	窪岡	善則	村岡	隆雄	中川	浩治	森田 政彦
	加藤	康人	近藤	正	利根	川伸行	平井	信男	奥山勇五郎
	秋場	文恵	奥野	光績	原田	邦穂			

# 中央大学員会東京文京区支部規約

(名称)

第1条 本支部は、中央大学員会（白門会）東京文京区支部という。

(目的)

第2条 本支部は、会員相互の親睦を図り、交流を通じて中央大学の発展、興隆に寄与することを目的とする。

(事務所)

第3条 本支部の事務所は、文京区内におく。

(会員)

第4条 本支部は、文京区在住、在勤の中央大学員及び役員会において推薦された者をもって組織する。

2 支部会員は、氏名、住所、連絡先（電話番号）に変更があった場合は、速やかに支部長に通知しなければならない。

(事業)

第5条 本支部は、第2条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 会員親睦会、講演会の開催
- (2) 会員の福利厚生に関する事業
- (3) 会員名簿の発行
- (4) 評議員、協議員候補者の推薦
- (5) その他本支部及び学員会の目的達成に必要な事項

(役員)

第6条 本支部に次の役員をおく。

- |          |     |
|----------|-----|
| (1) 支部長  | 1名  |
| (2) 副支部長 | 若干名 |
| (3) 幹事長  | 1名  |
| (4) 事務局長 | 1名  |
| (5) 副幹事長 | 若干名 |
| (6) 幹事   | 若干名 |
| (7) 監事   | 3名  |

(役員を選任)

第7条 支部長、副支部長及び監事は、会員の中から総会において選任する。

2 その他の役員は、支部長が委嘱し、任期中、事故のため辞任する者があったときは、支部長の推薦により補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

(顧問、相談役)

第8条 本支部の円滑な運営を図るため、顧問並びに相談役を若干名おくことができる。

- 2 顧問及び相談役は、役員会に出席して意見を述べることができる。
- 3 支部長は、総会の承認を得て、顧問及び相談役を委嘱する。

(役員任期)

第9条 役員任期は2年とする。ただし再任は妨げない。

(役員職務権限)

第10条 支部長は、本支部を代表して会務を総括する。

- 2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 幹事は、支部長の命を受け、会務を処理する。
- 4 監事は、本会の財産及び業務執行の状況を監査し、役員会及び総会に報告する。

(総会)

第11条 本支部は、毎年1回定時総会を開催する者とし、必要あるときは臨時総会を開催することができる。

- 2 総会は、支部長が招集し、その議長となる。
- 3 会員の3分の1以上の要請があったときは臨時総会を開催しなければならない。
- 4 総会の議決は、規約の改廃に関することを除いて、出席者の過半数によって決する。可否同数のときは議長が決する。
- 5 総会の議事については議事録を作成し、議長及び役員2人以上が署名する。

(総会議決事項)

第12条 総会においては、本規約に定めるもののほか、次に掲げる事項を審議し、決定する。

- (1) 役員選任
- (2) 事業計画、事業報告並びに予算、決算の承認
- (3) 規約の改正
- (4) その他、役員会が総会に付議することを決定した事項

(役員会)

第13条 役員会は、支部長、副支部長、幹事及び監事によって構成する。ただし、監事は役員会に出席し、意見を述べるができるが、議事の採決権はない。

- 2 役員会は、必要に応じて支部長が招集し、その議長となる。
- 3 役員会は、次の事項を審議し、決定する。
  - (1) 総会に付議する事項
  - (2) 事業計画の立案
  - (3) 総会において決議された事項
  - (4) 委員会より委嘱された事項
  - (5) その他、本会の運営に必要な事項
- 4 議事は出席者の過半数をもって決する。

(経費)

第14条 本支部の経費は、会費、寄付金及び事業の収益金をもって支弁する。

(会費等)

第15条 会費は、年額3,000円とする。

2 本支部は、支部員その他から寄付を受けることができる。

(会計年度)

第16条 本支部の会計年度は、毎年4月1日から翌年3がつ31日までとする。

(規約の改廃)

第17条 本支部の規約の改廃は、総会において3分の2以上の同意を得なければならない。

付 則

この規約は、平成8年4月12日から施行する。

付 則

この規約は、平成14年5月15日から施行する。

#### 運営細則

1、規約第13条第3項第5号により定める。

2、部門を設け、担当役員（副幹事長、幹事の分担）により、その業務を分掌する。

①、事務局 庶務全般、名簿、その他に属さないこと。

②、経理 会計全般、資金運用、財産管理に関すること。

③、事業 諸行事の実施に関すること。

各部門の担当役員は、役員会に所掌業務の概況を報告する。

3、会費については、毎年、定時総会の開催時に納入するか、郵便振替又は銀行振込によることを原則とする。一旦納入した会費は、理由の如何を問わず返還しない。

4、支部の所有する金銭等は日常的に必要な額を除き、確実な金融機関に預金保管する。

5、支出には、全て証拠書類を整えておくものとする。

6、総会の議を経て、特別会計を設けることができる。

7、特別の事情のない限り、3年以上にわたる会費の滞納者は、役員会の議を経て、退会者とみなすことができる。

8、運営細則に定めのない事項や、これにより難しいことが生じたときは、その実情に応じ、役員会において協議するものとし、緊急を要するものにあつては支部長が決することができる。

9、運営細則の変更は、役員会である。

事業部門の諸行事のうちの部会

①ゴルフ ②俳句 ③釣り ④旅行 ⑤女性のための行事 ⑥異業種交流会 ⑦その他

# 中央大学校歌・応援歌

## 中央大学校歌

石川道雄 作詞

坂本良隆 作曲

一、草のみどりに風薫る 丘に目映ゆき白門を  
慕い集える若人が 真理の道にはげみつゝ  
栄ある歴史を承け伝う あ あ中央、我等が中央  
中央の名よ光あれ

二、よしや嵐は荒ぶとも 揺るがぬ意気ぞいや昂く  
春の驕奢の花ならで みのりの秋やめざすらむ  
学びの園こそ豊かなれ あ あ中央、我等が中央  
中央の名よ光あれ

三、いざ起て友よ時は今 新しき世のあさぼらけ  
胸に血潮の高鳴りや 湧く歌声も晴れやかに  
自由の天地ぞ展げゆく あ あ中央、我等が中央  
中央の名よ光あれ

## 中央大学応援歌 ～ああ中央の若き日に～

歌詞選定 中央大学学友会

古関裕而 作曲

一、憧れ高く空ひろく 理想の光あやなせる  
ああ中央の若き日に 伝統誇る白門の  
戦い挑む旗揚げ  
力 力 中央 中央

二、情熱と力の若人が 精鋭こぞりふるいたつ  
ああ中央の若き日に 雄叫ぶ血潮紅は  
闘魂たぎる火と燃える  
力 力 中央 中央

三、我らが誇り覇者の歌 燦たり栄光我が生命  
ああ中央の若き日に 今ぞ座らん覇者の座に  
いざ勝ちどきを揚げんかな  
力 力 中央 中央

## 惜 別 の 歌

島崎藤村 作詞

藤江英捕 作曲

- 一、遠き別れに耐えかねて 此の<sup>たかどの</sup>高樓に登るかな  
悲しむなかれ我が友よ 旅の衣を整えよ
- 二、別れと言えば昔より 此の人の世の常なるを  
流るゝ水を眺むれば 夢はずかしき涙かな
- 三、君がさやけき目の色も 君紅の唇も  
君が緑の黒髪も 又何時か見んこの別れ
- 四、君の行くべき山川は 落つる涙にみえわかず  
袖のしぐれの冬の日 君に贈らん花もがな
- 五、君が優しき慰めも 君がたのしき歌声も  
君が心の琴の音も 又何時聞かんこの別れ

## 伊 豆 道 遥 歌

村上道太郎 作詞作曲

- 一、よしや心のつれづれに さすらい出し旅なれど  
光降る野に立つ我れは 息吹く憂に濡れしぶる
- 二、富士の姿の影とめて 波間に浮ぶ淡島の  
沖の鷗に夢路とめ <sup>いさりび</sup>漁火ゆるゝ <sup>みと</sup>三津の浜
- 三、ああ修善寺の春静か ことよもなげに梅散るを  
のみの音絶えて夜叉王の <sup>たまいずこ</sup>靈何処にか宿るらむ

## 中 大 健 児 の 歌

河尾俊雄 作詞

音楽研究会 作曲

- 一、大空晴れて気は澄みぬ 雲にそびゆる芙蓉峰  
照る日に光る姿こそ 中大健児の<sup>しるし</sup>表徴なれ  
中央 中央 おゝ我等が母校
- 二、伝統<sup>きん</sup>燦たる旗の下 自由の世界うち建てん  
情熱<sup>ねっ</sup>と力を示すこそ 中大健児の心なれ  
中央 中央 おゝ我等が母校

## 若き血潮

若き血潮みなぎる 中央の意気にみよ  
栄光はさんとして 我らが上にあり  
歌わずや伝統中央 我らが門出のぞみにみちて  
見よ中央の大籬のゆくところ 陽もかげりてあわし  
若さこそ力こそ我らが命 戦いはきよかれ  
誓ひの殿堂はおごそかに 大空の元に輝く  
歌わずや伝統 中央 歌わずや伝統 中央

## 中大節（神田節）

- 一、ここはお江戸か神田の町か 神田の町なら大学は中央
  - 二、大学中央の学生さんは 度胸一つの男伊達
  - 三、度胸一つで神田の町を 歩いて行きます紋付袴
  - 四、紋付袴は中大の育ち ボロはおいらの旗印
  - 五、ボロはまとえど心は錦 どんなものにも恐れはせぬぞ
  - 六、どんなものにも恐れはせぬが 可愛あの娘にやかなやせぬ
  - 七、可愛あの娘はいつでも捨てる 母校のためなら命まで
  - 八、命捨ててもその名は残る 大学中央その名は残る
- 大学中央その名は残る



神田駿河台から多摩キャンパスに移築した中央大学の象徴 白門



中央大学学員会東京文京区支部

創立 20 周年記念協賛広告



# 育てよう! 「腸内フローラ」



## 教えて! 腸内フローラ!

ヒトの腸内には約500種類100兆個以上の腸内細菌が集まって、絶えず増殖を続け生息しているんだよ。腸内細菌は主に、有用なはたらきをする善玉菌、有毒物質を作り出す悪玉菌、体調が崩れたときに悪玉菌としてはたらく日和見菌の3種類。これらが腸内で生存競争を繰り広げていて、この細菌の集まりを、植物が大地を覆うような生態系にも似ていることから「腸内フローラ」と呼んでいるんだ。おなかの調子を良好に保つためには善玉菌を増やし、悪玉菌を抑えることが大切。

そこで「オリゴ糖」の登場!

善玉菌の栄養となる「オリゴ糖」を摂り入れて腸内環境を整え、よりよい「腸内フローラ」を育てよう!



オリゴ糖 善玉菌 (ビフィズス菌) 悪玉菌 日和見菌



ビフィズス菌を増やす  
「乳糖果糖オリゴ糖」  
シロップ

300gボトル



おなかの中の善玉菌を増やす。PREBIOTICS フレバイオティクス食品 **オリゴのおかげ**

お求めは、スーパーのお砂糖売場またはコーヒー売場等で。

もっとくわしいオリゴ糖のはたらきは「オフィシャルwebサイト」へ  
<http://oligo.jp/> オリゴのおかげ  検索

子育てママにうれしい情報いっぱい「おかげママweb」もチェック!  
<http://okagemama.jp/> おかげママ  検索

# 実践教育は東京で! 就職に直結

TEL03(5996)1931



## 福祉

音楽療法士  
保育・心理  
介護福祉士

社会が求める「心」の専門家 豊かな人間性を備えた福祉のプロを育成



〈将来の仕事〉●介護福祉士 ●音楽療法士 ●福祉施設管理者 ●心理カウンセラー  
●福祉住環境コーディネーター ●保育士 ●環境ビジネスIT ●福祉ビジネスIT 他

- 介護福祉学科
- 音楽療法学科
- 心理カウンセラー学科
- 環境ビジネスIT学科
- 認知行動療法心理学科
- 音楽療法専攻学科
- 福祉ビジネスIT学科
- 保育福祉学科

学校法人/厚生労働大臣指定・介護福祉士養成校  
日本音楽療法学会音楽療法士資格試験受験認定校  
**東京心理音楽療法福祉専門学校**  
〒171-0031 東京都豊島区目白 5-20-24 TEL(03)5996-2511



## 製菓

製パン  
中医薬IT  
サプリメント

「食」について学び、製菓製パン・フードビジネス・サプリのプロを育成



〈将来の仕事〉●製菓衛生師 ●フードコーディネーター ●フードアドバイザー  
●パティシエ ●登録販売者 ●中医薬専門家 ●推拿(中国整体)士  
●製菓・製パン店経営 ●飲食サービス士 ●サプリメント事業 他

- 健康中医薬業学科
- 製菓製パン管理学科
- 製菓製パン学科
- フードビジネスIT学科
- 中医薬研究IT学科
- フードコーディネート企画学科

学校法人/厚生労働大臣指定・製菓衛生師養成校  
**東京フード製菓中医薬専門学校**  
〒171-0032 東京都豊島区雑司ヶ谷3-16-5 TEL(03)3986-0441



## 法律

公務員  
司法書士  
通関士

目指す将来にダイレクトな「道」を用意。社会に貢献する専門的な資格を取得



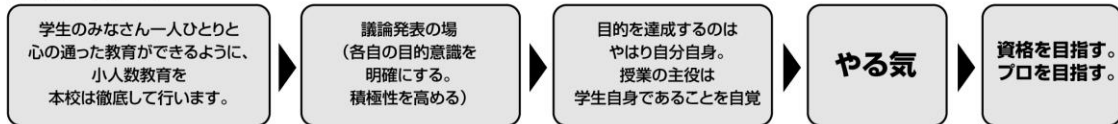
〈将来の仕事〉●裁判官 ●検事 ●弁護士 ●公証人 ●国家公務員II・III種 ●国税専門官 ●司法書士 ●社会保険労務士、他 ●行政書士 ●法律事務所 ●不動産会社 ●銀行 ●商社、他 ●公務員中級 ●国税専門官 ●外務省専門職員 ●裁判官事務 ●警察官 ●消防士 ●心理カウンセラー ●パラメディカルスタッフ ●心理技術者 他

- 法律学科
- 公務員学科
- 社会事業心理学科
- 経営法務IT学科
- 国際貿易通関士学科
- ITビジネス学科

学校法人/国家試験合格・資格取得の実績校  
**中央法律専門学校**  
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-1-6 TEL(03)3984-2351



### ●教育システム



### ●大学3年次編入制度

本校で学び、専門士の称号を授与された者の中より大学3年次への編入学の推薦をいたします。また、編入受験入学も可能です。日本社会福祉事業大学、東海大学、淑徳大学、駒沢大学、神奈川大学、東洋大学、駿河台大学、城西大学などへの編入実績があります。

学員会 年次支部協議会 代表幹事  
年次支部協議会白門飛躍  
募金推進委員長  
常任幹事  
白門45会支部 支部長

**相 場 有 二**

(昭和45年経済学部経済学科卒業、昭和47年大学院商学研究科修士課程修了)

# 白門飛躍募金

中央へ  
中央を越える、

**相場有二**

法人税・所得税・消費税・相続税・地方税・税務代理・書類作成・節税対策  
記帳代行・給料計算代行・社会保険手続・中小企業の総務経理事務一括代行

**税理士事務所**

アイビーエービジネス有限公司

税理士 相場 有二

事務所／東京都文京区本郷4-25-9 (〒113-0033)

ブラウンハイツ本郷203

TEL. 03 (3811) 8302 (代)

FAX. 03 (3811) 8326

E-mail: aiba-jimusyo@ac.auone-net.jp

旬にとことんこだわります！  
産地直送野菜や毎日築地より仕入れる  
厳選魚介をご提供

食通と粋な大人が通う店

銀座四季旬菜



03-3574-2110

銀座駅[C2]から約2分 ・中央区銀座6-4-1

月～水 17:30～24:00 / 木・金 17:30～翌3:00 / 土 17:30～22:00

都会のオアシス

奏でる三味の音・さわやかな  
心の安らぎを感じる空間



三味の音空間

折鶴

池袋駅 20b 出口から徒歩約3分・巣鴨信金前

東京都豊島区池袋1丁目1-4-302

電話03-3984-5558

月～土 18:00～23:00

八丈島唯一の旅館タイプの宿  
心温まるおもてなしをモットーとしております  
閑静な高台より雄大な眺望が楽しめます

八丈ビューホテル



TEL: 04996-2-3221 (フロント)

東京都八丈島八丈町大賀郷 4422-1

アパート・マンション・下宿で35年

学生支援一筋に



TEL 03-3264-0231



JR 水道橋駅東口3分  
東京都千代田区三崎町2-1-15



国特別史跡

うもれぎのや

井伊直弼学問所「埋木舎」

当主 大久保 治男

滋賀県彦根市・彦根城佐和口多間櫓前

電話 0749-23-5268

自宅 東京都文京区千石2-16-3

NHK大河ドラマ第1号「花の生涯」の主舞台

(直弼公御歌) 世の中をよそに見つつも埋れ木の埋もれておらむ心なき身は

「埋木舎」井伊直弼公が17才～32才  
文武両道を修行された藩公館。

(宝暦9年-1759-以前に建築)特に茶道、華道、  
歌道、禅、居合術等で文化人的人格形成を学ぶ。  
明治4年以降、直弼側役・大久保小膳が各種功  
績にて拝領、以降代々大久保家で所有、現当主  
は5代目

文京白門会名誉会長、駒澤大学名誉教授

ガンバロー日本・ガンバロー中大!  
東京オリンピックをこの目で...



千年生れの白翁 ナス畑の第一! 古河市の週末農場にて

週末農場: 〒306-0215 茨城県古河市水海2426-7

自宅: 〒113-0024 文京区西片1-15-19-505

連絡: 電話 03-3814-1059 携帯 090-2624-6997

URL <http://www.matsu-shin.jp/>

E-mail: shigeru@matsu-shin.jp



和紙工芸品、民芸品の企画・製作

〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目二十六番八号  
電話 (03) 3814-1705 九番  
ファクス (03) 3814-1058 三番

株式会社 松しん  
松沼 茂

株式会社 **大創産業**

代表取締役

**矢野博丈**

〒739-8501

広島県東広島市西条吉行東1丁目4番14号

電話 〇八二(四二〇)〇一〇〇

FAX 〇八二(四二一)二七四〇



東京都知事免許(13)第一八九三七号  
公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会会員

株式会社 **駒込不動産**

代表取締役

**奥野光績**

本社 〒113-0021  
支店 〒170-0003

東京都文京区本駒込二丁目一番八号  
東京都豊島区駒込二丁目十五番八号  
電話 代表(三九一八)五四五一  
FAX 駒込駅東口  
三九一〇一五一

司法書士

**染野郁郎**

〒112-0004

東京都文京区後楽2-21-20

TEL 03-5805-1591

FAX 03-5805-1592

税務相談・経理相談  
経営相談・税務申告

松田茂税理士事務所

税理士

**松田茂**

〒114-0001

東京都北区東十条四一五一四

キャピタルライフ東十条一〇四号室

TEL 〇三(三九一九)八八四七(代)

FAX 〇三(三九一九)六一四八

メール matsuda@tkb.att.ne.jp



都内最大級のエンタテインメントエリア  
東京ドームシティにそびえる地上43階建ての  
楽しさあふれるホテルです。

 TOKYO DOME HOTEL

〒112-8562 東京都文京区後楽1-3-61 TEL.03-5805-2111(代表)  
[www.tokyodome-hotels.co.jp](http://www.tokyodome-hotels.co.jp)

四谷タウン総合法律事務所

弁護士 大野 雅 樹

〒160-0004

東京都新宿区四谷一―七―八

松山ビル三階

電話(〇三)五三一―七二二七(代)

(〇三)五三一―七二二九(直)

FAX(〇三)五三一―七二二八

E-mail: [ohno@yotsuya-town.jp](mailto:ohno@yotsuya-town.jp)

株式会社 デイスカバリ―

代表取締役 島 崎 修

〒101-0064

東京都千代田区猿樂町一―三―四

TEL〇三(三二九五)三〇六〇

FAX〇三(三二九五)三五八九

e-mail: [eagle@wdiscovery.com](mailto:eagle@wdiscovery.com)

株式会社 関東電気自主検査協会

代表取締役 亀谷卓夫

本社 〒112-0011

東京都文京区千石四―一―四―三

TEL 〇三(三九四六)四六三二(代)

FAX 〇三(三九四六)四八八三





音羽印刷株式会社

監査役  
土屋頼子

本社 〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目三〇八  
TEL 〇三(五六八九)五二五二(代)

(中央大学学生会日華友好会副会長)

第一ホテルサービス株式会社  
レストラン「プリオール」 カフェ「ボンヌフ」

代表取締役社長

岸野 順治

〒105-0004 東京都港区新橋1丁目2番6号  
TEL 03-3591-9855 (代)  
FAX 03-3591-9890  
<http://http://www.dhservice.co.jp>

代表取締役  
長

株式会社 喜代村

木村 清

〒104-0045

東京都中央区築地四丁目七番五  
築地KYビル六階

電話 〇三(三五四五)二二六六(代)  
FAX 〇三(五一一四)八八二九



宇田川法律事務所

弁護士  
宇田川 濱江

〒110-0003 東京都台東区根岸3丁目4番10-2階

TEL 〇三(三八七三)四四六七  
FAX 〇三(三八七三)四五二二



各種印刷物、ホームページ等  
販売促進ツールの企画・制作  
トライアシック株式会社  
竹本 方英

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-6-3 7階  
TEL:03-3556-6892  
FAX:03-3556-6894

宮崎法律事務所

弁護士  
宮崎 治子

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町一丁目二番地  
クリスタルビル五階

電話 〇三(三二五三)〇八五七  
FAX 〇三(三二五三)〇八五八  
メール [haruko-miyazaki@nbc.biglobe.ne.jp](mailto:haruko-miyazaki@nbc.biglobe.ne.jp)

倉田 金三郎

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨一丁目二番三  
電話 〇三(五九八一)九四八二番



株式会社

アートクリア

専務取締役

田村 悟

佐久事務所

TEL 090-5583-9663  
FAX 0267-32-2612  
〒385-0021 長野県佐久市長土呂1690-9  
E-mail: ta-ankra.ya3to621ko@crest.ocn.ne.jp

落語会のご用命承り口。



落語家 三代目 桂やまと

info@yamato3rd.com 電話/FAX 03-6755-8815  
〒116-0011 東京都荒川区西尾久4-31-5  
最新情報は公式サイト、Facebook、Twitterで！  
【「桂やまと」で検索】

# 文京白門 20 周年記念誌協賛者芳名

広告・寄付・寄稿・資料提供者 (順不同・敬称略)

大久保治男、土屋頼子、宮崎治子、相場有ニ、大野雅樹、小川 祝、久代信次、宇田川濱江、奥野光績、桂やまと、松田 茂、竹本方秀、野口昇兵、島崎 修、田中祺益、倉田金三郎、浮田秀則、亀谷卓夫、酒井廣延、門下泰成、野尻治子、石沢申吉、玉井三郎、大和田實、山縣祐吉、森田英明、大根田昌生、石川善次郎、高松常太郎、杉原 尚、蓮池 薫、浅井誠一、加藤康人、戸井田ひろし、飯田康治、菊池靖雄、鈴木雅幸、田村 悟、染野郁郎、利根川信行、松沼 茂

塩水港精糖株式会社・株式会社パールエース・久野修慈、東京ドームホテル、(株)大創産業・矢野博丈、(株)喜代村・木村清、中央法律専門学校、第一ホテルサービス株式会社・岸野順治、埋木舎、池袋折鶴、東京心理音楽療法福祉専門学校、東京フード製菓中医薬専門学校、銀座四季旬菜かん、八丈ビューホテル、全国学生協会、松しん

(平成28年6月15日現在)

# 会報第1面、第2面 で見る20年の歩み

創刊号 平成11年1月10日 発行

第13号 平成27年9月1日 発行

本冊子は左綴じのため、縦書きの会報全頁を掲載できませんので、各号1頁と2頁のみを掲載しました。

各号の3ページ以降の主な内容は次の通りです。

創刊号 6頁

平成10年度総会／支部設立の経過／各種行事／会員名簿

第2号 8頁

第10回ホームカミングデー／行事・見開きグラフィティ／会員名簿

第3号 8頁

第5回定例総会／母校は今！／行事・見開きグラフィティ／会員名簿

第4号 8頁

第6回定時総会／都区内支部連絡会／支部事業案内／行事・グラフィティ／会員名簿

第5号 8頁

第7回定時総会／都区内支部連絡会／支部事業案内／行事・グラフィティ／会員名簿

第6号 8頁

第9回定時総会記念講演会／支部事業案内／行事・グラフィティ

第7号 4頁

観劇会／納涼屋形船

第8号 8頁

第14回定時総会／主な恒例行事案内／随筆（倉田金三郎・大久保治男／鈴木雅幸）

第9号 8頁

中央大学125周年記念式典／随筆（松沼茂・戸井田ひろし・倉田金三郎）

第10号 8頁

第16回定時総会／行事報告／随筆（大久保治男・原口洋志・玉井三郎・田村悟・戸井田ひろし・小川祝）

第11号 8頁

行事報告／随筆（大久保治男・中川浩治・原口洋志・戸井田ひろし・田村悟・桂才紫）

第12号 8頁

行事報告／随筆（野口昇兵・大久保治男・石井靖・戸井田ひろし・原口洋志・鈴木雅幸・松沼茂・桂やまと）

第13号 8頁

蓮池薫氏講演要旨／行事報告／学員会会報コンテスト入賞／随筆（野口昇兵・大久保治男・鈴木雅幸・松丸和夫・石川善次郎・大和田實）

# 白門文京

中央大学学生会東京文京区支部会報  
(題字/坂本幸男 支部相談役)

## 創刊号

発行所  
白門東京文京区支部事務局

〒113-0021 東京都文京区本駒込1-4-5

TEL. 03 (3941) 5214

FAX. 03 (3943) 2491

編集人 白門東京文京区支部広報委員会

発行人 支部長 飯塚 佳治



## 新年会のお知らせ

1999年2月10日(水)  
午後6時30分

●場所  
文京シビックセンター  
スカイホール



先ずもって「白門文京」の創刊を皆さまとともに心から喜びたいと存じます。よく考えますと人間、相反するものだけでは固く結

## 会報創刊に当たって

顧問 遠藤 正則

ばれるものではなく、そこには必ずと言っていいほど共通点があると思います。また、人間一人の知恵・才覚というものは頼りないもので、だからこそ迷ったときはもとより、何ごとにも他の人の知恵を借りることが必要です。自分のカラに閉じこもったり、頑迷であったりしてはいけないと思います。

けれども人の意見を聞いてそれに流されてはいけません。聞くべきを聞き、聞くべからざるは聞かない。そのへんがなかなかむずかしいところですが、それができれば、お互いの人生の歩みは、より確かで一層豊かなものになると思われます。こうしたことも寄る辺の一つとなつて、白門東京文京区支部が生生発展することを願っております。いささか思うことを述べさせていただきます、お祝いのことばといたします。



白門東京文京区支部

支部長 飯塚 佳治

戴いた中央大学高木友之助総長がこう言われました。「文京区に今まで支部がなかったことがおかしい。区内には理工学部という巨

すが、現状では、時期早尚との結論に至り、この時は断念致しました。時はながれ、平成七年湯島天神の節分のとき、文京

ここに「白門文京」発刊に当たり、この機関誌が文京支部の益々の発展の礎となることを願って創刊の言葉とさせていただきます。

# 「白門文京」創刊に際して

中央大学学生会文京区支部も平成八年四月十二日の創立総会より三年が経過致しました。学員参加も徐々

に増加し、只今三百人迄になりました。幹事諸氏の努力の賜と感謝しております。創立総会で来賓として出席

大な学舎があるのに」と。確かにそうであります。実は、支部の計画は今より十三年程前にあったので

区長より、今度こそ是非設立させたいとのお話があり、私も有志とともに本格的な活動に乗り出しました。

有志と連れ立って区長室を再三再四訪問し、協議を重ねました。私の敬愛する坂本先輩も快く相談に乗ってくれまして、いよいよ発起人会が開けるまで具体化してきたのであります。

# 会報の創刊によせて

学員会会長 大西 保

学員会東京文京区支部は、三年前に飯塚佳治支部長を中心にした支部設立発起人の方々のご苦勞の結晶となって誕生いたしました。

以来、いろいろな企画を實行され、支部学員相互の親交がさらに進展していることは、喜びに堪えない次第であります。



私共といたしましては、多数の学員が在住あるいは勤務する東京二十三区内の組織化は、学員会の今後の発展に大きく貢献いただけるところでありまして、貴支部の設立は、こうした意味におきまして、大変意義深いものがあります。さらに、貴支部の設立は、他の未設置の区での設立を促す好影響も生んでおり、既に十二の区に支部が設置され、三つの区で設立にむけて、現在準備が進められております。

さて、学員会は「母校中央大学の発展に寄与する」とする崇高な使命に基づき存在するものであり、この実現のための活動は個人個人の協力もさることながら、組織化を進め、集団となつて進めることがより一層効果的であると確信いたしております。これからも、地域はもとより職域、職種、年次等様々な形態の団体の支部化にむけて努力していく所存でございます。最後に、文京区支部の益々のご発展と、学員皆様のご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

# 今後の活動方針について

幹事長 本橋 元一

平成十一年の年明けと共に念願の支部会報「白門文京」創刊の運びとなりました。

担当役員各位のご努力により、年初の新年会に続く総会・懇親会を始め、毎月の句会、納涼屋形船、異業

種交流会、ゴルフコンペ等定例の事業活動も着実に消化して参りました。これからも関係者が一致協力して新会員の増強、各事業活動のより一層の充実に努めます。会員の皆様のご支援をお願い致します。

# こんな活動をしています

「白門文京」支部事業のご案内

当支部では会員相互の親睦、他支部との交流等のため様々な行事を行っております。多くの会員が気楽に参加出来るように、スポーツ、文化と多方面にわたっており、これらの行事を通じて、会員相互が、趣味に、事業に、又ライフワーク等に、有意義に活用、発展されることを望みます。

### 主な行事

- ◎新年会  
新年最初の行事。二月上旬、夜景の素晴らしいシビックセンター26階スカイホールを使用。
- ◎定例総会、懇親会(年一回、四月)
- ◎釣り会  
前回は台東区浅草橋より、船を仕立て貸し切り、東京湾の秋ハゼを狙った。
- ◎納涼屋形船  
ビールのみや九月の夜、江戸川を下り葛西臨海公園沖へ。ドイツ・ニランドの花火を夜景にビール、カラオケ、飲み放題、唄い放題の夕べ！参加者多数。
- ◎ゴルフ会  
腕に覚えのある人、ない人、老若男女が気楽に参加、年一〜二回開催、Wベリア方式。
- ◎俳句会  
区民センターにて毎月開催、頭の体操として静かなブーム。
- ◎異業種交流会  
様々な職業分野の人達の体験、研修、発表、交流の集い。年三回程度開催。
- ◎史跡巡りと食べ歩き  
会員有志のガイドによる区内名所史跡巡りの後、話題の店にて昼食。
- ◎文化講演  
前回は母校三十九年卒のスポーツキャスター野崎靖博氏を招いて「97プロ野球、あれこれ」等を開催。
- ◎区民センター、入場無料。
- ◎母校訪問  
八王子校舎で毎秋行われるホームカミングデーに有志が参加。
- ◎観劇、カラオケ会、グルメ会  
等も開催予定。

(事業担当 松沼茂)

スクールユニフォーム  
オフィスウェア  
学生帽徽章その他記念品

製造販売  
有限会社 **モトハシ**  
〒113-0021 文京区本駒込1-4-5  
TEL.03-3941-5214

(法31年卒 本橋 元一)

# 白門文京

中央大学学員会東京文京区支部会報  
(題字/坂本幸男 支部相談役)

## 第2号

発行所  
白門東京文京区支部事務局

〒113-0021 東京都文京区本駒込1-4-5

TEL. 03 (3941) 5214

FAX. 03 (3943) 2491

編集人 白門東京文京区支部広報委員会

発行人 支部長 飯塚佳治



二〇〇〇年も無事明け、新しい年に向かって文京区

## 「文京支部」結成五周年に当たって

### 支部長 飯塚佳治

支部も結成五周年を迎えることとなりました。役員諸氏のためまざる努力によってなされた事であります。現在の支部の状況を考えますと、詳しくは五月の総会で申し上げる所存であり

ますが、会員の増強のことであります。各支部も同じ悩みを抱えていることと思われまます。年間行事として「秋の屋形船遊覧」「ゴルフ」「史跡散歩と食べ歩き」「観劇会」

「異業種交流会」「俳句会(葉月会)」などが行われています。私も楽しみにしている俳句会は毎月必ず一回は行っており、既に四年以上続いております。俳句会は各支部も増えているようです。このほかにも良い企画があれば、各役員宛にご連絡ください。今年も会員諸氏のご健康とご発展を祈念し、挨拶いたします。

## 平成十二年度新年会を開催

### 遠藤正則氏(前区長 支部顧問)の叙勲祝い兼ね

白門文京区支部(中央大学学員会東京文京区支部、飯塚佳治支部長)恒例の新年会が去る一月二十七日、水道橋グランドホテルで開

平成12年度  
「総会」のお知らせ

- 日時 5月10日(水) 18:00~
- 会場 文京区民センター
- 会費 ¥5,000

かれたり写真。今回は特に遠藤正則前文京区長(当支部顧問)の名誉区民、勲三等瑞宝章受章の祝賀会を兼ねて開催、当日支部会員四十余名が参加して同氏の受章を祝った(関係記事2面)。支部行事のトップを飾る新年会は、会場を従来のシックホールから本郷の同ホテルに変更して開催。まず飯塚支部長が開会挨拶

に続き遠藤前区長にお祝いを述べ、土屋頼子副支部長が遠藤氏に花束を贈呈。区議会関係者らの慰労とお祝いの言葉が続く中、遠藤氏が「文京区一筋六十年」をふり振り返りながら「生ある限り現役、をモットーにこれからも精進していきたい」と謝辞を述べた。引き続き懇親パーティーに移り、出席者は酒肴を交えて和やかに歓談。恒例の中締めは、田中祺益監事の音頭で「校歌」「惜別の歌」を全員で合唱。立食パーティー会場では、遠藤氏を囲む賑やかな歓談風景が遅くまで続いた。(窪岡善則)

# 第四回定例総会を開催

第四回定例総会が、平成十一年五月十二日、文京区民センターで開催された。飯塚佳治支部長の挨拶に引き続き同支部長が議長となつて議事進行に移り、①



パーティーの前の記念撮影

平成十年度事業報告、②同収支決算(監査報告)、③平成十一年度事業計画、④同収支予算の四議案を満場一致で可決した。

続いて、懇親会に移り、遠藤正則当支部顧問の挨拶に次いで来賓の本学学生会市橋千鶴子副会長から祝辞をいただき、豪華フランス料理の数々に舌鼓を打ちながら、出席者四十七名の会員紹介を行い、和やかな雰囲気の中で会員相互の話も弾んだ。

本年は、更なる支部活動の活性化と会員の増員を目指すことを申し合わせ、「校歌」、「惜別の歌」を全員で合唱し、閉会した。

(加藤康人)



このほど遠藤正則前文京区長、当支部顧問が勲三等

## 遠藤正則氏に勲三等瑞宝章

瑞宝章を受章した(一面既報)。遠藤氏の話「人間は生きる限り現役なのだと思いたい。どんな時でも自分の役割は終わったと考えないで、もっと生きたいと言いたい。得るよう、今後もこの思いで精一杯歩んでいきたい。」

### ■略歴

大正3年 茨城県水戸市に生まれる  
昭和8年 東京都本郷区勤務  
15年 軍務に服する(～20年)  
34年 文京区教育委員会学務課長  
35年 文京区総務課長  
40年 文京区総務部長  
42年 文京区長職務代理(11月～43年6月)  
43年 文京区助役  
45年 文京区長職務代理(5～6月)  
48年 文京区長職務代理(11～12月)  
文京区長(選任)就任(～50年4月)  
50年 文京区長(公選)就任  
56年 東京都知事表彰を受ける(東京都自治功労者)  
平成3年 特別区長協会会長就任(5月～7年5月)  
7年 自治大臣表彰を受ける(区長として地方自治に功労)  
11年 文京区長任期満了(7期・4.26)  
文京区名誉区民に(9.13)  
勲三等瑞宝章を受章(11.3)

### 文京支部・この一年の動き (平成10年度事業報告)

年月日	事業名	場所	参加人員
10.4.10	第1回役員会	区民センター	12
17	平成10年度総会・懇親会	区民センター	47
4月～3月	俱利伽藍会(毎月1回開催)	区民センター	各回7～9
4.28	第2回役員会	区民センター	15
5.27	第4回異業種交流会	区民センター	17
7.4	第3回東京都区支部連絡会	蒲田ステーションホール	5
17	第3回役員会・懇親会	(株)松しん	13
18	懇親会(三葉)	芸術座(日比谷)	5
9.3	第3回納涼屋形船	東京湾(江戸川区・瑞江大橋)	31
10.4	ホームカミングデー参加	中央大学多摩校舎	7
11.11	第3回支部長杯ゴルフコンペ	グリーンオークスCC(千葉成田)	12
14	第2回史跡散歩と食べ歩き	→長・葛本・杉本・本郷周辺	14
18	第5回異業種交流会・忘年会	区民センター	18
18	第4回役員会	区民センター	14
11.2.1	第5回役員会	区民センター	11
10	平成11年新年会	シビックセンター・スカイホール	48
3.30	第6回役員会	区民センター	16

### 平成10年度収支決算

<収入の部>		
事項	決算額	摘要
①会費	555,000	@3,000×185人=555,000
②懇親会費	260,000	@5,000×44人=222,000、 学員会長20,000、江戸川支部長10,000、 文京会館10,000
③雑収入	151,271	利子763、広告料100,000、新年会残金50,508
④繰越金	316,108	
合計	1,282,379	
<支出の部>		
事項	決算額	摘要
①会議費	32,200	総会・役員会・新年会の会場費(延べ5回分)
②懇親会費	230,139	料理・飲物233,839、土産6,300
③事務費	123,555	郵券76,280、指込手数料6,940、商品券10,315、 写真代1,670、封筒代28,350
④事業費	311,955	納涼屋形船44,000、ゴルフ10,000、 異業種交流会10,000、俳句会10,000、 史跡散歩と食べ歩き会10,000、 会報印刷費210,000、 私込取扱票等印刷費17,955
⑤対外活動費	36,000	都区内連絡会参加費36,000
合計	733,849	

### <差引残高>

1,282,379-733,849=548,530(翌年度へ繰越)

上記のとおり報告します。

平成11年3月31日

支部長 飯塚 佳治  
会計 吉村 博夫

### 監査報告

私たちは、平成10年度の会計及び事業執行状況について役員から報告を聞き、会計書類等を検査することにより監査した結果、適正に処理されていることを確認します。

平成11年3月31日

監事 田中 謙益  
監事 桃川 龍一  
監事 森田 重夫

### 平成11年度事業計画

事業名	実施時期
定時総会・懇親会	11年5月12日
本部行事	通年
納涼屋形船、ホームカミングデーへの参加、新年会	通年
サークル行事	通年
ゴルフ、俳句、異業種交流会、釣り、ハイキング、史跡散歩と食べ歩き等	通年
会報の発行、会員の募集	随時
役員会の開催	

### 平成11年度収支予算

<収入の部>			
事項	本年度	前年度	増減摘要
①会費	600,000	600,000	0 @3,000×200人
②懇親会費	250,000	250,000	0 @5,000×50人(総会)
③繰越金	548,530	316,108	232,422
合計	1,398,530	1,166,108	232,422
<支出の部>			
事項	本年度	前年度	差引摘要
①会議費	100,000	100,000	0 総会、役員会等の会場借り上げ費
②懇親会費	250,000	250,000	0 @5,000×50人(総会)
③事務費	250,000	250,000	0 予・決算書、事業計画・報告書、会員名簿等の印刷経費、郵送費、その他事務費
④事業費	500,000	400,000	100,000 会報の発行、屋形船、新年会、サークル等諸行事
⑤対外活動費	50,000	50,000	0 留学生を助ます会賛助、都区内支部連絡会等への出席
⑥予備費	248,530	116,108	132,422
合計	1,389,530	1,166,108	232,422

スクールユニフォーム  
オフィスウェア  
学生帽徽章その他記念品

製造販売

# 株式会社 モトハシ

〒113-0021 文京区本駒込1-4-5  
TEL.03-3941-5214

(法31年卒 本橋 元一)



# 白門文京

中央大学学員会東京文京区支部会報  
(題字/坂本幸男 支部相談役)

第3号

発行所  
白門東京文京区支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷5-33-6

TEL. 03 (3814) 7059

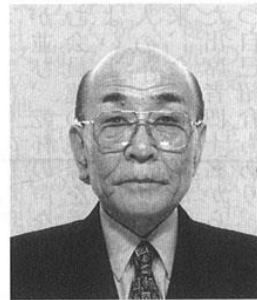
FAX. 03 (3814) 0583

編集人 白門東京文京区支部広報委員会

発行人 支部長 田中 祺益



中央大学学員会東京文京区支部  
平成13年新年会



## 支部長就任に当たって

田中 祺益  
よしみつ

飯塚佳治初代支部長の後をうけて、間もなく一年となりまして、お陰様で結成五周年の年度末を迎えられますことを関係各位に深く感謝申し上げます。  
本年度は、予定された各種行事のほかにシビック大

ホールでの母校の管弦楽団の定期演奏会に、当支部として微力ながら支援できましたことは、支部の存在を周知させ得たと考えます。また、東京都区内支部連合会等にも出席し、他支部との交流を図りました。

さらに次年度は年次支部主催の学員と留学生との交歓パーティー、「留学生を励ます会」等のイベントが予定されています。  
二十一世紀の幕開けと共に第六期を迎えますが、支部の今後益々の発展のため、会員各位の多大のご支援、ご協力をお願い申し上げます。併せて皆様方のご健康とご多幸を祈念し、就任の挨拶といたします。

## 平成十三年度新年会 フォーレスト本郷で開催

白門文京区支部  
の平成十三年度新

### 平成13年度 「総会」のお知らせ

- 日時 5月16日(水) 18:00～
- 会場 文京区民センター2A
- 会費 ¥5,000

年会が去る二月六日、フォーレスト本郷(文京区本郷六丁目)で開かれた写真。会場のフォーレスト本郷は、住宅地に位置する小体で瀟洒なブチホテル風の宿泊兼宴会施設。  
当日、三十余名の支部会員が参加、午後六時過ぎ松沼茂事務局長の司会・進行で開会。  
まず田中祺益新支部長が開会挨拶を兼ねて支部長就

任の抱負を披歴、続いて遠藤正則、飯塚佳治両支部顧問の挨拶の後、懇親パーティーに移行。  
宴席では盛り沢山の料理、ビール、酒、ワイン類を前に参加者は自己紹介に続き名刺交換、記念撮影など久しぶりの再会もあって盛り上がる中で、恒例の「校歌」「惜別の歌」を全員で合唱。「直千金」の一刻を満喫した。  
(窪岡善則)

第五回定例総会を開催

白門文京区支部第五回定例総会が平成十二年五月十日文京区民センターで開催された。

中央大学学員本部からは市橋千鶴子副会長、大学からは辰川弘敬常任理事、大久保信行理工学部長の各先生にご出席いただき盛況な会となった。

第一部総会で、議事①平成十一年度事業報告、②平成十一年度収支決算、③平成十二年事業計画、④平成十二年度収支予算をそれぞれ満場一致で可決、また、今回の総会は、二年に一度の役員改選に当たるとため田中祺益支部長以下の役員が新たに選任された。飯塚佳治前支部長には支部設立から運営まで、四年間にわたるご尽力に出席者全員で感謝を込めて拍手。総会に引き続き続いての懇親会は、遠藤正則顧問のあいさつに始まり、来賓の方々

母校は今!

二十一世紀に日本の私



から懇切なお祝辞をいただいた。目の前には冷たいビールと文京会館オーナーシエフ手作りの仏料理の数々が並び、乾杯の声を待ち望む会員達の視線を受けていよいよ宴会が開始。各々数人の小さなグループが出来、会員同士の話が弾み、また出席者四十名から一言ずつ自己紹介もあり、宴会もいよいよ佳境に。

学を目指す中央大学は、一昨年に市谷校舎を獲得立ち上げていますが、二〇一〇年の大学一二五周年に向け

て多くの記念事業計画をもっています。昨年の学校債募集の際にも、一部発表されていきますが、後楽園キャ、

最後は全員で肩を組んで円陣を作り、恒例の「中央大学校歌」、「応援歌」、「惜別の歌」を合唱し、閉会となった。(加藤康人)

平成11年度収支決算

Table with financial data for平成11年度収支決算, including income and expense sections.

平成12年度事業計画

Table with activity names and implementation dates for平成12年度事業計画.

平成12年度収支予算

Table with financial data for平成12年度収支予算, including income and expense sections.

Table titled '文京支部・この一年の動き' showing a list of activities, dates, and participants.

監査報告
私たちは、平成11年度の会計及び事業執行状況について役員から報告を受け、会計書類等を検査することにより監査した結果、適正に処理されていることを確認しました。

Advertisement for 'そばと地酒 そば処 湯島多なか' (Soba and Local Beer Soba-ya Tama Nakanaka) with contact information.

# 白門文京

中央大学学員会東京文京区支部会報  
(題字/坂本幸男 支部相談役)

## 第4号

発行所  
白門東京文京区支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷5-33-6

TEL. 03(3814)7059

FAX. 03(3814)0583

編集人 白門東京文京区支部広報委員会

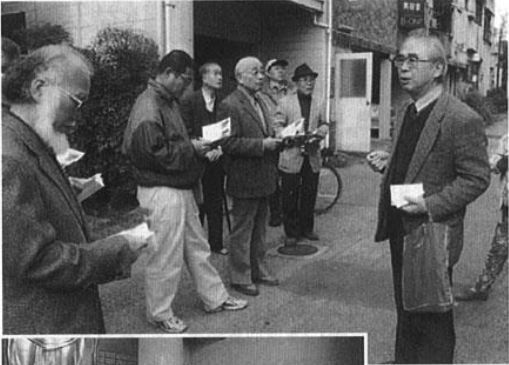
発行人 支部長 田中 祺 益

平成14年度  
「総会」のお知らせ

- 日時 5月15日(水) 18:00~
- 会場 文京区民センター2A
- 会費 ¥5,000

平成十三年十一月十七日  
団子坂下交差点に集まった  
参加者十余名は、毎度お世  
話になつている文京区文化  
財調査員の唐沢勝敏氏の案  
内で、加賀前田藩の支藩の  
大聖寺藩屋敷跡後に維新以  
後品川弥二郎の邸宅となり  
明治二十二年須藤吉左衛門  
の庭園となつた須藤公園を  
皮切りに、講談社発祥の地、  
団子坂菊人形展示跡、当初  
坂上北側にあつた根津  
権現参道の脇に「やぶ

歩いて知つた  
これからの文京の「大史跡」!  
「ぶんきょう史跡散歩と食べ歩き」の会



蕎麦」が発祥していること  
の説明があり、観音通りを  
西下して、東都六地藏、青  
鞆社発祥の地、江戸川乱歩  
の三人書房の跡地を経て  
「駒込大観音」の光源寺を  
訪ねました。同寺の島田昭  
博住職自ら観音堂内で説明  
されました。奈良の長谷寺  
本尊の十一面観音を模して  
元禄十年に建立(像高約八  
メートル)は、東京大空襲



で灰燼に帰し、平成五年五  
月十八日再興された。  
再興された本尊は錫杖を  
右手に持つ約六メートル余  
の立像で、木曾松の寄木造  
りで彫刻され、漆塗りが乾  
燥しないように金箔・金粉  
を施して仕上げである。土  
蔵造りの外観に内部はイン  
ド等の仏教聖地の建築意匠  
を施してある。なお同寺に  
は、甲冑鎧工の「明珍本家  
の墓」がある。次に訪ねた  
のはすぐ西隣の江戸札所第  
八番の「清林寺」。東京に  
飛鳥の塔を…斑鳩三古塔  
(法隆寺五重  
塔・法起寺三  
重の塔・法輪  
寺三重の塔)  
いずれも国宝  
又は国宝級の  
姿を、奈良・  
法輪寺の三重  
の塔をモデル  
にしてその八  
割大を本堂右



側に再現するもので、難波  
光定住職に代わって近野数  
丸棟梁の説明を受けた。建  
立が始まって二十三年だが  
平成六年五月十日に立柱式  
が行われた。特記すること  
は、塔の中心には芯柱があ  
つて、基壇下約三メートル  
に埋められた心礎から約  
一・五メートルの空間があ  
るように造られ、振動等の  
調整をさせている。又棟梁  
の話では、心礎に穿った仏  
舎利孔には大きな石を穿つ  
て仏舎利(仏陀の遺骨)を  
入れた石器を、三重にも五  
重にも漆で密閉して安置す  
るそうです。又、柱・肘木  
等に塗る塗料は近野棟梁が  
造り出した独特のもので八  
百年以上は持つ塗料だそう  
です。又、予算が乏しい上  
に千年は持つ最高の材料と  
匠の技を残す為、年間に  
出来る工事が限られるので完  
成時期は不明だそうです。  
次に高村光雲・高村光太  
郎旧居跡を通り、久田宗也  
建立の「半床庵」を見学、  
天の川席を拝観した。見学  
はここまでで終わり、本駒  
込四丁目まで歩き、トンカ  
ツ「わらしこ」で楽しい  
憩いのひと時を過ごして、  
解散しました。(森田政彦)

# 支部結成七年目に向かって

支部長 田中 祺益 よしみつ



昨年は、二十一世紀の幕開けと共に、国民の期待を一身に受けて誕生した小泉内閣によって、政治経済の構造改革の時代に入りました。しかし、その改革も期待通りに進まず非常に厳しい一年でした。

我が、文京区支部では、早や、結成六年目の期末になりました。お陰様で、皆様特に役員各位のご協力で、総会、観劇会、納涼屋形船、ゴルフ大会、区内史跡散歩食べ歩き、新年懇親会等予定された行事が全て行われ、暗い世相に反して、明るく、楽しく親睦がはかられたことにごより感謝申し上げます。今年、更に、より多くのご意見、希望等をお寄せいただき、また、会員増強に努め、親睦の輪をさらに広げてゆきたいと思っております。

さて、我が母校では創立百二十五周年に向けて、種々記念事業が計画され実施されております。そのうちの一つ、地元文京区にある理工学部を高層の新校舎

建設が来年完成を目指して進行中です。当支部でも皆様と協議して、できる範囲でこれら事業に協力したいと考えております。

また、そのほか、学員会地域支部としての東京都内支部の支部連絡協議会を当支部で開催する順番が近年中に回ってきます。そのため、本年より企画、準備等を始めなくてはならないと考えております。また、それと同時に他の支部で行われております支部結成五周年或いは十周年の記念行事も含めて協議しなくてはならない問題と考えております。なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

終りに会員各位のご活躍、そして当支部の飛躍の年になること祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

## 平成13年度事業計画(案)

事業名	実施時期
定時総会・懇親会	13年5月16日
本部行事	通年
納涼屋形船、ホームカミングデーへの参加、新年会	
サークル行事	通年
ゴルフ、俳句、観劇、異業種交流会、ハイキング、史跡散歩と食へ歩き等	
会報の発行、会員の募集	通年
役員会の開催	随時

## 平成12年度収支予算

事項	本年度	前年度	増減	摘要
①会費	600,000	600,000	0	@3,000×200人
②懇親会費	250,000	250,000	0	@5,000×50人(総会)
③繰越金	473,280	515,279	△41,999	
合計	1,323,280	1,365,279	△41,999	

## <収入の部>

事項	本年度	前年度	差引	摘要
①会議費	100,000	100,000	0	総会・役員会等の会場借上げ費、役員会弁当代
②懇親会費	250,000	250,000	0	@5,000×50人(総会)
③事務費	400,000	300,000	100,000	予・決算書、事業計画・報告書、会員名簿等の印刷経費、郵送料、その他事務費
④事業費	400,000	500,000	△100,000	会報の発行、屋形船、新年会、サークル等諸行事
⑤対外活動費	50,000	50,000	0	都区内支部連絡会等への出席
⑥予備費	123,280	165,279	△41,999	
合計	1,323,280	1,365,279	△41,999	

## <支出の部>

事項	本年度	前年度	差引	摘要
①収入の部	1,323,280	1,365,279	△41,999	
②支出の部	1,323,280	1,365,279	△41,999	

## 平成12年度収支決算

事項	決算額	摘要
①会費	516,000	@3,000×172人=516,000
②懇親会費	265,000	@5,000×43人=215,000、学員会外50,000
③雑収入	146,735	利子398、新年会残余31,340、広告料115,000
④繰越金	515,279	
合計	1,443,014	

## <支出の部>

事項	決算額	摘要
①会議費	12,500	総会・役員会の会場費(延べ3回分)
②懇親会費	191,930	料理・飲物175,000、土産6,930、花10,000
③事務費	366,804	郵券236,990、商品券10,000、印刷102,270、写真代1,724、会費振込手数料8,560
④事業費	353,500	納涼屋形船23,000、俳句会20,000、観劇会20,000、ゴルフ20,000、史跡散歩と食へ歩き会20,000、中央大学管弦楽団30,000、ロビー花10,500、会報印刷費21,000
⑤対外活動費	45,000	都区内連絡会参加費35,000、留学生との集い協力金10,000
合計	969,734	

## <差引残高>

1,443,014-969,734=473,280(翌年度へ繰越)上記のとおり報告します。

平成13年4月16日

支部長 田中 祺益  
会計 利根川伸行

## 監査報告

私たちは、平成12年度の会計及び事業執行状況について役員から報告を受け、会計書類等を検査することにより監査した結果、適正に処理されていることを確認しました。

平成13年4月16日

監事 森田 重夫  
監事 桃川 龍一  
監事 中川 浩治

## 二百二十五周年

### 記念事業募金について

当支部は「中央大学創立百二十五周年記念事業募金」に賛同、協力しています。会員各位のご理解、ご協力をお願いします。募金内容等は次の通り。▽総額 百億円▽種類 個人 一口五万円(一括又は分割)▽期間 二〇一二年九月三十日。

## 文京支部・この一年の動き (平成12年度事業報告)

年月日	事業名	場所	参加人員
12.5.10	平成12年度 総会・懇親会	文京区民センター	40
4月~3月	俳句の会(毎月1回・12回開催)	文京区民センター	各回7~9
6.14	第1回 役員会	松しん(2階)	15
7.22	「アルゼンチンタンゴ」鑑賞会	東京文庫生年金会館	10
8.29	第4回 納涼屋形船	東京湾(江戸川区・瑞江大橋)	28
9.27	第2回 役員会	文京区民センター	14
10.26	第3回 役員会	松しん(2階)	12
11. 8	第5回 支部長杯ゴルフコンペ	佐原スプリングスC倶楽部	14
11.20	第5回 東京都支部連絡会 に出席	中央区銀座TAKAMATU	5
11.23	「中央大学管弦楽団第44回定期演奏会」鑑賞会	文京シビックホール	30
11.23	第4回 史跡散歩と食へ歩き	根津神社・夏目漱石旧居跡・森講外観瀬傍路「(天外天)」	17
12.21	第4回 役員会・忘年会	文京区民センター	15
13. 2. 6	平成13年 新年会	フォレスト本郷	34
3. 9	第5回 役員会	文京区民センター	8

そばと地酒  
そば処  
湯島 多なか

TEL/FAX 5684-8150

## 本物だからおいしい

当店では北海道幌加内農協と契約栽培したそば粉を使用しております。何卒楽しくお召上がり下さい。

# 白門文京

中央大学学員会東京文京区支部会報  
(題字/坂本幸男 支部相談役)

第5号

発行所  
白門東京文京区支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷5-33-6  
TEL. 03 (3814) 7059  
FAX. 03 (3814) 0583  
編集人 白門東京文京区支部広報委員会  
発行人 支部長 田中 祺益

## 平成15年度 「総会」のお知らせ

- 日時 5月21日(水) 18:00～
- 会場 文京区民センター2A会議室
- 会費 ¥5,000

11月9日(土)、第6回史跡散歩と食べ歩きを行いました。今回も唐沢先生(文京区教育委員会)に史跡の説明をお願いいたしました。たずね歩いた史跡は、①白山神社(孫文は白山神社の境内で中華民国の建国を決議した)、②円乗寺(八百屋お七の墓)、③大円寺(幕末期西洋流砲術教師高島秋帆の墓、焙烙地蔵、樋口一葉没後原稿を整理し樋口一葉をこの世に出した小説家

## 歴史と文化に恵まれた

## 文の京を歩くー白山千駄木編

第6回「ぶんきょう史跡散歩と食べ歩き」の会

斎藤緑雨の墓)、④駒込土物店跡(大根・人参・ごぼう等土のついた野菜を土物と言う。現在は巣鴨青果市場に移転)⑤海蔵寺(富士山

## 創立百二十五周年記念事業の募金にご協力を!

母校中央大学が平成22年に創立百二十五周年を迎えるにあたり、総額一〇〇億円の募金活動を展開中である事はよくご理解の事であり又すでに寄付された会員もおりますが紙業にて若干案内させていただきます。

我が文京区支部は創立にあたって支部規約「本支部は会員相互の親睦を計り交流を通じて中央大学の発展興隆に寄与する事を目的とする」第二条に乗っ取り、支部活動の主要目的としてとらえ、昨年夏趣意書と共

に33回登り富士信仰にはげんだ身祿行者の墓)、⑥高林寺(蘭学者・福沢諭吉を世に出した緒方洪庵の墓、將軍にお茶用の水として献上した寺)⑦養源寺(昌平坂学問所総長の安井息軒の墓、伝統的な日本道徳の振興を図った西村茂樹の墓)などである。史跡めぐりの後は、白山上の「藍屋」にて松花堂弁当と少しのお酒で楽しく語りました。(加藤康人)

に会長名による募金協力と呼び掛けております。

以来会員より募金申し込み、及び振込等が随時寄せられておりますが、長引く不況及び文京区在住の会員が他の区に比べて少ないせいか、やや低調な金額になっております。募金額は一口五万円となっており、一度に振り込むには、まとまった金額となつてしまいません。そこで申し込みは五万円として毎年一万円づつの振込等でも可能です。尚、寄付金には法人、個



人共に顕彰並びに免税措置も確立されておりますのでよろしくご理解ご協力をお願いいたします。

又、所属団体を文京区支部と明記して下さい。文京区支部としての金額は累計される5%が支部に還付されます。平成15年5月1日現在の会員の寄付申込者名 中川浩治・土屋頼子・遠藤正則・玉井三郎・坂本幸男・森田英明・田中祺益・野尻治子・宮本英司・桃川龍一・吉村博夫・松沼茂・山口浩一・土屋一男・大久保治男・西村友男 文京支部合計金額百十二万円 (松沼 茂)

# 会報に寄せて



一言ご挨拶申し上げます。早いもので、我が文京区

支部も七年目の期末になりました。お陰様で本年度も予定されました年間行事全て行われ、会員相互の親睦が、更に深まった事とお慶び申し上げます。ここに、改めて皆様方のご支援、ご協力に対し深く感謝申し上げます。また本年度は特別に我が支部の生みの親である、遠藤正則顧問が八十八歳の米寿を迎えられました。去る10月20日、21日に箱根強羅荘に於いて、お祝の席を設けて、記念品を贈呈しお祝い申し上げました。またその他学員会を通じての種々な行事に対し参加協力をして参りました。

支部長 田中 祺益

る、地上十四階建ての校舎新三号館が完成されました。これは地元文京区支部にとっても大変嬉しく思います。

本年は江戸開府四百年ということで文京区では、文の京として、それに因んだ様々な行事が行われております。本郷も、カネヤス“までは江戸のうち（現在の本郷三丁目交差点の処）と云われているように、官学、私学の発祥の地であり、多くの歴史上の人物、文人達が住われ、そして多くの史跡が残されているところとす。また文京区歌の一節に、あ、大江戸のむかしより、こは学びの土地にして：書よむ窓の多なれば：都は文化の中心地：わが区は都の文京区”と詞われるこの地に、母校のシンボルが出現したことは全学員会々員のよろこぶべきことと思ひます。

都心のシンボルとなる後楽園キャンパスの新校舎三号館の完成に合わせて、文京区支部の意向上に結びつけたいと念願する次第です。どうぞ新年度も、支部発展のため一層のご支援ご協力を節にお願ひ申し上げるとともに、皆様の益々のご活躍とご多幸を祈念申し上げて挨拶いたします。

### 平成14年度事業計画

事業名	実施時期
定時総会・懇親会	14年5月15日
本部行事	通年
納涼屋形船、ホームカミングデーへの参加、新年会	
サークル行事	通年
ゴルフ、俳句、観劇、異業種交流会、ハイキング、史跡散歩と食べ歩き等	
会報の発行、会員の募集	通年
役員会の開催	随時

### 平成14年度収支予算

＜収入の部＞			
事項	本年度	前年度	増減摘要
①会費	510,000	600,000	△90,000 @3,000×170人
②懇親会費	300,000	250,000	50,000 @5,000×60人(総会)
③繰越金	290,946	473,280	△182,334
合計	1,100,946	1,323,280	△222,334
＜支出の部＞			
事項	本年度	前年度	差引摘要
①会議費	50,000	100,000	△50,000 総会・役員会等の会場費
②懇親会費	250,000	250,000	0 @5,000×50人(総会)
③事務費	350,000	400,000	△50,000 予・決算書、事業計画・報告書、会員名簿等の印刷経費、郵送料、その他事務費
④事業費	350,000	400,000	△50,000 会報の発行、屋形船、新年会、サークル等諸行事
⑤対外活動費	50,000	50,000	0 都区内支部連絡会等への出席
⑥予備費	50,946	123,280	△72,334
合計	1,100,946	1,323,280	△222,334

### 平成13年度収支決算

＜収入の部＞			
事項	決算額	摘要	
①会費	414,000	@3,000×138人	=414,000
②懇親会費	290,000	@5,000×47人	=235,000、 学員会外55,000
③雑収入	162,302	判子339、新年会会費66,963、 広告料95,000	
④繰越金	473,280		
合計	1,339,582		
＜支出の部＞			
事項	決算額	摘要	
①会議費	13,300	総会・役員会の会場費(延3回分)	
②懇親会費	208,574	料理・飲物197,274、土産6,300、 花5,000	
③事務費	421,762	郵券226,620、商品券103,075、 写真・コピー13,137、商品券10,000 振込手数料5,930、横断幕63,000	
④事業費	341,000	納涼屋形船51,000、俳句会20,000 観劇会20,000、ゴルフ20,000 史跡散歩と食べ歩き会20,000 会報印刷費210,000	
⑤対外活動費	64,000	都区内連絡会参加費24,000 留学生との親しい協力会10,000 世田谷・江戸川支部総会30,000	
合計	1,048,636		
＜差引残高＞ 1,339,582 - 1,048,636 = 290,946(翌年度へ繰越) 上記のとおり報告します。			

平成14年4月15日 支部長 田中 祺益  
会 計 利根川伸行

### 監査報告

私たちは、平成13年度の会計及び事業執行状況について役員から報告を受け、会計書類等を検査することにより監査した結果、適正に処理されていることを確認しました。

平成14年4月15日 監事 森田 重夫  
監事 桃川 龍一  
監事 中川 浩治

### 平成13年度事業報告(文京支部この一年の動き)

年月日	事業名	場所	参加人員
13.4.3	第1回 役員会	文京区民センター	10
4.16	第2回 役員会	文京区民センター	16
4.23	第3回 役員会	松しん(2階)	8
5.8	第4回 役員会	文京区民センター	8
5.16	平成13年度 総会・懇親会	文京区民センター	49
4月-3月	俳句の会(毎月1回・12回開催)	文京区民センター	各回7-9
6.13	第5回 役員会	文京区民センター	12
6.19	第6回 役員会	松しん(2階)	8
6.25	第7回 役員会	松しん(2階)	6
7.9	第8回 役員会	文京区民センター	8
8.4	「ついでに風と共に去りぬ」鑑賞会	帝京劇場	10
8.21	第9回 役員会	文京区民センター	9
8.28	第6回 納涼屋形船(東京湾・お台場)	荒瀬橋	38
10.3	第10回 役員会	文京区民センター	10
10.27	第6回 支部長杯ゴルフコンペ	桜橋区文化会館	3
11.14	第6回 支部長杯ゴルフコンペ	サブ・パビリオンゴルフクラブ(成田)	10
11.17	第5回 史跡散歩と食べ歩き	湯島公園・湯島大観音・清林寺 半蔵薬師(わらじっご)	13
12.18	第11回 役員会・忘年会	文京区民センター	10
14.2.5	平成14年 新年会	ホテル後山園	43
3.14	第12回 役員会	文京区民センター	13

そばと地酒  
そば処  
湯島 多なか  
TEL/FAX 5684-8150

## 本物だからおいしい

当店では北海道幌加内農協と契約栽培したそば粉を使用しております。何卒楽しくお召し上がり下さい。

# 白門文京

中央大学学生会東京文京区支部会報  
(題字/坂本幸男 支部相談役)

## 第6号

発行所  
白門東京文京区支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷5-33-6

TEL. 03 (3814) 7059

FAX. 03 (3814) 0583

編集人 白門東京文京区支部広報委員会

発行人 支部長 田中 祺益

## 文京区支部結成十年目を迎えて

支部長 田中 祺益 よしみつ



白門文京区支部は去る5月19日第9回定時総会を終え10年目を迎えました。これも役員各位並びに会員各位のご支援ご協力のお陰と心より感謝申し上げる次第

です。今回役員改選により再び支部長を受けることになりました。申すまでもなく微力な支部長ですが、引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。今回の第9回定時総会では会員である苫小牧駒沢大学初代学長をされた大久保治男先生の好意により「文化人井伊直弼の彦根藩とイギリス法学校(中央大学)について」と題して講演会が催されま

## 二〇〇四年新春の集い

中央大学理工学部新三号館にて開催

白門文京区支部の平成16年度新年会が去る2月25日、理工学部の新三号館にて開かれた。

会場の理工学部新三号館は母校百二十五周年記念事業として昨年春完成した新校舎で14階の会場より都内が一望出きる。当日、30余名の支部会員

が参加、午後6時30分松沼事務局長の司会・進行で開

会。  
まず田中祺益支部長が開



した。お陰さまですばらしい総会ができ心より感謝申し上げます。さて昨年度は恒例の諸行事に加えて、都内23区の中で結成されている16区支部が相互の交流 親睦発展を目的として毎年一回連絡協議会と称して、講演会・総会・懇親会を開催しております。それは支部結成年次の順番で、当番支部が幹事支部となり企画して行うもので、昨年は当文京支部が担当しました。お陰様で、幸いにも地の利を得て、母校後楽園キャンパス新校舎3号棟14階会議室にて準備会、そして総会を文京区シビックセン

ター26階展望ルームに於いて開催し、総会に先きだつて行われた講演会には地元文京区出身の人間国宝一龍斎貞水師匠による、「江戸開府四百年」と題しての講演会、そして都心の夜景が一望できる会場での懇親会等々意義多き連絡協議会ができました。多くの出席者の方々より嬉しい賞賛の言葉を頂きほっとした次第です。終りに、来年は支部結成10周年を迎えることとなります。どうぞ皆様の更なるご支援ご協力で楽しく充実した会になること共に皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

会挨拶。続いて大学より創立百二十五周年記念プロジェクト宮田永生事務局長より推進状況について報告。懇親に先立ち本日のゲスト落語家三遊亭小金馬師匠(文京区在住)による初笑の

一席を鑑賞し、集合写真の後、第二部懇親会に移行。宴席では、盛り沢山の料理を前に参加者の自己紹介。名刺交換等盛り上がる中、恒例の「惜別の歌」「校歌」を合唱し別れを惜んだ。

## 創立百二十五周年記念事業の募金にご協力を!

母校中央大学の発展興隆に寄与することを目的とした募金活動は、ご理解をいただき、すでにご寄付された会員もおられます。7月

5日現在文京区支部合計が129万円です。所属団体を文京区支部と明記して、今後とも、より一層のご支援ご協力をお願いいたします。





# 白門文京

中央大学学員会東京文京区支部会報

第7号

発行所

白門東京文京区支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷5-33-6

TEL. 03(3814)7059

FAX. 03(3814)0583

編集人 白門東京文京区支部広報委員会

発行人 支部長 大久保 治男

## 支部長交代

三代目 大久保 治男



一九九六年四月創立の中央大学学員会(白門会)東京文京区支部は、田中祺益二代支部長、松沼茂事務局長を中心に会員諸氏のご協力により十一周年目に入ります。真にご同慶の至りであります。

## 大学の友人

中川 浩治

私は、二十年位前から大学同クラスの友人五名計六名で忘年会やら暑氣払い、加えて、この七、八年位前からは、年三、四回一泊観光旅行を兼ねたゴルフに行っており、全くと酒を飲んだり、他

であり、人生においても、大学卒業と就職等が一つの大きなストローフェン(節目)であります。我が国では生涯「どこ大学の出身?」という会話が必ずつきまといまいます。胸を張って「中央大学!」と。

愛のない話をしたりして、楽しく過ごします。私にとっては、本当に大切な時間です。

ことばがありますが、「文京区にプライドを持つていて、文京区以外では住まないガンコなひと。代々文京区なので庭も広く相続税を心配してマンションにでもしようと考えている人」という意味だそうです。わたくしは三代目「文京老人」です。田中会長の輝きしき十年の軌跡を引き継いで(十年目の節目に御勇退され顧問となられる。田中先輩に心より敬意と感謝を申し上げます。)不肖大久保がお引き受けしましたから「文京老人」の一人だからであります。

れ好きな生活をして、楽しんでいきます。

「母校は母港」時折気心の通ずる皆さんで集って中央大学時代を思い出し青春のエネルギに各人でリセットしようではありませんか。どうぞ皆さん何卒よろしく御協力の程お願い申し上げます。

しそうで、懐かしそうです。私も、もっとキチンとした学生時代を送るべきだったと悔やんだりします。ですがよく考えてみると、その時分の私には、それは無理な注文で、所詮、できなかつたと思います。かような訳で、私の孫には、この連中のようにチャンと勉強して、悔いのない学生生活を送ってもらいたい、と願っております。

現在

中大法学部卒  
中大大学院修士修了  
山梨県立大助教授を経て駒澤大学法学部・大学院教授(法学部長、大学院委員長、教務部長、理事、苦小牧駒大名誉教授等)  
野学院大学副学長。武蔵野学院大学副学長。常任理事。  
(非常勤)中大、上智大、国士大、創価大、帝京大、山梨大等で「日本法制史」を講ずる。  
国特別史跡井伊直弼学問所(埋木倉) 当主(彦根城跡内)

略歴

昭和33  
中大大学院修了

# 第十一回定時総会を開催



平成十八年五月二十四日(水)、文京区民センターにて文京支部第十一回定時総会が開催された。

第一部の総会では、一

報告及び二号議案平成十七年度収支決算報告及び監査報告、三号議案平成十八年事業計画、四号議案平成十八年収支予算を満場一致で可決した。今回

二年の総会では、役員改選に当り大久保治男先生が支部長に新任され、副支部長以下別表の通り再任または選任された。

総会に引き続き第一部は大久保治男新支部長(駒沢大学名誉教授・武蔵野学院大学副学長)による(田中)支部長の輝かしき十年の軌跡を引き継いで、お引き受けし、おの挨拶があった。その後、全員で記念写真を撮り、第三部の懇親会となった。来賓は

### 平成18年度事業計画

事業名	実施時期
定時総会・懇親会	18年5月24日
本部行事	通年
納涼屋形船、新年会(10周年行事)、ホームカミングデーへの参加	通年
サークル行事	通年
ゴルフ、俳句の会、観劇の会、異業種交流会、ハイキング、史跡散歩と食べ歩き会、落語会その他の会を開催	通年
会報の発行、会員の募集	通年
役員会の開催	随時

### 平成18年度収支予算

＜収入の部＞				
事項	本年度	前年度	増減	説明
①会費	300,000	420,000	-120,000	年会費@3,000×100人
②懇親会費	150,000	250,000	-100,000	懇親会費@5,000×30人
③広告料	100,000	100,000	0	
④事業参加費	360,000	0	360,000	納涼屋形船@9,000×20人 新年会@6,000×30人
⑤繰越金	224,940	176,968	47,972	
合計	1,134,940	946,968	187,972	

＜支出の部＞				
事項	本年度	前年度	増減	説明
①会議費	10,000	20,000	-10,000	会場借上料
②懇親会費	150,000	250,000	-100,000	総会懇親会費 150,000
③事務費	130,000	150,000	-20,000	印刷経費、郵送料、事務費など
④会報発行費	390,000	400,000	-10,000	会報の発行
⑤事業費	400,000	0	400,000	納涼屋形船 180,000 新年会 180,000 サークル行事@20,000×2
⑥対外活動費	50,000	100,000	-50,000	
⑦予備費	4,940	26,968	-22,028	
合計	1,134,940	946,968	187,972	

### 平成17年度収支決算

＜収入の部＞		説明
①会費	291,000	会費3,000×97人
②懇親会費	150,000	会費5,000×24人、大学・学員会より30,000
③広告料	0	会報発行なし
④繰越金	176,968	
⑤雑収入	317,003	125周年プロジェクト寄付金連元金3,000、料子3納涼屋形船128,000(会費8,000×16人)新年会186,000(会費6,000×26人、大学等30,000)
合計	934,971	

＜支出の部＞		説明
①会議費	9,300	定時総会会場使用料9,300
②懇親会費	144,561	料理数値133,408、花5,000、土産6,153
③事務費	113,950	郵送料76,880、郵便払込手数料4,460 印刷料17,600、宛名ラベル11,010、作業費4,000
④事業費	402,720	観劇金20,000、前支部長生花15,000、新年会231,720(除生会費159,390、落語50,000、新年土産等22,330)、納涼屋形船136,000
⑤対外活動費	39,500	留学生費1,000 都区内支部連絡会費10,000、都区内支部連絡会 総会・幹事会出席19,500
⑥予備費	0	
⑦繰越金	224,940	
合計	934,971	

上記のとおり報告します。 支部長 田中 謙益  
平成18年5月16日 会 計 利根川 伸行

監査報告  
私たちは、平成17年度の会計及び事業執行状況について役員から報告を受け、会計書類等を検査することにより監査した結果、適正に処理されていることを確認しました。  
平成18年5月16日 監 事 本橋 元一  
監 事 龜谷 卓夫

大学より常任理事出口純輔副会長。それからお祝辞をいただき、遠藤正則顧問の乾杯の発声で宴がはじまりました。出席者35名のおひとりおひとりから一言づつ自己紹介をいただき、「応援歌」、「中央大学校歌」、「惜別の歌」を全員で合唱し、吉村副支部長による中締めで閉会となりました。

### 平成17年度事業報告 (文京支部-この一年の動き)

年月日	事業名	場所	参加人員
17. 4.14	役員会(第1回)	レストラン文京	10人
17. 5.12	役員会(第2回)	レストラン文京	9人
17. 5.19	平成17年度 定期総会・懇親会	文京区民センター-2A	24人
17. 6.14	役員会(第3回)	レストラン文京	8人
17. 8. 2	観劇会(ミュージカル「長崎しくれ前田」)	東京宝塚劇場	14人
17. 8.11	役員会(第4回)	レストラン文京	10人
17. 9. 8	東京都内支部連絡会幹事会出席	鎌河台記念館	1人
17. 9.12	第10回 納涼屋形船(東京湾・お台場)	流石橋・野田屋	16人
17.10. 4	役員会(第5回)	レストラン文京	7人
17.10.23	中央大学ホームカミングデー-留学生との集い出席	中央大学多摩キャンパス	5人
17.11.19	東京都内支部連絡会総会・懇親会出席	北ピア	4人
17.12. 5	役員会(第6回)・忘年会	上野市場	14人
18. 2. 8	平成18年 新年会	弥生会館	26人
18. 3.28	役員会(第7回)	レストラン文京	12人
毎月1回	俳句の会(年12回)	文京区民センター外	6~9人
通年	役員会等開催時における125周年プロジェクト寄付金募集(80,000円)		

支 部 長	大久保治男
支 部 副 長	土屋 頼子
監 事	吉村 博夫
顧 問	中川 浩治
相 談 役	遠藤 正則
幹 事 長	田中 謙益
副 幹 事 長	利根川 伸行
幹 事	松沼 茂 近藤 誠 富田 一 楠山 正 神保 博 下村 康 田中 祺 遠藤 正 森田 政 龜谷 卓 大根 昌 桃川 龍 中川 浩 吉村 博 土屋 頼 大久保 治男
幹 事	宇田 千賀 玉井 三郎 大野 正樹 相橋 雅二 奥野 有光 松田 能久 加藤 敏雄 文 隆 岡村 邦 米村 善正 近藤 善則 窪田 時秀 生田 房治 戸田 康治 飯田 康 加藤 康 田村 康 戸根 伸行 利根川 伸行 松沼 茂 松沼 誠 近藤 誠 富田 一 楠山 正 神保 博 下村 康 田中 祺 遠藤 正 森田 政 龜谷 卓 大根 昌 桃川 龍 中川 浩 吉村 博 土屋 頼 大久保 治男

第8号

中央大学学員会東京文京区支部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-26-8 松しん内

TEL. 03(3814)7059

FAX. 03(3814)0583

編集 広報委員会

発行人 大久保治男

# 白門文京

## 十五年目迎えた文京区支部

三代目支部長 大久保治男



一九九六年（平成八年）四月創立の東京文京区支部は本年の四月より十五年目の活動に入ります。

初代支部長・飯塚佳治氏、二代支部長・田中祺益氏、それに幹事長始め役員の方々と会員諸氏の全面御協力の下、本支部は東京の中心地、しかも理工学部や付属高校、更に専門職大学院も設置されている中大後楽園キャンパスを有する「文の京」をエリアとする支部活動を行っています。対抗意識を有する「白門」としては、「赤門」東大も文京区に存在することは嬉しいこととあります。

て創立され、イギリス流の経験主義、合理主義を基礎に、実学を一つの伝統として発展してきました。今日でも専門職大学院、即ち、ロースクール、ビジネススクール、アカウンティングスクール等が評価の高い優秀な実力校として注目されています。勿論、その背景には六学部を擁する四年制大学や七研究科の大学院等の伝統と実績が存することには申す迄もありません。

大高層ビルを見るにつけ、中大も元々は「神田の学校」であったわけで学部一、二年は多摩で教養や幅広い学習と人格形成の青春を謳歌し、三、四年は就職活動もあるので都心のすばらしい便利な教育施設で専門科目の実力を日本一流にすれば正にトップの大学になるではありません。

中央大学学員会 東京文京区支部	支部長 大久保治男	副支部長 土屋 頼子	監事 大根田昌生	顧問 大根田昌生	相談役 田中 祺益	幹事長 松沼 茂	副幹事長 戸井田ひろし	幹事 加藤 康人	幹事 生田 時秀	幹事 米村 邦輔	幹事 村岡 隆雄	幹事 一文字俊雄	幹事 加藤 能久	幹事 松田 茂	幹事 奥野 光績	幹事 相場 有二	幹事 大橋 雅子	幹事 大野 正樹	幹事 玉井 三郎	幹事 利根川伸行	幹事 島崎 修	幹事 倉田金三郎
--------------------	--------------	---------------	-------------	-------------	--------------	-------------	----------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------

中大は本年創立百二十五周年になります。大飛躍の年として卒業生（学員会員）も何らかの貢献をしなければなりません。今年の箱根駅伝は東洋大、駒澤大、山梨学院大、それに中大の順でした。わたくしは山梨学院大創立の当初五年間は助教授、駒大では約三十年間教授として給料もいただき、教え子もたくさんいますので勿論両校を応援しています。やはり母校・中大の選手には特別の気分で自然と応援に「力」が入ります。「母校愛」なのでしようか。

松沼幹事長始め役員や支部会員の皆様、楽しくお互いに親睦を深め「母校は母港」たまには大学時代の青春時代を思い出し、エネルギーのリセットをしましょう。松沼幹事長との「髭々コンビ」を本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

## 今年は母校創立 百二十五周年の年

中央大学は今年創立百二十五周年を迎えます。数々の記念事業が企画されていますが、記念式典は十一月十三日(土)午前十一時から多摩キャンパス9号館クレセントホールにおいて盛大に開催されます。

また、これと並行して北海道、九州はじめ各地で記念集會が企画されています。そのため、今年のホームカミングデーの開催は見送られることになりました。

## 中央大学のルーツ

一八八五年(明治十八年)東大教師の増島六一郎氏を中心に、十八人の法律家が「英吉利法律学校」を設立。後に「東京法学院」と改称し、さらに「東京法学院大学」と称したが、明治三十八年に「中央大学」に名称を変え、現在に至る。

### 母校メモ

○中央大学の最近の動向。  
\*今年の入学者数は五、八四八人

受験者数は 八万一、八九八人  
(明治大・早稲田大の今年度受験者は約十一万五千人)

\*今年開校の付属中学校  
入学者数は一八六八人

\*四月より横浜でスタート  
中央大学横浜山手中学校

中央大学横浜山手高等学校  
\*新キャンパス開校

五月十五日/中央大学市ヶ谷町キャンパス開校

\*新校舎の建築に着手  
後楽園キャンパス新二号館

建築着工 (本年三月)

## 第二十回 中央大学 ホームカミングデー

第二十回中央大学ホームカミングデーは平成二十一年十月二十五日(日)、多摩キャンパスで開催された。あいにくの雨模様にも拘らず、三千八百名の学員が参集。多くの催しに参加し、楽しい一日を過ごした。

文京区支部は結成以来、毎年抽選会への景品提供をするとともに、団体で参加して学員交流を行っている。節目の二十回目を迎えた今回は、例

## 「質実剛健」と生きる力

文京区教育長 根岸創造



昭和四七年に卒業以来、ずっと文京区で仕事をしてきましたので、神田駿河台は卒業後も身近な距離にあります。時々お茶ノ水駅で途中下車してニコライ堂の脇の道を下ると、かつての学生会館が今

も唯一残っており、それに続く古書店街などを歩けば、あつという間に学生時代の思い出にタイムスリップすることができます。貧乏でも学生の街に生きているという帰属感と誇りを持って法律や政治を議論し、様々な挫折も味わったあの空間は現在の自分を方向付けた貴重な原点です。  
当時放歌高吟した「ここはお江戸か神田の街か、神田の街なら大学は中央」という中大節や「朝に夕べにニコラ

イの…」というサークル歌などは、八王子移転後どうなったのだろうか、と案ずると共に、自分の心の中の母校は依然としてこの神田駿河台にあり、質実剛健という校是もこの街にこそ似つかわしいと独り思ったりします。  
国際学力到達度調査(PISA)で常にトップレベルを維持しているフィンランドは、就学前教育段階から、目標の設定と達成方法の考案を自主的に行わせるなど、自主性と責任感の育成を徹底して行い、ものづくり教育の充実と相俟って、独立して考える人間を育てることが個人の幸福と国

の繁栄につながると一貫しているそうです。質実剛健の精神とは正にこのようなことを言うのではないかと思います。  
翻って、日本の学校教育のナショナルミニマムである学習指導要領が掲げる「生きる力」という基本理念も、「自ら学び、自ら考え、主体的に行動し、問題を解決する資質や能力を育てる」など、目標は同様ながらも、現実には実現に向けて多くの課題を抱えています。質実剛健の学び舎を卒業した者の一人として、着実な取り組みを続けたいと考えています。



年の豪華景品に加えてスズキの軽自動車アルトが当たるとあって、抽選会場は雨の冷気をも吹き飛ばすような熱気に包まれていた。  
文京区支部会員の参加者は、大久保支部長寄贈の「文京のぼり」の下に全員集合し、密かに当選のコメントを用意したが、他支部参加者同様、残念ながら空振りとなった。それでも抽選会の雰囲気は十分に待しつつ、残念賞や納得の景品を手へ帰途についた。  
《文京区支部参加者》  
大久保治男、中川浩治、土屋頼子、倉田金三郎、利根川伸行、田中祺益、鈴木雅幸、松沼茂、大根田昌生(順不同)

第9号

中央大学学員会東京文京区支部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-26-8 松しん内

TEL. 03(3814)7059

FAX. 03(3814)0583

編集 広報委員会  
発行人 大久保治男

# 白門文京

## —東日本大震災で思うこと— 災い転じて福となせ 支部長 大久保治男



三月十一日昼M9の国内最大級の大地震が関東一部と東北地方に突如発生、その直後に一部では十五メートルを超す想像を絶する巨大津波がリアス式海岸各地に襲いかかり全地域を壊滅させ、死者約一万五千人、行方不明者約一万人、避難者は五月八日現在未だ十二万人と謂われています。正に前代未聞、日本の歴史始まって以来の大惨事です。これに加えて福島第一原子力発電所の地震と津波による崩壊に伴う、放射線の危険による大恐怖、立入禁止区域の拡大！被害者や御家族の悲嘆は計り知れない極致であろう。正に三大地獄といえます。然し、この東日本大震災の被災者や被災地に対する全日本人、いや世界中の人々の同情や支援の拡がりもすばらしいものがありました。

特に日本においては、最近有者として家族と同じようには大衆消費社会、経済優先社会、個人中心社会等々エゴとエコノミックスの現代社会の弊害が随所に現れていました。政治家達も他人の揚足取りや罵り合いばかり、官僚も自己の保身と天下り先探し、経済界も自社の利益ばかり、教育界ですら偏差値や受験競争、宗教界も信者の心の安らぎや信仰より御布施や建物の競争：大学時代学んだゲマインシャフト（心豊かな社会）よりゲゼルシャフト（利益追求、エゴな社会）の社会へ突入していたのです。しかし、この度の大地震の悲劇のショックにより人々は目覚めました。復活したので、日本人の「和」の精神、日本人の「共同体」意識、日本人の「自然への恐怖と崇拜と共存」等々古来よりの「日本人らしさ」の心の底の叫びが復活したのです。「被災者の方々の為に何かしたい！」居ても立ってもいられない気持ち、同朋の危機に運命共同体

民族として、共通の文化の共有者として家族と同じように助けたい気持ち、これこそ日本人の復活であり日本文化の本質への覚醒であります。日本人の大団結！最も日本の伝統が未だ残っていた東地方の方々に対してはなおさら感情も高ぶるといふものです。

政治家や官僚、財界人：そして我々も日頃行っていた事はいかに小さかったか。忘れ去っていた、日本全体のビジョン、日本文化のすばらしさ、そして日本人の真の心、精神の埋没していた宝の復活こそ、この度の大地震の悲劇を救う一つの光明となりました。被災者相互の助け合い、近隣の人々、そして、自衛隊、警察、消防等行政組織の人々や電力会社の放射線を恐れずの突貫修理：は申す迄もありませんが、連休には十三万人を超すボランティア、全国よりの義援金や応援：久々で日

本は一つになり、皆の心が「絆」となり「和」となりました。「和」は「倭」であり「我」が国、日本なのです。今後の被災者救済や復興計画も含め「災い転じて福」としまししょう。これを機に更なる友情を文京区支部の新たな歩み

ゲマインシャフト的ヒューマン・リレーションの小さな一つの単位である「文京白門会」の紳士・淑女諸氏も「母校愛」という形で今回の大きな「うねり」の中で「友情」を更に深めていこうではありませんか。

平成八年四月創立の中央大学学員会東京文京区支部は十六年目の活動に入っています。「椿山荘」での「観桜会」も東日本大震災でも負けずにかれ活気付けました。会員増強も含め松沼茂幹事長始め会員諸氏の本年度も御力添えのほど何卒よろしくお願い申し上げます。

### 平成二十三年度総会のご案内

日時 六月二十七日（月）午後六時  
会場 東京ドームホテル42階 シリウス  
議題 事業・決算報告他  
講演 「彦根藩と中央大学」  
講師 武蔵野学院大学副学長 大久保治男  
会費 六〇〇〇円

# 3月11日のこと

## 文京区教育長 根岸創造

3月11日午後2時46分、議会に向かうため20階の廊下に出たところで、激しい揺れを感じて立ち止まった。直後にこれまで体験したことのない大きな揺れが始まる。船が大きな波を乗り越えていくような揺れだ。大震災を直感し、よろけながら窓際に行って、外の惨状を見ようとしたが、眼下の街並みに大きな変化はない。ただ、お台場方向から黒煙が上がっているだけであった。高層ビル特有の揺れだったと

安堵するとともに、直ちに各学校の被害状況調査を開始した。しかし、電話は通じない。えに、児童生徒を校庭に避難させているため、防災無線にも応答が困難で、状況の把握は容易ではなかった。幸い児童生徒に被害はなく、学校も大きな被害を免れたが、集団下校をさせた学校と引き取りを求めた学校など、対応に差が生じたほか、交通機関の全面運休にともない、帰宅でき

ずに学校に泊まる中学生やバスで山梨県まで校外学習に出かけた中学校が翌朝まで帰れないという事態が生じた。文京区の震度は5弱とはいうものの、9百人弱の帰宅困難者が学校をはじめとする公共施設に集まり、教職員は子どもへの安全確保に加えて避難所の初期対応によく尽力された。改めて都市型災害において果たすべき学校の重要性和課題が明らかになったと思う。明けて月曜日、授業を再開したが、電力不足に対応した突然の運休と停電の噂等により、給食調理員の確保や食材の調達などに不安が生じたほ

か、余震及び放射能被害の恐れなど、情報不足の中で教育委員会の方針を示すのに苦慮した。現在も放射性物質等に関する新しいニュースが報道される中、関係機関のデータに注意を払いつつ、安全な教育行政のあり方を検討する毎日である。

そうした中で、5月上旬から、文京区の小学校教員1名を宮城県の子どもたちのために派遣している。新学期の途にもかわらず、担任だったクラスの児童も保護者も、その教諭を拍手で送りだしてくれたことが何よりうれしい話である。

## 平成二十二年度 定時総会を開催

平成二十二年六月二十九日(火)、文京区民センターに



辻本常任理事・高橋監督を囲んで

にて、文京区支部第十五回定時総会を開催しました。第一部の総会では第一号議案「平成二十一年度事業報告・収支決算及び監査報告」、第二号議案「平成二十二年度事業計画・収支予算案」、第三号議案「役員改選」について、満場一致で可決しました。総会に引き続き第二部では中央大学硬式野球部監督・高橋善正氏による「秋の優勝に向けて」の講演会を開催しました。高橋監督は本学在学中、東都大学リーグで記録的な活躍をし、昭和四十二年卒業と

同時に東映フライヤーズに入団。十五勝をあげて新人王を獲得。四十六年西鉄戦で完全試合を達成。巨人軍に移籍後、巨人、中日、日本ハム、横浜大洋のコーチを務めた後、平成十七年母校野球部コーチ、翌年監督に就任しました。直後の春季二部リーグで優勝を果たし、その年の秋季リーグで待望の一部復帰。

本年度の野球部は、三年間の高橋監督の熱血指導のもと、少ない部員、短い時間の中で、効率的な練習計画を立て、勝負の徹底した訓練をしまし

中央大学 東京文京区支部		支部長	大久保治男
		副支部長	飯田 康治
			土屋 頼子
			中川 浩治
			吉村 博夫
		監 事	大根田昌生
			亀谷 卓夫
			田中 祺益
		顧問	神保 博行
			富田 誠一
		相談役	松沼 茂
			加藤 康人
		幹事	鈴木 雅幸
			田村 悟
			戸井田ひろし
			相場 有二
			生田 時秀
			大野 正樹
			大橋 雅子
			奥野 光績
			加藤 能久
			久代 信次
			倉田金三郎
			島崎 修
			玉井 三郎
			利根川伸行
			野口 昇兵
			松田 茂
			村岡 隆雄
			米村 邦輔

# 白門文京

第10号

中央大学学員会東京文京区支部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-26-8 松しん内

TEL. 03(3814)7059 FAX. 03(3814)0583

メール. shigeru@matsu-shin.jp

編集 広報委員会

発行人 中川浩治



## 就任の弁 第4代目支部長 中川浩治

私は、この度、学員会文京区支部長を仰せつかまつりました。田中祺益、大久保治男各名支部長らの跡を継ぐことは重荷ではありますが、何とか、文京区支部の名を汚さぬよう、務める覚悟です。

私は、全く、心の準備もなまま就任しました。学員会といえば、中央大学OBの組織体と存じます。ところが、私は、以前の会報にも載せてあるとおり、在学中、全くの落ちこぼれでした。このような次第で、私には、学員会構成員として貢献できるかどうか

か、大変不安に思っております。しかし、お誘いを受け、支部の会合に参加しましたところ、今日まで、みなさまから、本当によくして頂きまして、私は、みなさまの御恩に報いるべく、能力不足は否めませんが、文京区支部の発展継続に精一杯お手伝いをさせて頂く積りです。

諸先輩と比べ非力な私ですが、みなさまのお力をお借りして、何とか、任務を全うできたら幸いと存じます。

(昭三十三年法卒/弁護士)

し、「森陽外講演会」「中央大学サイエンスセミナー」(文京区と共催)ほかさまざまな事業を展開していることなど、興味深い講演でした。

講演会のあとは記念撮影し、第三部の懇親会を催しました。来賓として中央大学常任理事松丸和夫様、学員会本部副会長辻本京朔様、理工学部長石井洋一様を迎え、それぞれ祝辞、あいさつをいただきました。豪華中華料理を前にビールで乾杯のあと、出席者全員の自己紹介など会員相互の親睦を図り、盛会のうちにお開きとなりました。

## 平成二十四年度定時総会 全議案を可決、役員改選

平成二十四年七月三日(火)午後六時から、東京ドーム後楽園飯店において、東京文京区支部第十七回定時総会を開催、三十七名が出席しました。

第一部の総会では、平成二十三年度事業報告及び収支決算について審議し、満場一致で可決しました。

また、役員改選を行い、平成十八年から六年間支部長として支部の発展に尽力いただいた大久保治男さんの退任に

伴い、発足以来、支部発展のために活躍頂いた中川浩治副支部長が新支部長に就任しました。大久保前支部長には名誉支部長として引き続き支部を支えて頂くことになりました。そのほか、副支部長以下の新役員も別記(二頁に掲載)のとおり選任されました。

第二部では、中央大学常任理事松丸和夫先生を講師に「文京区と中央大学」と題する講演会を開催しました。

中央大学は昭和二十四年、文京区に校地を取得し、現理工学部を設置し、昭和二十八年にも文京区に文学部校舎を設置。平成十八年には文京区と相互協力に関する協定を締結して、地域社会及び学術研究の発展に相互に協力し寄与することと



後楽園飯店の専用階段を占拠した白門文京の紳士・淑女

平成十八年五月、文京区民センターでの総会で三代目支部長に御選任いただいたてより三期・満六年が経ちました。その間、松沼幹事長、役員の方々が始め会員の皆様の御協力



彦根出身の福原紀彦中大総長・学長と

と御陰様で無事任務を全うする事が出来ました事は有難く心より厚く感謝申し上げます。母校・中央大学もますます発展し昨年は百二十五周年を迎え記念式典が盛大に挙行されました。

### 文京区支部長の無事退任に当たって

三代目支部長 大久保治男

ここ六年間の文京区支部の活動は活発でした。春の観桜会や忘年会は後楽園、椿山荘(菊池様のお力添)、音羽御殿、東京ドームホテル、後楽園飯店(久代様のお力添)等区内

の有名な処で開催。更に、浮田様のお陰で「東京競馬場貴賓室」での競馬鑑賞? 久代様のお陰で「東京ドーム」での野球観戦の特別行事も加わり、また土屋様のお陰で「歌舞伎」観劇もあり花やかさも

ありました。これらに加えて参加人数は少しではありましたが、二十年十一月には彦根城や小生の本宅、井伊直弼公の文武両道修練の「埋木舎」(国特別

史跡)、学員社長の「吉田山荘」を中心に京都散策の「旅行会」の第一回がスタート。昨年十一月は三・一一の東日本大震災・大津波の被害地、仙台、松島の被害地視察と秋保温泉「佐勘」で温泉気分を満喫しました。

此の度、久野中大学員会長より「感謝状」を頂きましたのを機に支部長を辞任させて頂いた頂きました。大変お世話になりました。中川四代目支部長、松沼幹事長始め皆々様の御協力と益々楽しい学員支部活動に致します。

ら、五月になると、毎年、勉強もしていないくせに司法試験が気になっていました。それでも、役所の管理職試験を受験する頃には、次第にその呪縛から解放されていききました。今は、中大の卒業生として、毎年の司法試験の合格実績に一喜一憂したり、正月の箱根駅伝や東都リーグの応援に生きがいを見出しております。特に、箱根は、過去の栄光、そして、平成八年の早稲田を制して優勝したときのあの感動が遠い過去の遺物になったかのような最近の成績で残念であります。

箱根駅伝でも大学野球でも、中大の我が愛校心に火がつくような活躍を期待したいものです。また、巨人の阿部や澤村、そして亀井君、今一度君にも頑張ってもらい、中大トリオとして、巨人を日本一にしてみたいと願っています。箱根駅伝と野球狂いの教育長ですが、中央大学での、多くの友人との話らいや、サークルでの夜を徹しての議論が今の私の財産になっています。昨今、大学生への学力テストなどの議論がありますが、何か違いますね。大学は、自から、学術研究を行う場です、人間形成も含めて……。



『白門文京』から依頼があり、はて、何を寄稿しようかと考えました。教育長としての教育観なりとも思ったのですが、今一度楽しかった学生時代を振り返りたいと思い、その頃の話と、中大スポーツの話を織り交ぜてみました。私は、昭和五十年に法学部に入学したわけですが、もともとは、国立北九州工業高等

専門学校の機械工学科を卒業しまして、このまま技術者になつていいのかと自分の人生を問い直した時に、今少し勉強したいと、理科系から、文科系へと転換し、法学部を受験しました。今でも、他界し

応、代々木の専門学校に通つたりはしていましたが、どちらかといえば、法学部テニス学科といつてもいいくらい、テニス同好会にはまりまして、毎晩、親に申し訳ない気持ちで、涙しながら、仲間たちと

### 我が学生時代に悔いなし

文京区教育長 原口洋志

た親には、感謝しております。東京すると、東京、駿河台、学生街、すべてが別世界でした。中央大学法学部への入学といえは、まずは親の期待が司法試験であります。私も一

朝まで酒を酌み交わしていました。この時の後輩の息子が、今を時めく錦織選手だったと知ったのは、つい最近のことです。もう少し、仲良くしていればよかったと後悔してい



第11号

中央大学学員会東京文京区支部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-26-8 松しん内

TEL. 03(3814)7059 FAX. 03(3814)0583

メール. shigeru@matsu-shin.jp

編集 広報委員会

発行人 中川浩治

# 白門文京

## 平成二十五年度定時総会

### 全議案可決、会員交流深める

平成二十五年七月八日(月)午後六時から、学員会東京文京区支部第十八回定時総会を東京ドームホテル四十二階「シリウス」にて開催しました。会員他四十名の出席がありました。

第一部総会は、松沼茂事務局長(幹事長)の進行で開会され、中川浩治支部長を議長に、各議案の審議を行いました。

第一号議案平成二十四年度事業報告、第二号議案平成二十四年度収支決算報告については、加藤康人副幹事長が説明、そして大根田昌生監事から決算についての監査報告があり、両議案とも満場一致で可決されました。

第二号議案平成二十五年度事業計画、平成二十五年度収支予算についても、加藤副幹事長が説明、満場一致で可決承認されました。

総会に引き続き、第二部では、㈱大創産業代表取締役矢野博文氏による講演会を開催しました。矢野氏は多忙の中、このために広島から上京、

興味深い講演をしていただきました。

講演会の後、全員で記念写真を撮影し、第三部の懇親会では、来賓の正野建樹学員会副会長から祝辞をいただきました。

東京ドームホテルの豪華料理に著も進み、会員相互の交流が弾みました。出席者全員の紹介が行われ、大根田監事の音頭により中央大学校歌を

## 起業成功の陰に壮絶体験

### ㈱大創産業 矢野博文氏講演

総会後の講演会では、㈱大創産業社長の矢野博文氏を講



合唱し、中締めで閉会となりました。



であるイトーヨーカ堂の鈴木敏文会長や凸版印刷の足立直樹会長(現中央大学理事長)等母校関係者のもとより、作家の堺屋太一氏、政治評論家福岡正行氏、前東京都知事石原慎太郎氏等著名名人との交際が驚くほど広い。

その矢野氏が学生時代、共に北海道貧乏旅行をした一會員の小さな縁で、たった四〇名の総会に多忙な時間を割いて友情講演して下さった。

ヨーカー堂の鈴木敏文氏に「彼はダジャレの商売人だ」と言わしめたギャグマンに備え、当会が用意した講演タイトルは「オヤジギャグと一〇〇円人生」。それとは打って変わった厳しく試練の体験談だった。

親族から受け継いだハマチの養殖は失敗、ボクシングで鍛えた自慢の体力も書籍セールスでダウン、他人の借金で崖っぷち絶望感、家族の支援やちり紙交換等で何とか先が見え始めた矢先に放火で振り出しに。その後スーパー片隅のリヤカー販売がダイソー産業の原点に……。

「辛さ、苦しき、悲しき全てが自分の人生です」と語り、聴く者を魅了しつつ講演を終えた。

文京区(旧小石川区)に住んで孫で五代目になる我が家は、縁に囲まれた高台の庭より富士山も眺められた。昨今は高層ビルで見えなくなつたが、未だ文京シビックセンターや東京ドームの屋根、さらに



スカイツリー迄、植物園越しに遠望、満足しているが、固定資産税の高さや近い将来の相続税を考えると、気が重くなる典型的「文京老人」の私も八十才近くになった。昔は杜甫の曲江詩で「人生

### 文京老人を楽しむ

名誉会長 大久保治男

(武蔵野学院大学大学院教授)

七十古来稀」と七十才は「古稀」、また七十七才は「喜寿」、八十才は「傘寿」、八十八才は「米寿」、九十九才は「白寿」といわれてきたが、今日は百才以上の方は四万人を突破、文京区にも八十人以上居

何かで読んで笑う話『あの世からお迎えが来たら』：七十才は「留守です」、八十才は「まだまだ」、九十才は「まだ楽しい事がある」、九十九才は「自分から行くから迎えに来るなよ」と云うように。

貝原益軒は「みずから楽しみ、人を楽しませることが生き甲斐だ」と申し、お釈迦様は「死ぬ瞬間まで人生は現役だ」と諭されている。「文京白門会」に集う人々も次第に老齡化?している感じであるが、健康にはコミュニケーションを密にし、大いに笑うこと、万事樂觀的前向きに考えること、若い時代(勿論中大時代)を思い出すこと、金をしつかりにぎっていること、家族特に子や孫に愛されること……等云われているが、「文京白門」を愛する皆さん! 一回しか無い人生の採点は百点(百才)をめざしてがんばって行こう!

### 支部長就任一年を顧みて

中川 浩治



一、昨年、図らずも第四代文京区支部長に推戴されました。私には、到底、職責をになうことはできないと思っております。

ましたが、皆様の御協力、殊に、大久保前支部長、松沼茂幹事長や加藤副幹事長らの支えがございまして、何とか、一年を経過しました。二、初めて、都区内支部連絡会・幹事会に参加しましたが、西も東も分らない私にとつて、いろいろ各支部の活動や提案をきくことは、大変参考になりました。

各支部の役員の人達が実に熱心に活発に発言していることには、感銘を受けました。人物も多士済々、力が漲って大変頼もしく思えました。三、東京ドーム社長の久代信次さんからご好意を頂きました。支部総会会場設営の外、毎年東京ドーム納涼野球会応援席を確保して頂き、巨人軍の阿部慎之助、亀井義行、澤村拓一等、母校出身選手を応援しつつ、野球観戦を楽しみました。

また、幹事長から他支部の方々にもお声をかけ、東京ドームでの野球観戦に来て頂いて、他区支部との交流を図りました。四、昨年以来母校中央大学及び学員会とも、未解決のさまざまな問題がありますが、創立125周年を経て135周年、150周年に向かう母校にとつても一日も早くこれらの問題を解決し、再スタートを切ってほしいと願うばかりです。

### 平成24・25年度役員 名誉会長

大久保治男

会長

中川 浩治

副会長(副支部長)

土屋 頼子、倉田金三郎

久代 信次、野口 昇兵

相談役

神保 博行、吉村 博夫

田中 祺益、飯田 庸治

幹事長(事務局長)

松沼 茂

副幹事長

加藤 康人、戸井戸ひろし

田村 悟、鈴木 雅幸

監事

大根田昌生、亀谷 卓夫

幹事

相場 有二、浅井 誠一

生田 時秀、浮田 秀則

大野 雅樹、大橋 雅子

奥野 光績、加藤 能久

菊池 靖雄、島崎 修

竹本 方英、玉井 三郎

利根川伸行、松田 茂

宮崎 治子、村岡 隆雄

山田 伸吾

中央大学評議員

松沼 茂、野口 昇兵

中央大学商議員

大久保治男、田中 祺益

学員会幹事

松沼 茂

学員会協議員

大久保治男、中川 浩治

田中 祺益、吉村 博夫

第12号

中央大学学員会東京文京区支部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-26-8 松しん内

TEL. 03(3814)7059 FAX. 03(3814)0583

メール. shigeru@matsu-shin.jp

編集 広報委員会

発行人 野口 昇兵

# 白門文京

## 平成二十六年年度定時総会

### 新支部長に野口昇兵氏

平成二十六年六月三十日(月)、文京区支部第十九回定時総会を東京ドームホテル後楽園飯店で開催し、四十七名が出席しました。

第一部の総会では、平成二十五年度事業報告及び収支決算、平成二十六年事業計画及び収支予算について審議し、満場一致で可決しました。

また、本年度は役員の改選を行いました。中川支部長はこの二年間、支部の発展に活躍頂きましたが、本人の申し出により退任されることになりました。

支部長には野口昇兵氏(昭和四七年法卒)、新たに副支部長に戸井田ひろし氏、浮田秀則氏、相談役に中川浩治氏、土屋頼子氏に就任頂くことになりました。

第二部では、駒澤大学名誉教授、武蔵野学院大学名誉学長の久保保治先生による『江戸文化と言葉』の講演及び、桂やまと師匠による『落語』を開催しました。桂やまと師匠は平成十一年三月中央大学を卒業後、桂才賀師匠に入門

し、平成二十六年三月真打に昇進されました。

記念写真を撮影後、第三部の懇親会となりました。

来賓の方は、中央大学常任理事松丸和夫様、理工学部長石井靖様、学員会本部副会長



後楽園飯店の専用階段を再び占拠した白門文京の紳士・淑女

三和幸彦様、練馬区支部から石塚様、宮代様に出席いただき、それぞれの方から祝辞、挨拶をいただきました。乾杯のあと、会員相互の親睦を図りつつ、出席者の皆様からは各々自己紹介をいただきました。最後は新会員で元中央大学応援団長の内布諒さんの音頭により中央大学校歌を合唱し、盛会の内にお開きとなりました。

平成26・27年度役員  
名誉会長  
大久保治男

会長(支部長)  
野口 昇兵

副会長(副支部長)  
倉田金三郎 浮田 秀則

相談役  
久代 信次 戸井戸ひろし

中川 浩治 土屋 頼子  
田中 祺益 飯田 庸治

幹事長(事務局長)  
松沼 茂

副幹事長  
加藤 康人 相場 有二

田村 悟 鈴木 雅幸

監事  
大根田昌生 亀谷 卓夫

幹事  
浅井 誠一 大野 雅樹

大和田 實 小川 祝

奥野 光績 桂 やまと

菊池 靖雄 島崎 修

染野 郁郎 竹本 方英

玉井 三郎 利根川 伸行

松田 茂 宮崎 治子

山田 伸吾

中央大学評議員  
野口 昇兵 松沼 茂

白門奨学会評議員  
松沼 茂

中央大学商議員  
大久保治男 田中 祺益

学員会幹事  
相場 有二 松沼 茂

学員会協議員  
大久保治男 久代 信次  
野口 昇兵 田村 悟

# 就任のご挨拶

## 第五代支部長 野口 昇兵



この度、学員会東京文京区支部第五代の会長兼支部長を仰せつかりました野口昇兵でございます。

昭和四十七年三月、学園紛争の為に卒業式は挙行されず、中庭二号館事務所の窓越しに卒業証書の授与とお祝いに缶ビールを頂きました。卒業後四十余年を迎えた年の創立一二五周年記念式典での中央大学歴史パントマイムには感涙に咽びました。嗚呼、母校とはかくも良きものであると、しみじみ思いました。

今日私が有りますのも、多大なるご指導を賜りました中央大学の先輩でございます。坂本市郎先生、学外大学教授白門会顧問、大久保治男先生、学員会東京文京区支部名誉会長・学外大学教授白門会会長には、未熟な私に親身なるご教示を賜りました。先輩諸

兄の一致点は、母校愛であります。人、夫々のルーツは異なりますが、出合いは新しい道を創り出す原点であります。創り出すものを後に続く者へ伝え続けるには自己の人としての生き方に責任を負うという自負心と愛が必要だとも教えられました。

私は、歴史と文化の香りと愛情に満ちた学員会東京文京区支部の会長として先輩諸兄

### 平成二十六年年度総会講演会

## 「あいまい」文化と「ことば」

### 武蔵野学院大学名誉学長 大久保治男



日本は我が国といい、和の国、倭の国であり、島国で小ぢんまりした血縁・地縁を重視する「ゲマインシャフト」的共同体である伝統がある。日本人同士はお互いにその

の教えを胸に、第一に、会員同士の親睦と和の結集。中央大学設立の理念「実地応用の素を養う」の基に時代の変化・多様性に対応すべく大学の発展、後輩の育成等の支援活動の充実。第二に、「会員ご家族が参加される各種行事の開催」であります。ご家族にも白門会の実情を知って頂き、ご子息を始め親族・友人・知人も中央大学へ入学して頂き、一人でも多く白門会の一員になって頂くことであります。第三に、会員増強であり、伝統あるこの会がより一層発展し、より円滑に末長く継続す

るために、何よりも若い方々の会員増強を、会員と共にやりたいと思えます。第四に、他クラブとの交流をより一層深め、様々な会合・行事を催して参りたいと思えます。これらを、事務局長を始め会員の皆様方のご協力とご支援の下で、私の足りないところの補填や、言動に、羅針盤としてご指導を頂きながら、伝統あるこの会を強固なものに確立して参りたいと存じております。

「協力とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。」

場の「空気を「察して」「あ・うん」の呼吸や「行間を読む」「間」をあけ「沈黙」（目は口ほどに物を云う）し「笑ゴマ」をやり、「本音と建て前」や「腹芸」等をやつて、人と人のコミュニケーションを上手にやり「波風を立てず」「丸くおさめ」「ぶらかし」を含め協議し、社会全体が平和共存という「ハイコンテクスト」の世間体、同調行動、恥、自

嘲、責任回避の「主体性欠如」「自我不確実」の日本社会の特色がある。(利害や法・組織や自己主張、対立の激しい「ゲゼルシャフト」の欧米の文化と対比)

右の特色よりも「あいまい」文化となり、「ことば」においても「おまかせします」「みづくるって」「お世話さま」「お陰さまで」「どうぞよろしく」となり、イエス・ノーをはっきり云わないので「どうせ」「やはり」「せめて」「まあいいか」「…なんてね」…とあいまいな表現をする。生活様式では箸、畳の部屋、



代表取締役 **矢野 博丈**

株式会社 **大創産業**

〒739-8501 広島県東広島市西条吉行東1-4-14  
TEL(082)420-0103 FAX(082)421-2740

ちやぶ台、下駄、風呂敷、着物、ふすま、障子、盛り付け等多目的に使え、あいまいな物品がかえって便利で合理的で、良い面もある。「あいまい」文化の価値観も「わび」「さび」「粋」「はかなさ」「張り」「ものあわれ」等不可解な難しさを昇華させる。政治家や役人の表現も正に「あいまい」であり、諾否等を「ぶらかす」。有名な笑い話「役人が正しい強い市民の要望に対し「あなた方のおっしゃる事はごもっともです。この件を前向きに善処するにやぶさかではありません」と答えた。(これはやらないというノーなのだ) その場をあいまいにして逃げたのである。

第13号

中央大学学会会東京文京区支部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-26-8 松しん内

TEL. 03(3814)7059 FAX. 03(3814)0583  
メール. shigeru@matsu-shin.jp

編集責任者 松沼 茂  
発行責任者 野口昇兵

# 白門文京

## 平成二十七年定時総会

### 蓮池薫氏講演「拉致と決断」

平成二十七年七月二十六日  
(土) 東京文京区支部第二十  
回定時総会を東京ドームホテ  
ル後楽園飯店で開催し、約七  
十名が出席しました。

第一部の総会では、平成二  
十六年度事業報告及び収支決  
算、平成二十七年事業計画  
及び収支予算について審議し  
満場一致で可決しました。

第二部では、中央大学法学  
部卒・蓮池薫先生(新潟産業  
大学准教授)による講演会「拉  
致と決断」を開催しました。  
本講演を聴講のため、来賓・  
他支部などから大勢出席いた  
だき大変な盛り上がりとなり  
ました。(講演内容は3頁)  
そして講演会の後は記念写  
真を撮り、第三部の懇親会と  
なりました。

来賓の方は、中央大学理工  
学部長石井靖様、本部学員会  
副会長大木田守様、42年白  
門会様、源氏会様、出版白門  
会様、箱根・神宮応援団様、  
練馬区支部様、台東区支部様、  
新宿白門倶楽部様、江戸川区  
支部様、中野区支部様、北区  
支部様、杉並区支部様、港区

支部様等多数の皆様にご出席  
いただきました。  
文京区支部長・野口昇兵の  
あいさつの後、後楽園飯店の



蓮池薫氏を囲んで記念撮影

豪華中華料理を前にビールで  
乾杯し、会員相互の親睦を図  
りつつ、来賓の皆様からは各々  
自己紹介・祝福の言葉をいた  
だきました。最後は中央大学  
応援団長・山崎理桐君の音頭  
によりエール・中央大学校歌  
を合唱し、盛会の内にお開き  
となりました。

総会への

お祝い電報

- 自由民主党副総裁 高村正彦先生
- 拉致担当大臣 山谷えり子先生
- 中央大学理事長 深澤武久先生
- 中央大学総長学長 酒井正三郎先生
- 中央大学学員会 会長 久野修慈先生
- 中央大学準硬式野球部 池田浩二監督
- 中央大学水泳部 高橋雄介監督
- 佐渡市 曾我ひとみ様
- すしざんまい社長 木村 清様
- 日本相撲協会 片男波部屋 片男波良二親方
- その他大勢の方からお祝いメッセージを頂きました。

平成26・27年度役員  
名誉会長  
大久保治男

会長(支部長)  
野口 昇兵

副会長(副支部長)  
倉田金三郎 浮田 秀則

久代 信次 戸井田ひろし  
相談役  
田中 祺益 土屋 頼子

幹事長(事務局長)  
飯田 庸治

副幹事長  
加藤 康人 相場 有二

田村 悟 鈴木 雅幸

監事  
大根田昌生 亀谷 卓夫

幹事  
浅井 誠一 大野 雅樹

大和田 實 小川 祝

奥野 光績 桂 やまと

菊池 靖雄 島崎 修

染野 郁郎 竹本 方英

玉井 三郎 利根川伸行

松田 茂 宮崎 治子

山田 伸吾

学校法人中央大学評議員  
野口 昇兵 松沼 茂

学校法人白門奨学会評議員  
松沼 茂

学校法人中央大学商議員  
大久保治男 田村 悟

中央大学学員会幹事  
相場 有二 松沼 茂

中央大学学員会協議員  
大久保治男 久代 信次

野口 昇兵 田村 悟

第五代支部長に選出され、一年余り経ちました。思うに我が支部の会員各位は心温まる人達の集いである事を感じました。



人間生活での第一は互いに尊敬し、認め合う心が大切であります。我が支部には職業は互いに異なると雖も、言葉で表せられない、目には見えない空気感があります。会っ

### 就任一年にして思うこと

#### 第五代支部長 野口 昇兵

た時、先輩達の後輩達への対応、現状の良くも悪くも話される度量の深さ、会員のご家族の参加等々、思うにこれは「伝統が醸し出す美学」と

るに他ならないと思います。会員の皆様に感謝と御礼を申し上げます。昨年は「東京ドーム野球観戦、隅田川屋形船、伊勢志摩

もいえるのでしょうか。田中祺益氏、大久保治男氏、中川浩治氏の先輩支部長の薫陶の「足跡」と、母校中央大学「建学の精神・実地応用の素を養う」が脈々と受け継がれてい

旅行、東京競馬、忘年会、六義園お花見」等々会員相互の親睦は素晴らしいものでありました。また学員会支部教ある中で、我が文京区支部が「支部報コンテンツ」にて佳作の

栄に浴しました。松沼事務局長他編集委員の熱意の結晶であります。本当にありがとうございます。ございました。

大学は学生の減少で苦闘していますが、教学の中身の充実こそがキーワードであります。創立者の精神に思いを馳せれば自ずと解けます。学員一人ひとりが年収の〇・〇％でも最低限、連続して母校へ寄付をすれば十数億円となります。学員全員は母校の発展のため、母校の現状に即した助言協力こそが真の学員会員だと思えます。文京区支部会員の皆様、来

平成二十六年三月、五十四年間に渡る大学教職生活において、最後に創設した、武蔵野学院大学大学院博士後期課程の完成を俟って(初代大学院研究部長)私は大学を退職しました。八十歳になります。回想すれば、中大大学院修了



と同時に昭和三十七年四月、創立に参加し助教として赴任した山梨学院大学をスタートに、専任大学は山梨県立大、駒澤大学法学部・大学院、苫

大学で教えるのが大好きで、非常勤も中大、上智大、山梨大、帝京大、国士館大、創価大、川村女子大等でも講義。教え子は約六万人に及びその

の整理・研究を行ってまいりましたところ、秋の叙勲にて、はからずも「瑞宝中綬章」拝受の栄に浴しました。長年の大学における教育、研究、大学行政・大学創設、特に苫小牧駒大の市との公私協力大学(二十年に渡る市民の要望の実現)の初代学長の功績等が評価され叙勲に至ったようであります。いずれにしても私立大学関係者は受賞が少ない中で高位の勲章をいただいたことは嬉しい我が人生のフィナーレでありました。十一月十日、国立劇場での

文科大臣より勲記・勲章の伝達を受けて、引き続き妻と共に皇居へ参内して天皇陛下に拝謁の栄を賜り、感激の極みでございました。今後はこの榮譽に恥じることのないよう一層精進致す所存でございますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。昨年末、十二月九日夜、東京ドームホテルでの「文京白門会」忘年会では私の受勲を皆さんで祝っていただき、お祝いの「旗」や「提灯」各二つを頂戴し厚く御礼申し上げます。有難うございました。

### 平成二十六年叙勲 『瑞宝中綬章』の栄に

元支部長 大久保治男

小牧駒澤大学創設初代学長、武蔵野学院大学の学部と大学院の創設と、我が教職人生は専任五大学ありますが、駒大以外は総て創立時参加のチャーターメンバーでありました。

数の多さに驚き責任も感じている昨今です。大学退職の四月以降の余生は本宅「埋木舎」(井伊直弼学問所・国特別史跡)の文化財保存や「大久保家古文書」



代表取締役

### 矢野 博文

株式会社 大創産業

〒739-8501 広島県東広島市西条吉行東1-4-14  
TEL.082420-0103 FAX082421-2740

年は創立二十周年を迎えます。さらに充実した会として未来に向って歩んで参りましょう。

## ＝編集後記＝

文京区支部は創立20周年を迎えることができました。役員会で記念誌の発行がきまったとき、設立に関わり20年後の今も裏方で頑張っているということで、責任者を仰せつかりました。同じ立場で今も元気なのは私くらいなので、最後のご奉公と引き受けました。5月に企画内容が決定して、さっそく資料の整理や原稿の依頼、広告のお願いなどに着手しましたが、やるべきことは山ほどあり、又、設立時の趣意書、名簿等の古い資料はなんとか探し出しましたが、引っ越し等があった為、写真がバラバラで年度順の整理に苦労しました。

記念誌はそうそう出せるものではありません。一支部の企画とはいえ、内向けのみの姿勢ではなく文京区外の学员や一般の方々にとっても関心をもっていただけるようなページも設け、密度の濃い内容かつボリュームのある記念誌を心がけました。いささかでも参考になれば幸いです。

座談会の実施も含め、ある意味時間との闘いでした。追い込みの時期には不眠不休同然の日が続きました。締め切りや原稿チェック、ゲラ校正等の関係で不備もあるかと思いますがご了承ください。尚記念誌発行に際し、寄稿、広告、ご寄付等多くの皆様から快くご協力いただきました。改めてお礼申し上げます。（松沼 茂）

## 文京白門20年の歩み

平成28年7月20日発行

発行者 野口 昇兵

編者 松沼 茂

発行所 中央大学学员会東京文京区支部

〒113-0033

東京都文京区本郷4-26-8松しん内

印刷 有限会社轟印刷